

令和 7 年度 史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事

設 計 図

▲ 株式会社 工藤金正建築設計

令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事

工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事場所

青森県弘前市大字大森字勝山961-3

2. 敷地面積

889.00㎡

3. 工事種目

(1) 休息便益施設 鉄筋コンクリート造 平屋建

新築 1棟

建築面積102.40㎡

延べ面積70.40㎡

1階70.40㎡

4. 指定部分

・有

○無

対象部分（

指定部分工期

年

月

日

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「3. 工事種目」のうちの工事範囲は下記のとおりとする。

II. 建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。

○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（E / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（M / ）図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

(4) ※印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

項目

特記事項

1 各章共通事項

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

○風圧力
風速（V0= 34 m/s）
地表面粗度区分（ⅠⅡⅢⅣ）
○積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（）

○環境への配慮(1.4.1)
1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。

①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、WDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

○材料の品質等(1.4.2)
1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等）を監督職員に提出して承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。

①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

5) 製造業者等に関する資料の提出を求めた材料
x11,a0.25,sm1,q1,t0;床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル(タイل工事用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリースアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた

2 仮設工事

○足場等

(2.2.4)
「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

3 土工事

○埋戻し及び盛土

(3.2.3)
材料及び工法
※標準仕様書表3.2.1による
種別
・A種 適用場所（）
○B種 適用場所（基礎）
・C種 適用場所（）土質（）受遣場所（）
・D種 適用場所（）
（品質 細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする）
・材料（）工法（）

4

7

特記仕様書（構造関係）による
4章 地盤工事
5章 鉄筋工事
6章 コンクリート工事
7章 鉄骨工事

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

・補強コンクリートブロック造

・コンクリートブロック杭壁及び帯

・ALCパネル

・押出成形セメント板（ECP）

ブロックの種類等(8.2.2、3、5、7、8)
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm)
ギョーリ呼び寸法(mm)
長さ高さ
化粧の有無
適用箇所
備考
・
・
モルタルの割合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（）：砂（）
各部の配筋
※図示による
目地仕上げ
・押し目地仕上げ
・化粧目地仕上げ
まくさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
※図示による

ブロックの種類等(8.3.2～4)
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm)
ギョーリ呼び寸法(mm)
長さ高さ
化粧の有無
(表8.3.1)以外の適用箇所
備考
・
・空洞ブロックC(16)
・型枠状ブロック 20
モルタルの割合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（）：砂（）
堀に用いるブロックの正味厚さ(mm)
堀の高さが2m以下 ※120
2m超え ※150
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示による
各部の配筋
※図示による

ALCパネルの区分等(8.4.2～5)
区分
単位荷重(N/㎡)
正荷重
負荷重
厚さ(mm)
幅
長さ
耐火性能(時間)
構造の種類
・外壁用
・一般
・平
・コーナー
・意匠
・
・
・
・間仕切壁用
・一般
・平
・コーナー
・意匠
・
・
・屋根用
・
・
・
・床用
・
・
・
・
パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
・
外壁、屋根パネルの構造
1章 適用区分による風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル構造及び間仕切壁パネル構造における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による
目地幅(mm)
（パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部）
※10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する
・適用しない

ECPの種類等(8.5.2～5)
パネルの種類
形状
長さ(mm)
幅(mm)
工法の種別
備考
・外壁パネル
・F
・50・60
・D
・50・60
・T
60
・F
・50・60
・D
・50・60
・T
60
・間仕切壁パネル
・D
・50・60
・T
60
注）F：フラットパネル、D：デザインパネル、T：タイルベースパネル
外壁パネルの工法における耐風圧性能
1章 適用区分による風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル工法及び間仕切りパネル工法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による
パネル相互の目地幅(mm)
・長辺（）短辺（）
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
※15程度
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する
パネルに孔あけを設ける場合
短辺
長辺
パネルに欠き込みを設ける場合
短辺
長辺

9 防水工事

・アスファルト防水

屋根保護防水防水層の種類(9.2.2～5)(表9.2.3～9)
種別
施工箇所
断熱材[G]
絶縁用シート
・A-1
・A-2
・A-3
・B-1
・B-2
・A1-1
・A1-2
・A1-3
・B1-1
・B1-2
※JIS A 9521に基づく押出法がリフ
レフター断熱材3種bA（2枚層付き）
※フラットタイプ 70g/㎡程度
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
立上り部への断熱材及び絶縁用シート
※設置しない
・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上
立上り部の保護工法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
営業系パネルI類 厚さ（）mm 幅（）mm
・れんが押え（※JIS R 1250）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）
屋根露出防水防水層の種類
種別
施工箇所
断熱材[G]
仕上塗料
種類
使用量
高日射反射率
防水[G]
・D-1
・D-2
・D1-1
・D1-2
標準仕様書9.2.2(9)
(種類)
(厚さ)(mm)
・
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ（）mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（）個
屋内防水防水層の種類
種別
施工箇所
種別
施工箇所
・E-1
・E-2
保護層
・設ける（※図示による）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・
防水層の下地の立上り
※コンクリート打直し仕上げ 標準仕様書表6.2.4(打直し仕上げ種別)のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル張り
・適用する（施工範囲 ※図示による）
・適用しない
屋上排水溝
※図示による

備考

一級建築士事務所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認担当 製図年月日
Kudou Sugimi Sugimi R7.3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩便益施設整備工事
図面名称 建築特記仕様書 1

縮尺 設計番号
— 図面番号 A — 02

改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 防水層の種類	(9.3.2、3)(表 9.3.1～3)	固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・ 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・()個 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う(・図示による) プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う(・図示による) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力の(・1)倍の風圧力に対応した工法	テラゾタイル	その他の材料 取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・ 既調合の目地モルタル ※専門工事業者の指定する製品 ・ 浸透性吸水防水剤 ※専門工事業者の指定する製品 ・ 石表面処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ・ 裏打ち処理材 ※専門工事業者の指定する製品 ・ ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ・ 金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品 ・ 受金物 材質 ※ SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・ アンカーの材質及び寸法 材質 ※ SS400 寸法 ・ あと施工アンカーの材質、寸法等 種 類 材 質 寸 法 ドレンパイプ ・設ける(設置位置：図示による) ・設けない 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 ・流し筋工法 目地 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ※シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による 受金物 材質 ※ SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・ あと施工アンカーの材質、寸法等 種 類 材 質 寸 法 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ 目地寸法 ・図示による	・改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 防水層の種類	種別 施工箇所 断熱材 [G] 防湿用シート 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率防水 [G]	・ 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3)(表 9.5.1、2)	種別 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 保護層 高日射反射率防水 [G]	・ 外壁湿式工法	受金物 材質 ※ SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・ アンカーの材質及び寸法 材質 ※ SS400 寸法 ・ あと施工アンカーの材質、寸法等 種 類 材 質 寸 法 ドレンパイプ ・設ける(設置位置：図示による) ・設けない 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 ・流し筋工法 目地 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ※シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による 受金物 材質 ※ SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・ あと施工アンカーの材質、寸法等 種 類 材 質 寸 法 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ 目地寸法 ・図示による	・ 外壁乾式工法	目地寸法 ・ 乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 (10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4) ※標準仕様書表10.2.4による (方式： ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法等 種 類 材 質 寸 法 だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(2)(7)による ・図示による 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 1章 適用区分による風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 シーリング材 種類 ※標準仕様書9.7.1による ・ 目地幅及び深さ ・ 浸透性吸水防水材 (床石張り) ・適用する ・適用しない 石表面処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない (階段張り) ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書10.6.2(5)(a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示による 笠木、甲板等の石張り 取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 特殊部位用金物 材質 ※ SUS304 寸法等 引金物 ※標準仕様書表10.2.3による ・ だぼ ※標準仕様書表10.2.3による ・ かすがい ※標準仕様書表10.2.3による ・ 受金物 ※標準仕様書10.2.2(1)(4)による ・ 乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー ※標準仕様書表10.2.4に準ずる (方式： ・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による あと施工アンカーの材質、寸法 種 類 材 質 寸 法 石表面処理 ・適用する ・適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度 石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・) ・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・) (目地幅及び深さ ・) 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書10.6.2(5)(a)による ・図示による シーリング材の種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ 目地寸法 ・図示による	改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ()mm以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ()mm以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・()個	防水層の種類 (9.4.2～4) (表9.4.1～3)	種別 施工箇所 可塑性移行防止シートの材質 断熱材 [G] 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率防水 [G]	・ ケイ酸質系塗布防水	防水層の種類 (9.6.4)(表9.6.1)	種別 施工箇所 種別 施工箇所	・ 内壁空積工法	防水層の下地 壁 ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) ・ 天井部 ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) ・ 下地処理 コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。 ・図示による 標準仕様書9.6.4(2)の(4)、(9)以外の下地処理 ・図示による	下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。(9.7.2、3、5)(表 9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。	仕上げを行わない施工箇所(○図示による ・) シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(7)～(9)による ○図示による ・ 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験	石材の割付け ※ 図示による	天然石 (10.2.1、3)(表 10.2.1、2)	施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げの種類 備考	ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無 ・あり ・なし	テラゾブロック	施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上げ面による区分 寸法 (mm) 表面仕上げの種類 備考	承 認 担 当 製 図 年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮 尺	設計番号
備考	屋根露出防水 防水層の種類	種別 施工箇所 断熱材 [G] 防湿用シート 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率防水 [G]	・ 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3)(表 9.5.1、2)	種別 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 保護層 高日射反射率防水 [G]	・ 外壁湿式工法	受金物 材質 ※ SUS304 形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm ・ アンカーの材質及び寸法 材質 ※ SS400 寸法 ・ あと施工アンカーの材質、寸法等 種 類 材 質 寸 法 ドレンパイプ ・設ける(設置位置：図示による) ・設けない 石表面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法 ・流し筋工法 目地 一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地																													

11 タイル工事	○ 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	位置 ※標準仕様書表11.1.1による ・図示による 目地寸法 ・図示による	(11.1.3)(表11.1.1)																																																																																																																																																																																																																																				
	○ 見本焼き 試験施工	見本焼き ・行う(施工箇所：) ○行わない 試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による) ○行わない	(11.1.4)																																																																																																																																																																																																																																				
	○ セメントモルタル によるタイル張り	タイルの形状、寸法等 <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>形状/寸法 (mm)</th><th>再生材料の 適用</th><th>吸水率による区分</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑</th></tr><tr><td>床</td><td>磁器</td><td>150</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄：参照タイルシリーズ	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の 適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	床	磁器	150	・	○	・	・	○	・	○				・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	(11.2.2、6)																																																																																																																																																																																												
	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の 適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑																																																																																																																																																																																																																													
	床	磁器	150	・	○	・	・	○	・	○																																																																																																																																																																																																																													
				・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																													
				・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																													
		標準的な曲がりの役物は一体成形とする。																																																																																																																																																																																																																																					
		既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による） モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。																																																																																																																																																																																																																																					
		既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）																																																																																																																																																																																																																																					
	下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法（高圧水洗処理） ・MCR工法 ・ 壁タイル張りの工法 内装タイル ・密着張り ○改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り																																																																																																																																																																																																																																						
○ 有機系接着剤による タイル張り	タイルの形状、寸法等 <table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>形状/寸法 (mm)</th><th>再生材料の 適用</th><th>吸水率による区分</th><th>うわぐすり</th><th>役物</th><th>色</th><th>耐凍害性</th><th>耐滑</th></tr><tr><td>外壁</td><td>小口</td><td>108×60</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td><td>○</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> 備考欄：参照タイルシリーズ	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の 適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	外壁	小口	108×60	・	○	・	○	・	○	・				・	・	・	・	・	・	・				・	・	・	・	・	・	・	(11.3.2～5)																																																																																																																																																																																													
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	再生材料の 適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑																																																																																																																																																																																																																														
外壁	小口	108×60	・	○	・	○	・	○	・																																																																																																																																																																																																																														
			・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																														
			・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																														
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする																																																																																																																																																																																																																																						
	内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ 伸縮調整目地及びその他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・ 下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法（高圧水洗処理） ・MCR工法 ・ 外装タイルの目地詰め ○行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																						
12 木工事	○ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(a)(b)による ・	(12.2.1)																																																																																																																																																																																																																																				
	○ 製材	(12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) ・ JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※2級 ・</td><td>※A種 ・B種</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※2級 ・</td><td>※A種 ・B種</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※2級 ・</td><td>※A種 ・B種</td><td></td><td>・</td></tr></table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用			※2級 ・	※A種 ・B種		・			※2級 ・	※A種 ・B種		・			※2級 ・	※A種 ・B種		・																																																																																																																																																																																																													
	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																	
			※2級 ・	※A種 ・B種		・																																																																																																																																																																																																																																	
			※2級 ・	※A種 ・B種		・																																																																																																																																																																																																																																	
			※2級 ・	※A種 ・B種		・																																																																																																																																																																																																																																	
		○ 造作用集成材	○ JAS 1083（製材）以外の製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td>破風板(杉) 唐草(杉) 横押え板(杉)</td><td>24×210 24×36 30×150</td><td>() 造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>・適用する ○適用しない</td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr></table> ○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面</th><th>見付け材面の品質</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td>額縁・枠</td><td>集成材</td><td>赤松系</td><td>厚さ 25</td><td>B種</td><td>※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等</td><td>・ ・ ・</td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>材種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の 厚さ (mm)</th><th>見付け 材面</th><th>見付け材 面の品質</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td><td>・</td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>材種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td>・</td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>材種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の 厚さ (mm)</th><th>見付け材 面の品質</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>化粧薄板： 芯材：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td><td>・</td></tr></table> ・造作用単板積層材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td><td>・ ・ ・ ・</td></tr></table> ・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面の品質</th><th>含水率</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※14%以下 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※14%以下 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※14%以下 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr></table>	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等 の適用	破風板(杉) 唐草(杉) 横押え板(杉)	24×210 24×36 30×150	() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ○適用しない	※A種 ・B種	・			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等 の適用	額縁・枠	集成材	赤松系	厚さ 25	B種	※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	・ ・ ・	施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け 材面	見付け材 面の品質	間伐材等 の適用			化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・			化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・			化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等 の適用					※15%以下 ・	・					※15%以下 ・	・					※15%以下 ・	・	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け材 面の品質	含水率	間伐材等 の適用		化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・		化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・		化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用					・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	・ ・ ・ ・	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等 の適用				※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・				※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・				※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																						
	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																	
	破風板(杉) 唐草(杉) 横押え板(杉)	24×210 24×36 30×150	() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ○適用しない	※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																	
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																	
		() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																	
額縁・枠	集成材	赤松系	厚さ 25	B種	※1等・2等 ※1等・2等 ※1等・2等	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け 材面	見付け材 面の品質	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・																																																																																																																																																																																																																																
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・																																																																																																																																																																																																																																
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下 ・	・																																																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下 ・	・																																																																																																																																																																																																																																		
				※15%以下 ・	・																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け材 面の品質	含水率	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																	
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・																																																																																																																																																																																																																																	
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・																																																																																																																																																																																																																																	
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																		
				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																		
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																		
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																		
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																		
	○ 合板等	・ JAS 3079 に基づく直交集成板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>強度等級</th><th>種別</th><th>接着性能 (使用環境)</th><th>樹種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> ・「合板の日本農林規格」による普通合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の 樹種名</th><th>単板の 程度の 度</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td>※5.5 ・</td><td></td><td>※1類 ・2類</td><td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> ・「合板の日本農林規格」による構造用合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>等級</th><th>単板の 樹種名</th><th>接着の 程度</th><th>板面の 品質</th><th>厚さ (mm)</th><th>防虫 処理</th><th>強度 等級</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td>※2級以上 ・1級</td><td></td><td>※1類 ・特類</td><td>※C-D以上 ・</td><td>※12 ・</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>() ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・1類 ・特類</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td>・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>単板の樹種名</th><th>化粧加工の方法</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td></td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・パーティクルボード <table><tr><th>施工箇所</th><th>表裏面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>耐水性による区分</th><th>難燃性による区分</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※13タイプ ・</td><td>※P又はM ・</td><td></td><td>※15 ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・ JAS 0360 に基づく構造用パネル <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> ・ MDF <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>表裏面の状態による区分</th><th>曲げ強さによる区分</th><th>接着剤による区分</th><th>難燃性による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭隠し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書表12.2.3～5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) ・ (形状： 寸法： 材質：)	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等 の適用								・								・								・	施工箇所	厚さ (mm)	単板の 樹種名	単板の 程度の 度	板面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用		※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・							・							・	施工箇所	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	厚さ (mm)	防虫 処理	強度 等級	間伐材等 の適用		※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	() ・	・									・									・	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・						・						・	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない											施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない													施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・													施工箇所	寸法 (mm)									施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																									
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																
							・																																																																																																																																																																																																																																
							・																																																																																																																																																																																																																																
							・																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	単板の 樹種名	単板の 程度の 度	板面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																	
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																	
						・																																																																																																																																																																																																																																	
						・																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	厚さ (mm)	防虫 処理	強度 等級	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																															
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	() ・	・																																																																																																																																																																																																																															
								・																																																																																																																																																																																																																															
								・																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																		
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・																																																																																																																																																																																																																																		
					・																																																																																																																																																																																																																																		
					・																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																			
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																		
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																		
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 接合員等																																																																																																																																																																																																																																						
	・ 接着剤	接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆	(12.2.2、3)																																																																																																																																																																																																																																				
	・ 防蟻・防蟻処理	・防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位： ()	(12.3.1、2)																																																																																																																																																																																																																																				

13 屋根及び 下地工事																																											
	○ 長尺金属板葺	(13.2.2、3)	施工箇所	板及び材の種類	塗膜の耐久性の種類、め つき付着量	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考		------	---	----------------------	-------------------------------	--------------------------------------	----			※JIS G 3322 の xsl1.19; 屋根 用 (着色 ・有)	・5類 (AZ150) ・	xsl1.1 9;○0.4 ・0.5 ・	・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ○横葺 ・																下葺材料 ○アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ) 横葺きの場合のけらは納め ○つかみ込み納め ・けらは包み納め 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による ・) ○設置しない						
	・ 折板葺	(13.2.2)(13.3.2、)(表 13.1.1)	施工箇所	形式	山高、山低 による区分	耐力に よる区分	材料に よる区分	厚さ (mm)	軒先 面戸板	耐火 性能		------	-------------------------	----------------	-------------	-----------------------	------------	-----------	----------			・重ね形 ・はせ縁め形 ・かな合形		()種	※鋼板製 ・78に鋼 合金板製	・有り ・無し	・30分				・		・	・				材料 折板の材質の種類 (※JIS G 3302の屋根用 (着色 ・有) ・) 塗膜の耐久性の種類、めつき付着量 (・5類(AZ150) ・) 断熱材張り ・行う (断熱材の種類： 厚さ(mm)： 防火性能：) ・行わない 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法の適用 ・適用する ・適用しない 折板のけらは納め ※けらは包みによる方法 雪止め ・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による ・) ・設置しない					
	・ 粘土瓦葺	(13.4.2、3)	施工箇所	種類			産地	役物瓦 の種類	雪止め瓦		------	-------------	-------------	-------------	----	------------	-----------------			製法に よる区分	形状に よる区分	寸法に よる区分											・適用する ・適用しない								・適用する ・適用しない	棧瓦の防災瓦の使用 ・適用する ・適用しない JISAS208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない	

[illegible]

[illegible]

・オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分

風圧力による強さの区分

開閉方式による区分

収納形式による区分

ガイドレールの材料

※スチールタイプ
・アルミニウムタイプ
・ファイバーグラストाइブ

・50
・75
・100
・125

※バランス式
・チェーン式
・電動式

・スタンダード形
・ローヘッド形
・ハイリフト形
・パーチカル形

※溶融亜鉛めっき鋼板
・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
(設置箇所・建具表による・)

○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
(9.7)(16.14.2～4)(図16.14.1)
○建具表による・

○型板ガラスの厚さによる種類
○建具表による・

・網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による・

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による・

・落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類・Ⅲ類

○強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
○建具表による・

・破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による・

・性能による種類
・1種・2種

○複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
○建具表による・

・断熱性による区分
・T1・T2・T3・T4・T5・T6

・日射取得性及び日射遮蔽性による区分
・G・S

・乾燥気体の種類
・空気・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による・

・日射遮へい性による区分
・1種・2種・3種

・耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
・A類・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による・

ガラスの留め材及び溝の大きさ(16.14.2)(9.7)

建具の種類

ガラス留め材の種類

ガラス溝の大きさ(mm)

アルミニウム製

○シーリング材
・グレイジングチャンネル
・

※建具製造所の仕様による
・図示による・

鋼製及び鋼製軽量

○シーリング材
・

※建具製造所の仕様による
・図示による・

ステンレス製

・シーリング材
・

※建具製造所の仕様による
・図示による・

樹脂製

○グレイジングガasket
・

※建具製造所の仕様による
・図示による・

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

・ガラスブロック積み

(16.14.5)

呼び寸法(mm)厚さ(mm)色調目地幅(mm)伸縮調整目地位置(mm)防火性能

・160×160
・95
・

・200×200
・95
・

壁用金属枠及び補強材
※図示による

力骨

材質
※ステンレス鋼(SUS304)

寸法
※径5.5mm

形状
※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色(・白・グレー)
シーリングの種類(・SR-1・PS-1)

金属製化粧カバー

材質
・ステンレス製・アルミニウム製(17.3.2～6)(表17.3.1、2)

寸法
※図示による

形状
※図示による

木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による

目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による・

工法
1章適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

取付け形態、性能等(17.1.8)

取付け形態による分類
・層間方式
・柱・梁方式
・方立方式
・スパンドレル方式
・

性能

水密性

気密性

遮音性

断熱性

耐火性

耐湿差性(℃)

・30分
・1時間

・80
・70
・60

耐風圧性
1章適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)

支点間距離(h)

耐風圧性能

4m以下

・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対値20mm以下であること
・

4mを超える

・

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

金属系材料の種類(17.2.2、3、5、6)

・アルミニウム材
・鋼材
・ステンレス鋼材

シーリング材の種類(目地等)
種類及び寸法等※図示による

ガラスの取付け材料
・シーリング
種類(・SR-2・SR-1)
・構造ガasket
形状、寸法等※図示による

断熱材[F]
種類及び範囲※図示による

形状及び仕上げ

製品の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.1による
・

見え掛り部の仕上げ
(アルミニウム材の場合)
規格等標準仕様書16.2.3による
種別・(標準仕様書表14.2.1)
着色・標準色・特注色
(鋼材及びステンレス鋼材の場合)
・

ガラス溝の寸法、形状等
※カーテンウォールの製造所の仕様
・

取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm
水平方向
※±25mm
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±5mm
目地の心の通り
※0～3mm
目地両側の段差
※0～4mm
各階の基準墨から各部位までの距離
※±5mm
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガasketで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

材料
コンクリート
種類(・普通コンクリート・軽量コンクリート1種・)
設計基準強度(Fc)※30N/?
スランプ※12cm
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合2.1t/?を超え2.5t/?以下
・軽量コンクリートの場合1.8 t/ m3～2.1 t/ m3
・
単位水量の最大値
※185kg/?
鉄筋
種類の記号※SD295
補強鉄線
径(mm)・3.2・4.0・5.0・6.0
綱目寸法・
シーリング材の種類(目地等)
種類及び寸法等※図示による

ガラスの取付け材料
・構造ガasket
形状、寸法等・図示による

耐火処理
適用部位、材料等※図示による

断熱材[G]種類(・)
種類及び範囲※図示による

先付けの材料
・表面仕上材
・セラミックタイル
・石材
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
辺長
※±3mm
対角線長の差
※0～5mm
版厚
※±2mm
開口部内法寸法
※±2mm
ねじれ、反り
※0～5mm
曲がり
※0～3mm
面の凸凹
※0～3mm
先付け金物の位置
※0～5mm
PCカーテンウォールの仕上げ
・
構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
※図示による

製作
PC版の配筋※図示による

取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm
水平方向
※±25mm
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±5mm
目地の心の通り
※0～3mm
目地両側の段差
※0～4mm
各階の基準墨から各部位までの距離
※±5mm
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガasketで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18
塗装工事

○材料

○素地ごしらえ

・錆止め塗料塗り

○塗装

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量(18.1.3)
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
(箇所：)
(18.2.2～7)

下地面等		種別	
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種	・A種
鉄鋼面(DP以外)		※C種	・A種・B種
鉄鋼面(DPのみ)		※B種	・A種・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種	・B種
モルタル面及びせつこうブラスター面		※B種	・A種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		※B種	・A種
押出成形セメント板面		※B種	・A種
コンクリート面(DPのみ)		※A種	・B種
せつこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種	・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種	・A種

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	※B種・A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反 射率塗料
・合成樹脂調合ベイント 塗り(SOP)	木部屋外	※A種・B種	—	—
	木部屋内	※B種・A種	—	—
	鉄鋼面	※B種・A種	—	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	—	・適用する
○クリヤラッカー塗り(CL)		※B種・A種	—	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種・A種	—	—
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の 等級()級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の 等級()級	—
	コンクリート面	・A種・B種	—	—
	押出成形セメント板面	・C種	—	—
○つや有合成樹脂エマル ションベイント塗り (EP-G)	コンクリート面 モルタル面 ブラスター面 せつこうボード面 その他ボード面等	※B種・A種	—	—
・合成樹脂エマルションベイント塗り(EP)	鉄鋼面	※B種・A種	—	—
	亜鉛めっき鋼面	—	—	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種・A種	—	—
・ステイン塗り		ステイン塗り ・オイルステ イン塗り(OS)	—	—
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種・A種	—	—

高日射反射率塗装[F]を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の全金属面とする。
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤形着色剤・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

19
内装工事

○接着剤

○下地の工法

○ビニル床シート[G]

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量(19.2.2)
※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による

標準仕様書19.2.3(7)～(9)以外の下地の工法
○図示による

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
○無地			
※FS(複層ビニル床シート)	○マーブル柄	※2.0	
・	・柄物	○2.5	

接合部の処理
※熱溶接工法

備考

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大宮町北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認担当
Kudou Sugimi Sugimi

製図
Sugimi

年月日
R 7. 3

工事名称
令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事

縮尺
—

設計番号
—

図面名称
建築特記仕様書 6

図面番号
A — 07

・ ビニル床タイル [G]	(19.2.2)														
	<table><tr><th>種類の記号</th><th>色柄</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※KT (コナダシヨウビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・</td><td>※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・</td><td></td></tr></table>					種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コナダシヨウビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・	※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・	
	種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考										
	※KT (コナダシヨウビニル床タイル) ・ TT (単層ビニル床タイル) ・ FT (複層ビニル床タイル) ・ FOA (置敷きビニル床タイル) ・ FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・	※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・											
・ 特殊機能床材	(19.2.2)														

[illegible]

工事区分表																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
(他工事との取合い等)						区分は○印を適用する						A 建築工事						E 電気設備工事						M 機械設備工事						E V エレベーター設備工事						※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		項目		A	E	M	E V		備考				項目		A	E	M	E V		備考				項目		A	E	M	E V		備考				項目		A	E	M	E V		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
躯体関係													ユニットバス・シャワーユニット					○							自家発電設備												エレベーター設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
R C造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ			○	○	○	○						既製浴槽					○							自家発電装置	自家発電装置			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

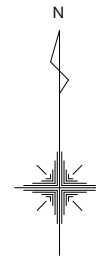
外 部 仕 上 表				断 熱 材 仕 様（休憩室・給湯室）	
屋 根	カラーカルバリウム銅板t0.4 横葺、アスファルトルーフィング940、モルタル金ゴテt30下地 破風板・唐草・棟押え：カラーガルバリウム銅板t0.4包み	ポ ー チ	天井：ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装、LGS25下地（天井高H＝2,700） 壁：外壁と同様 床：コンクリート金ゴテ仕上	屋 根	硬質ウレタンフォーム t30 吹付（A種1H）
軒 天 井	コンクリート打放し補修、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリアー塗装	外 部 建 具	サッシ：アルミ製サッシ、 シャッター：軽量鋼板シャッター 引き戸：アルミ製ハンガー戸	外 壁	硬質ウレタンフォーム t30 吹付（A種1H）
外 壁	コンクリート打放し補修、下地処理(コーン処理のみ)、高浸透性吸水防止材、アクリルシリコン樹脂クリアー塗装 小口タイル貼（接着工法）目地	靴 洗 い	コンクリート打放し補修 ステンレス製グレーチング：600×450×20（歩）	床	押出法ポリスチレンフォーム保温板 t50（2種bA）
根 廻 り	コンクリート打放し補修	そ の 他	外部サッシ両脇：ステンレス製雪囲い金物設置		

内 部 仕 上 表								
室 名	床	巾 木	腰	壁	天 井	天 井 高	室名サイン	備 考
休 憩 室 (事務スペース)	ビニル床シート t2.5 貼 コンクリート金ゴテ下地	ビニル巾木 H60	ビニルクロス貼、石膏ボードt12.5下地 LGS下地50型@300	同 左	化粧石膏ボード t9.5張（トラバースン模様）910×910 LGS19下地	H=2,600	○	ビクチャーレール L2,200（7ヶ6個）・1,500（7ヶ4個） カウンター、収納カウンター（別途工事）
給 湯 室	ビニル床シート t2.5 貼 コンクリート金ゴテ下地	ビニル巾木 H60	ビニルクロス貼、石膏ボードt12.5下地 LGS下地50型@300	同 左	化粧石膏ボード t9.5張（トラバースン模様）910×910 LGS19下地	H=2,500		ミニキッチン1050（IHヒーター無し）
物 置	コンリート金ゴテ仕上（目地切）	－	コンリート打放し、補修（表し）	同 左	コンリート打放し（表し）	－	○	
男子トイレ	磁器質150角タイル貼 モルタル下地	磁器質150角タイル貼 H150	メタリ化粧板t3.0目透張 石膏ボードt12.5下張（GL工法）	同 左	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 LGS19下地	H=2,500	○	トイレブース、ハイドロテクト小便器用床材 t6 鏡、手摺り、擬音装置（機械設備工事）
女子トイレ	磁器質150角タイル貼 モルタル下地	磁器質150角タイル貼 H150	メタリ化粧板t3.0目透張 石膏ボードt12.5下張（GL工法）	同 左	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 LGS19下地	H=2,500	○	トイレブース 鏡、擬音装置（機械設備工事）
多目的トイレ	磁器質150角タイル貼 モルタル下地	磁器質150角タイル貼 H150	メタリ化粧板t3.0目透張 石膏ボードt12.5下張（GL工法）	同 左	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装 LGS19下地	H=2,500	○	ベビーシート、ベビーチェア オストメイト、手摺り、鏡、擬音装置（機械設備工事）
プロアー庫	コンリート金ゴテ仕上（目地切）	－	コンリート打放し、補修（表し）	同 左	コンリート打放し（表し）	H=2,400		プロアー基礎

防火材料認定番号			塗装記号凡例		
化粧スラグ石膏コウ板t=5.0	(不燃) NM－8315	石コウボードt=9.5	(準不燃) QM－9828	OP 油性調合ペイント塗	AE アクリル樹脂エナメル塗
ケイ酸カルシウム板t=5、6	(不燃) NM－8578	化粧石コウボードt=9.5	(準不燃) QM－9824	SOP 合成樹脂調合ペイント塗	UC ポリウレタン樹脂ワニス塗
ビニルクロス	(準不燃) QM－0144 (参考)	不燃化粧石コウボードt=9.5	(不燃) NM－8613	AEP アクリル樹脂エマルジョンペイント塗	OSCL オイルステンクリアラッカー塗
不燃無機質クロス	(不燃) NM－3991 (参考)	グラスウールボード	(不燃) NM－8605	VP 塩化ビニール樹脂エナメル塗	OSW オイルステンワックス塗
石コウボードt=12.5	(不燃) NM－8619			FE フタル酸樹脂エナメル塗	PWP ポリウレタン樹脂系塗
				EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗	CL クリアラッカー塗
				EP-G 合成樹脂エマルジョンペイント塗（つや有）	WP 木材保護塗装

特記・共通事項	
使用する仕上材（小屋裏、壁、床下地材等含む）、集材材、塗装、家具等はすべてF☆☆☆☆とする。	
使用する建築材料は全てクロルビリホスを含まないものとする。	
サッシ額縁、内部建具枠は集成材t=25（赤松）とする。塗装CLとする。	
天井廻り縁は塩ビ製コ型とする。	
地中梁貫通補強筋は大臣認定品による。（150φ：5ヶ所、125φ：4ヶ所）	
仮囲いは成形鋼板H=2,000で行い、クロスゲート1箇所設置する。	
「浄化槽設置届」提出作業、検査手数料は工事費に含む。	

備考		一 級 建 築 士 事 務 所青森県A1第495号 1級建築士第153872号 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172（27）1559 工 藤 金 正	承 認	担 当	製 図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮 尺	設計番号
			Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7. 3	図面名称	仕 上 表	－	図面番号 A — 11



概 要

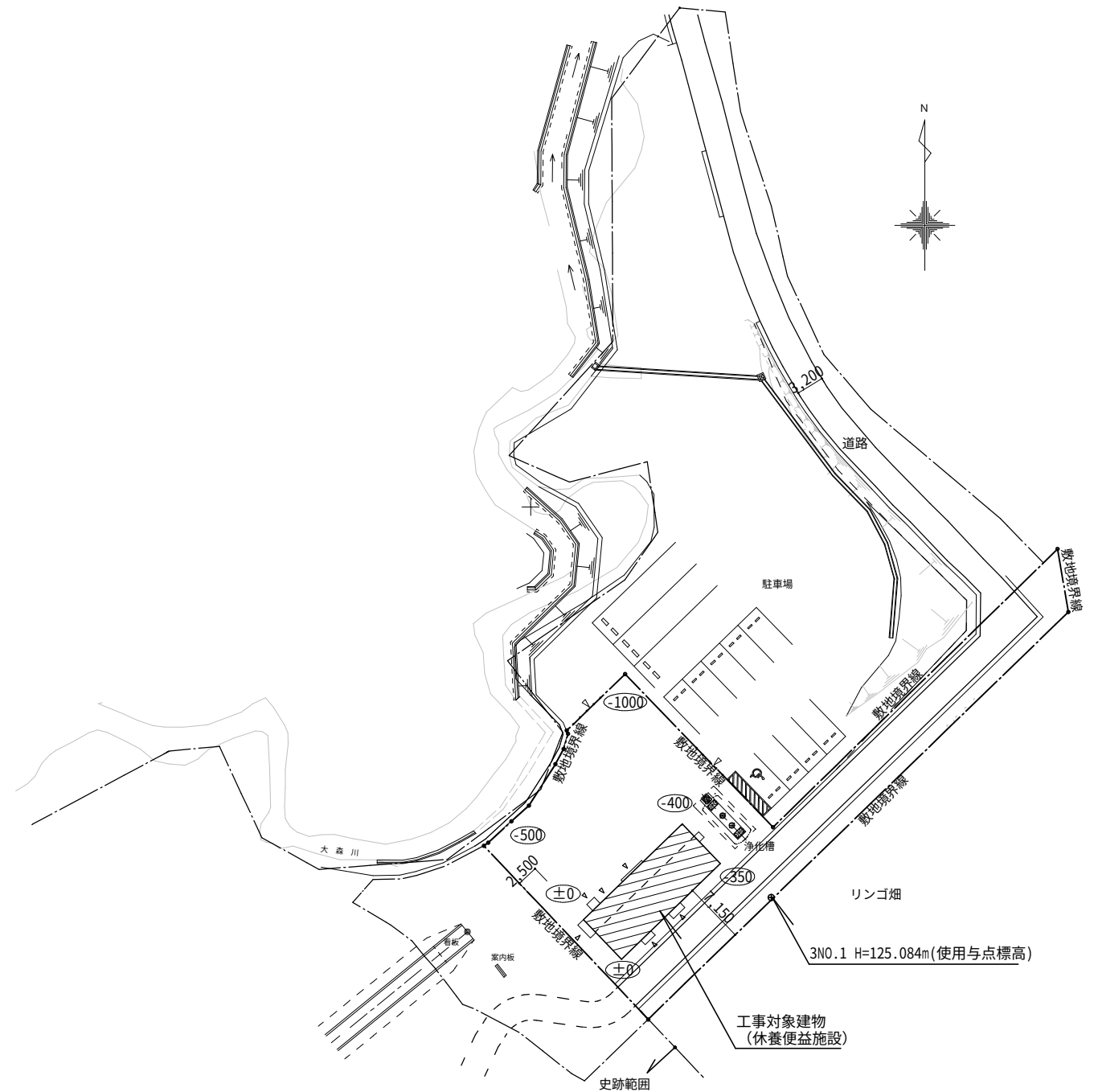
建設地：青森県弘前市大字大森字勝山961-3

都市計画区域：区域外 用途地域・防火地域：指定なし

敷地面積：889 m²

用 途：休息便益施設

構 造：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建

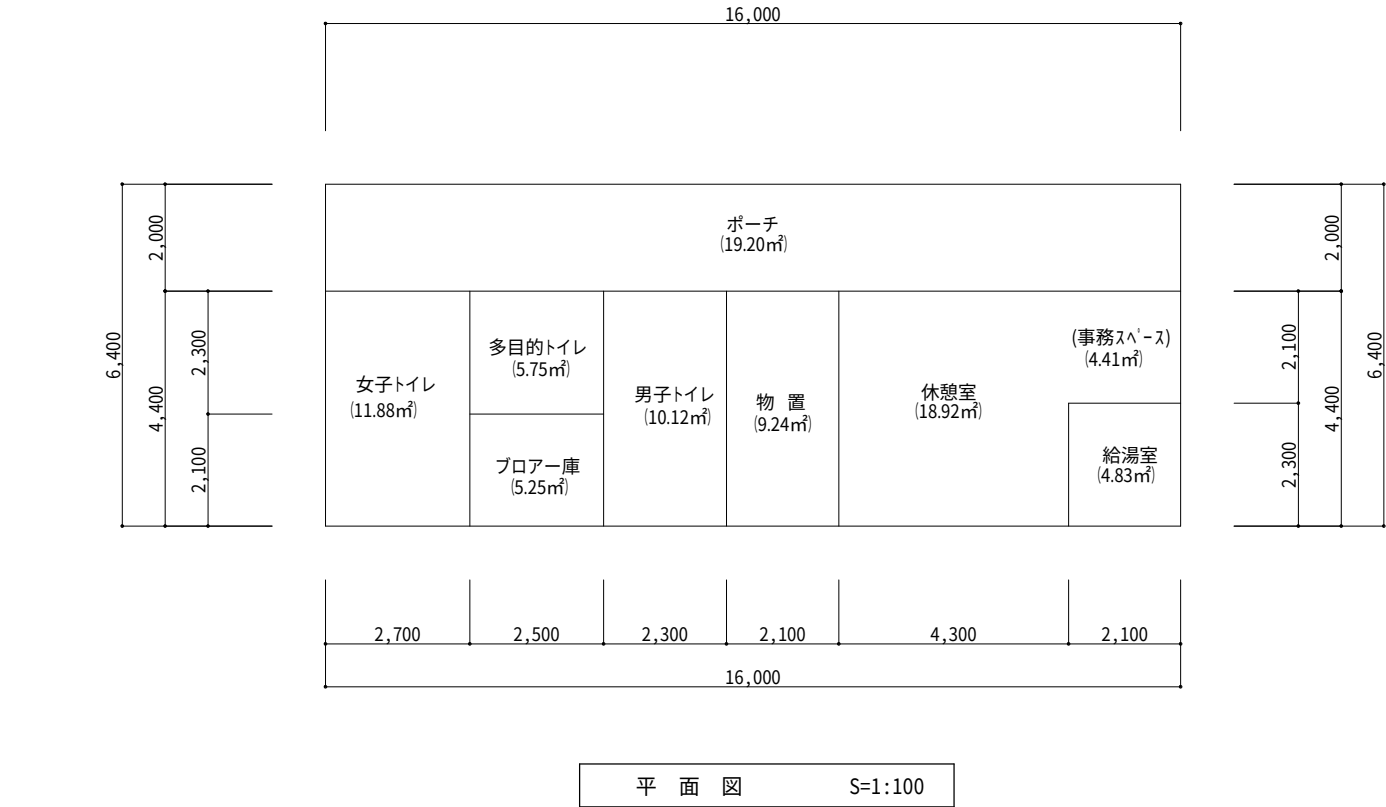


S=1:500

※設計G L : 125.40

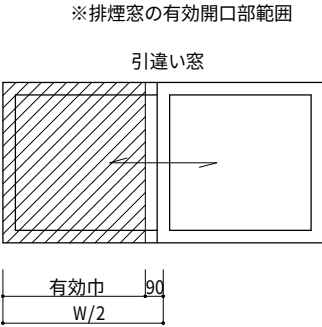
○ 設計 G L からの高低差

備考	 一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺 1:500	設計番号	—
		Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7.3	図面名称	付近見取図・配置図		図面番号	A — 12



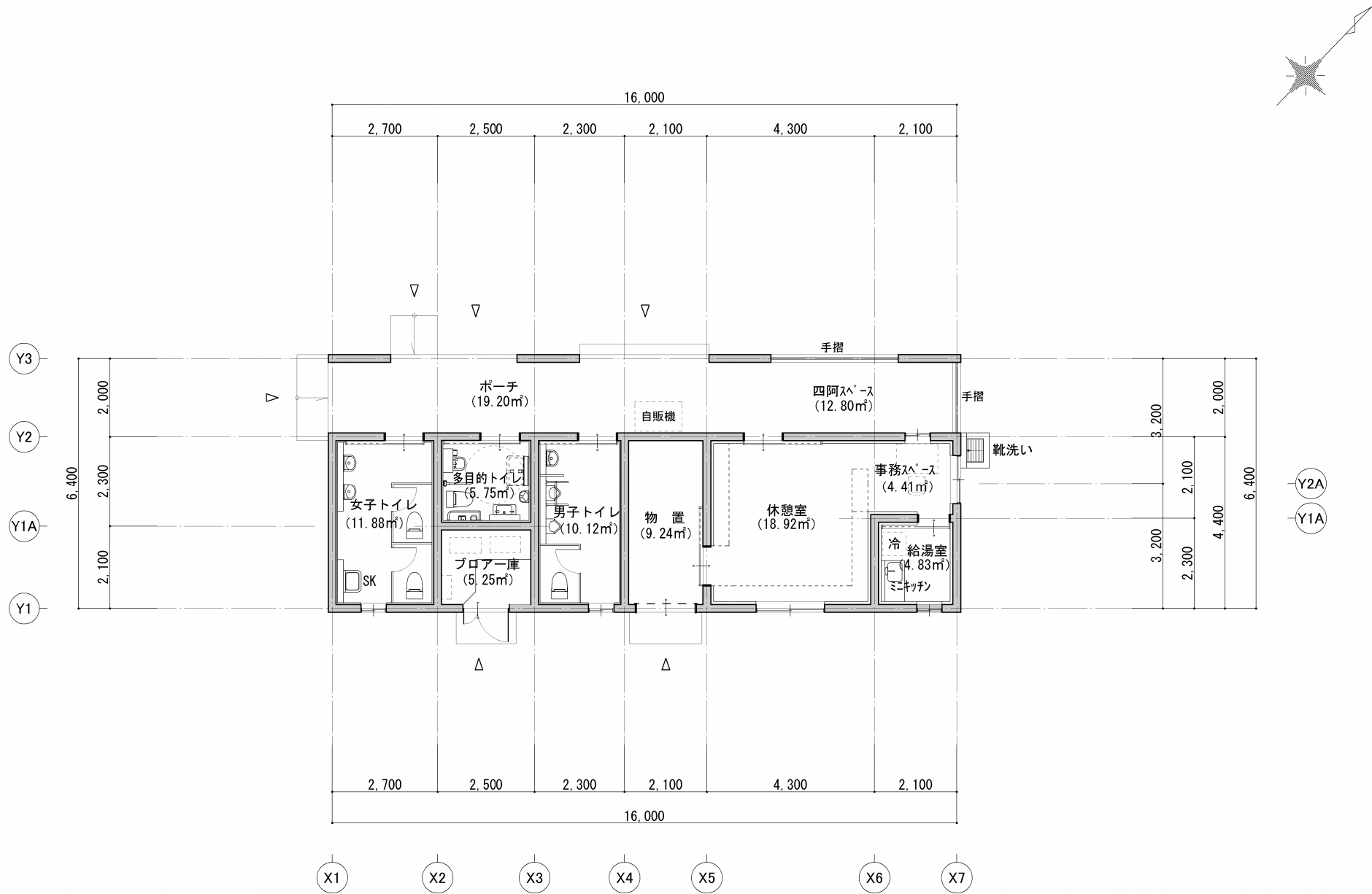
建物求積表			
建築面積	16.000 × 6.400		102.4000 m ²
床面積	16.000 × 4.400		70.4000 m ²
各室求積表			
休憩室	4.300 × 4.400 + 2.100 × 2.100	23.3300 m ²	70.40 m ²
給湯室	2.100 × 2.300	4.8300 m ²	
物 置	2.100 × 4.400	9.2400 m ²	
男子トイレ	2.300 × 4.400	10.1200 m ²	
多目的トイレ	2.500 × 2.300	5.7500 m ²	
女子トイレ	2.700 × 4.400	11.8800 m ²	
プロアー庫	2.500 × 2.100	5.2500 m ²	

休憩室（事務コーナー含む）		23.33㎡	
AW-1	排煙計算 必要	23.33×1/50	0.4666
	有効	0.760×0.500×1 (AW-1)	
		0.510×0.400×1 (AW-2)	0.5840
	判定	0.47 < 0.58	OK
	換気計算 必要	23.33×1/20	1.1665
	有効	0.760×1.300×1 (AW-1)	
		0.510×1.200×1 (AW-2)	1.6000
	判定	1.17 < 1.60	OK
	採光計算 必要	23.33×1/20	1.1665
	有効	1.700×1.300×1×3 (AW-1)	
AW-2		1.200×1.200×1×3 (AW-2)	10.9500
	判定	1.17 < 10.95	OK
	採光補正係数:3		
	D=6.300 H=2.600		
	6.300/2.600x10-1=23→3		



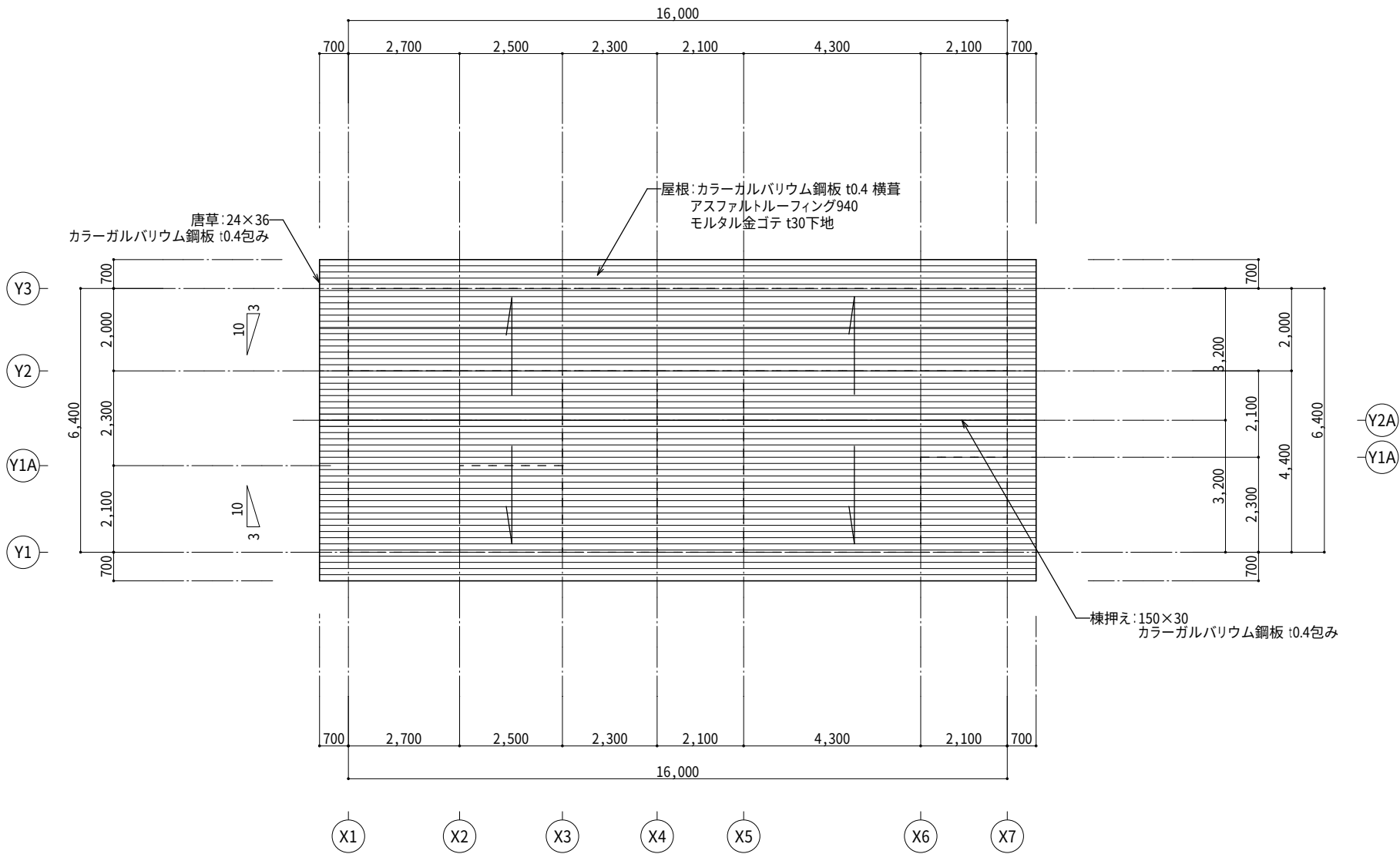
無窓階検討表（1階）

床面積 70.40 ㎡		必要開口部面積 (A／30) 2.35 ㎡		有効開口部面積合計 3.65 ㎡		算定結果 (普)・無	消防機関 ※
建 具 記 号	開口部位置 又は方角	床からの 高さ (m)	幅(m) × 高さ(m) × 所在ヶ所	開口部面積 小計 (㎡)	開口部種別	※備 考	
AD-3	休憩室	0.00	0.870 × 2.100 × 1	1.827	片引き戸		
AW-1	休憩室	1.00	1.700 × 1.300 × 1 × 1/2	1.105	引違い窓		
AW-2	休憩室	1.00	1.200 × 1.200 × 1 × 1/2	0.720	引違い窓		
			小 計	3.652			

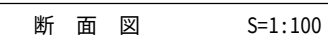
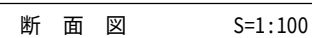
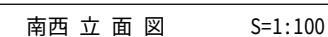
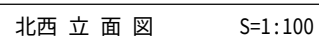
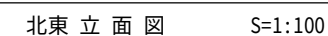
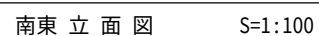


平面図 S=1:100

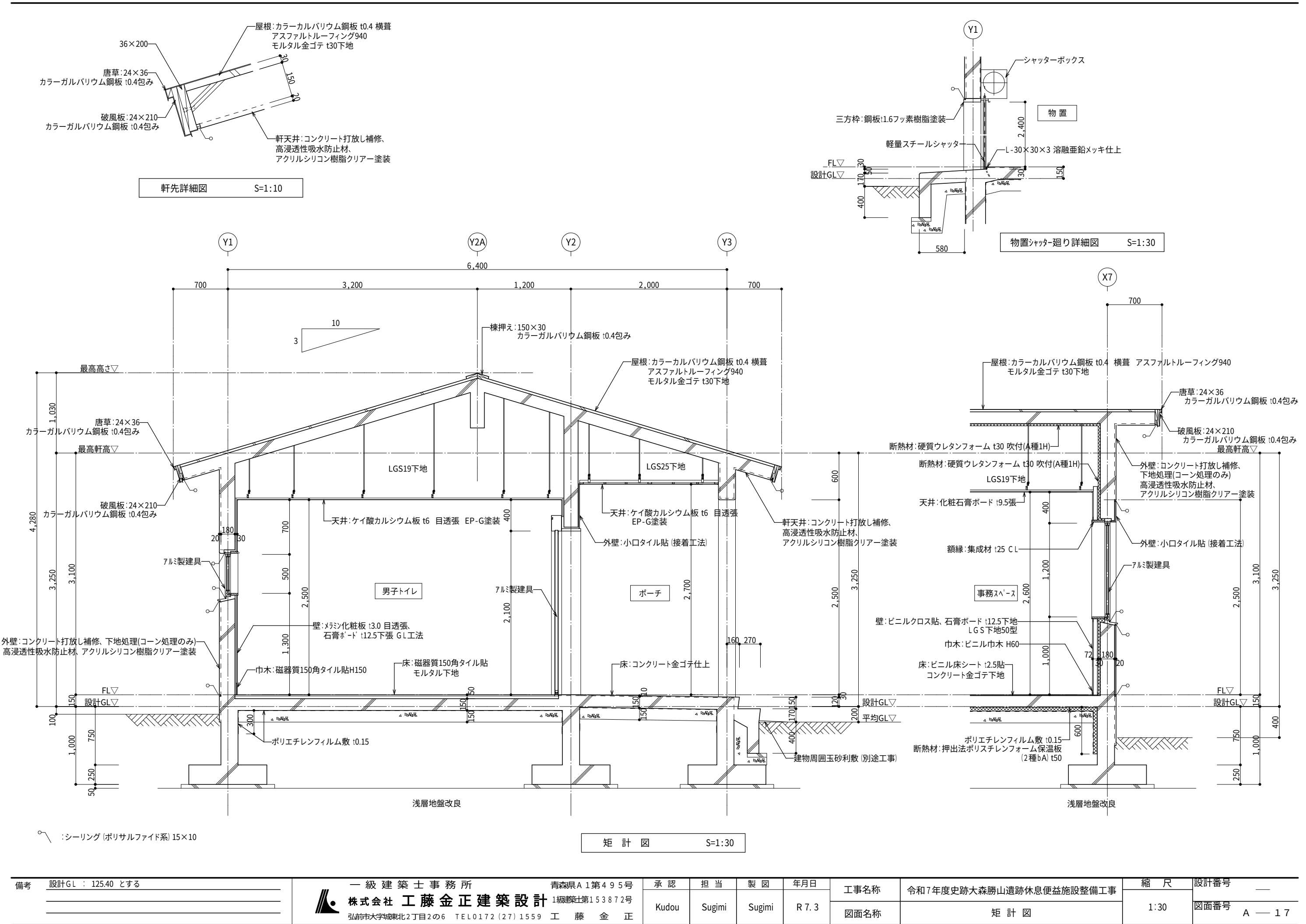
備考	一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正				承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
					Kudou	Sugimi	Sugimi	R 7. 3	図面名称	平面図	1:100	図面番号
												A 14



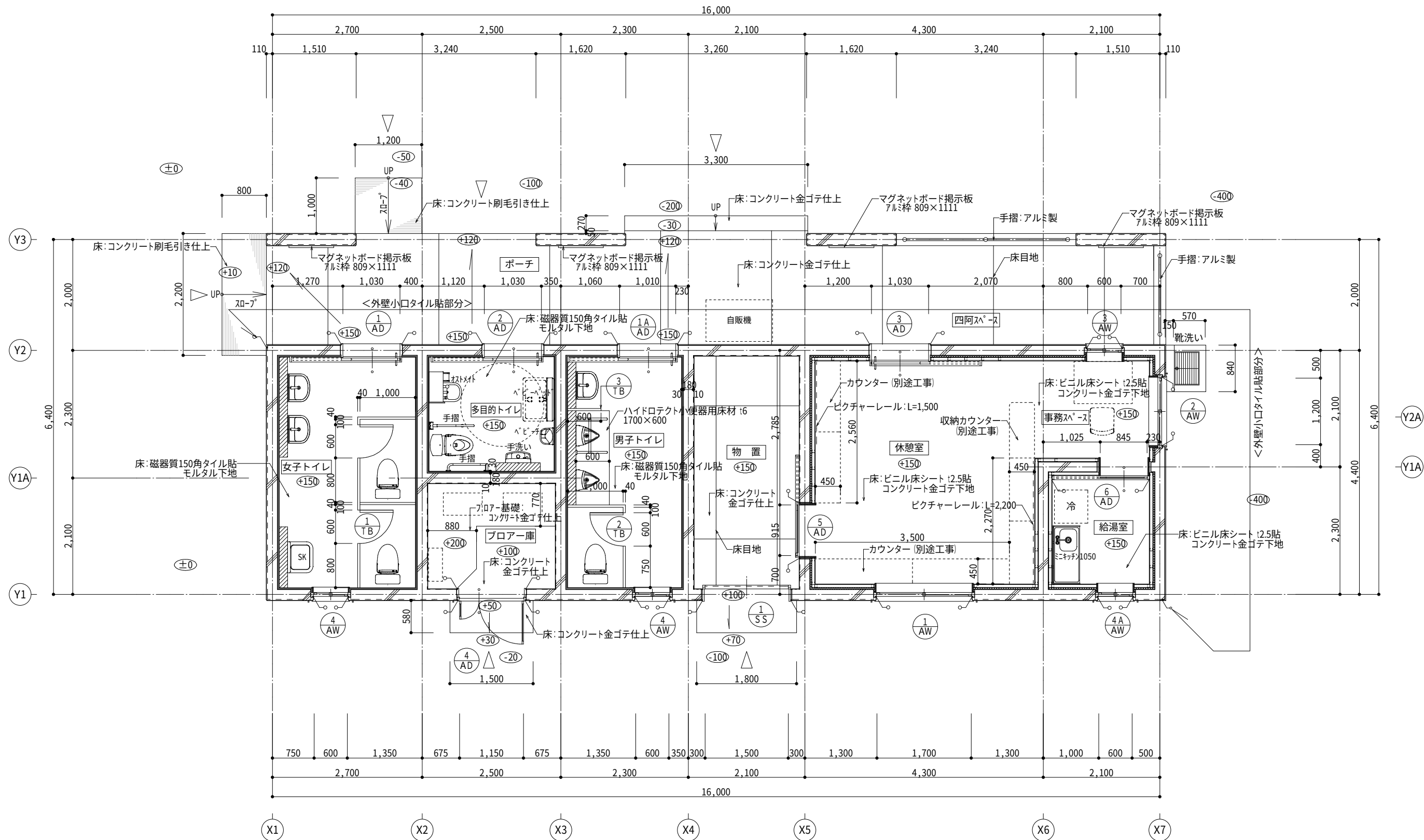
屋根伏図 S=1:100



備考	 一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
		Kudou	Sugimi	Sugimi	R.7.3	図面名称	立面図・断面図	1:100	図面番号 A — 16



備考	設計GL：125.40とする	一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事	縮尺	設計番号
			Kudou	Sugimi	Sugimi	R7.3	図面名称	矩計図	1:30	図面番号
										A — 17



平面詳細図 S=1:50

※※※ 建具記号を表す

※※※ 設計GLからの床高を表す

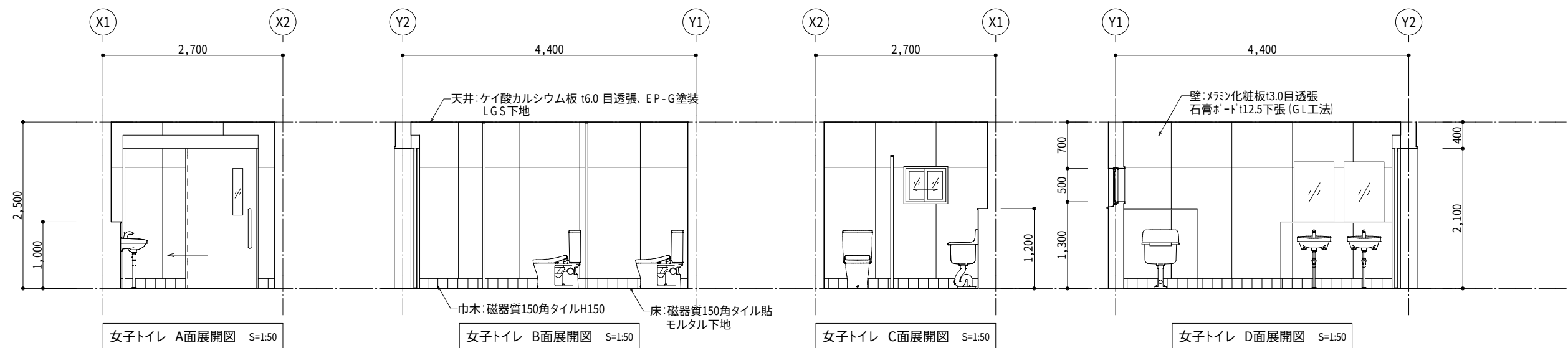
備考

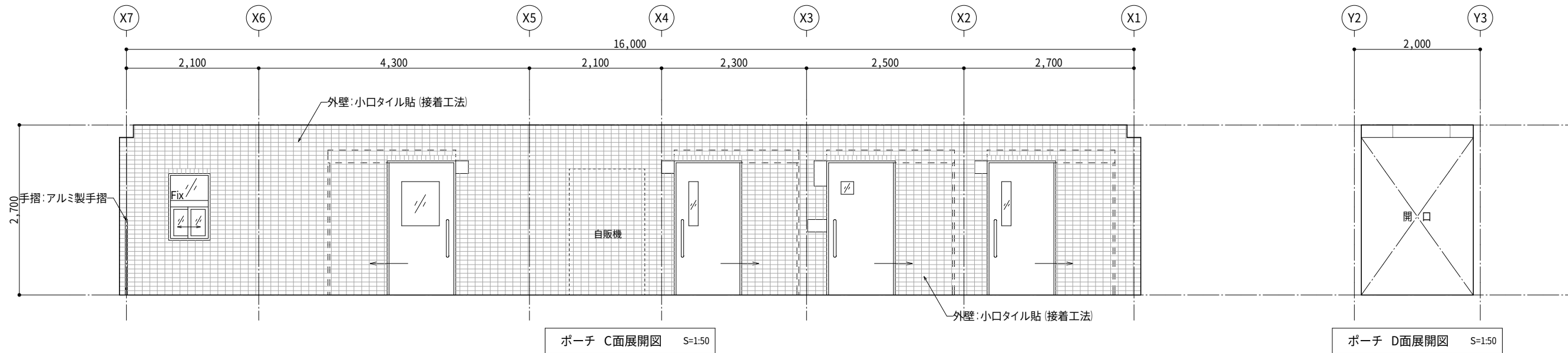
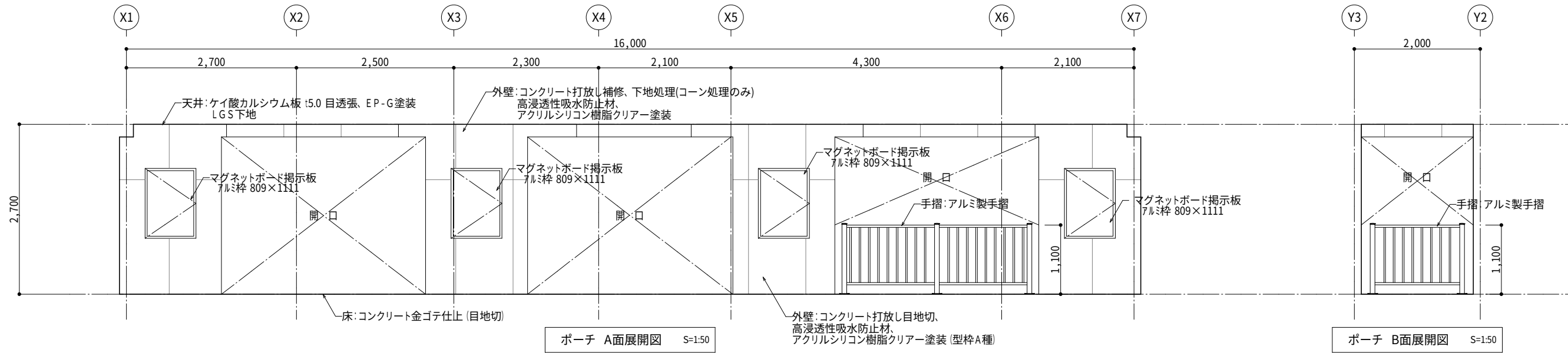
一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

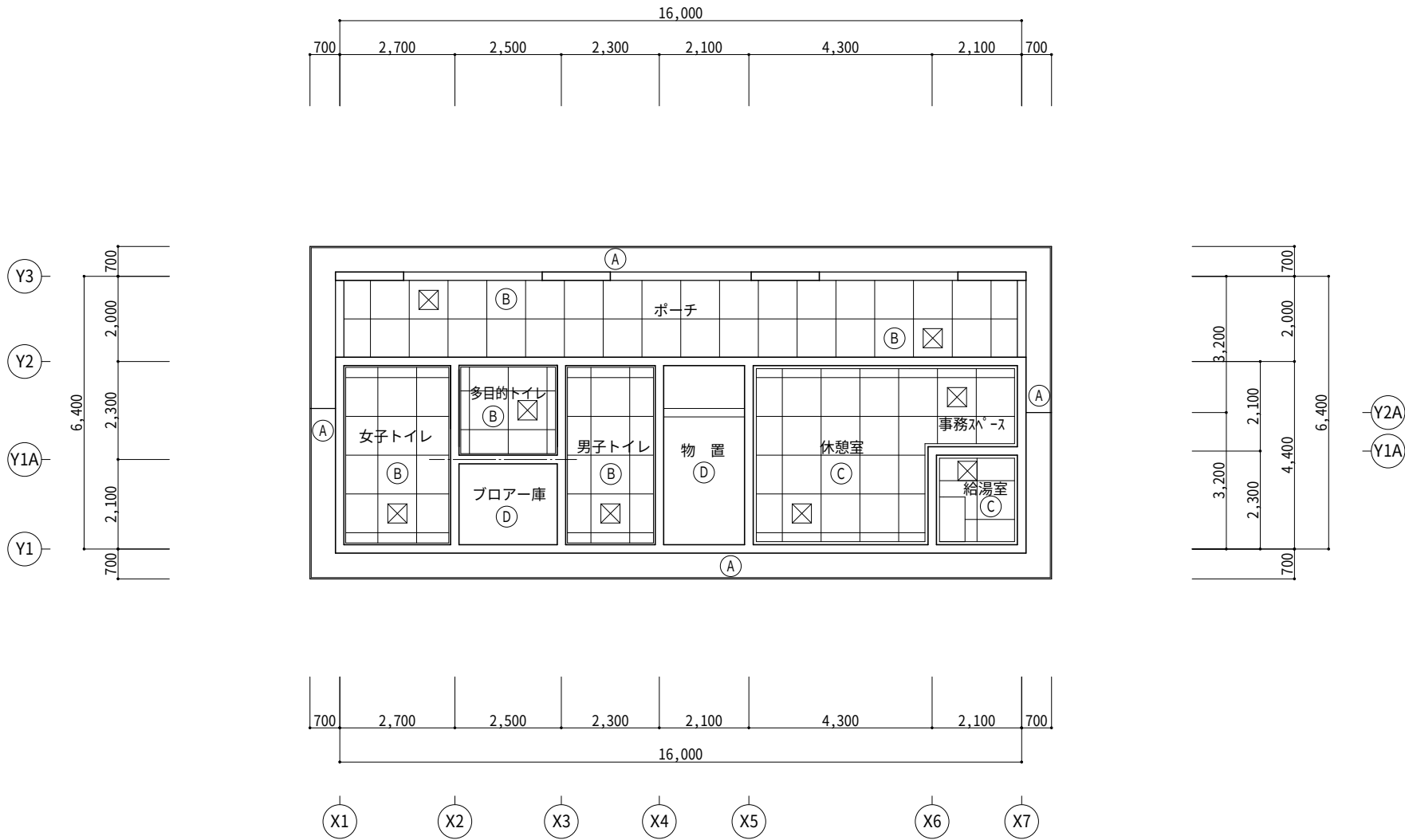
承認 担当 製図 年月日
Kudou Sugimi Sugimi R 7. 3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事
図面名称 平面詳細図

縮尺 設計番号
1:50 図面番号 A — 18



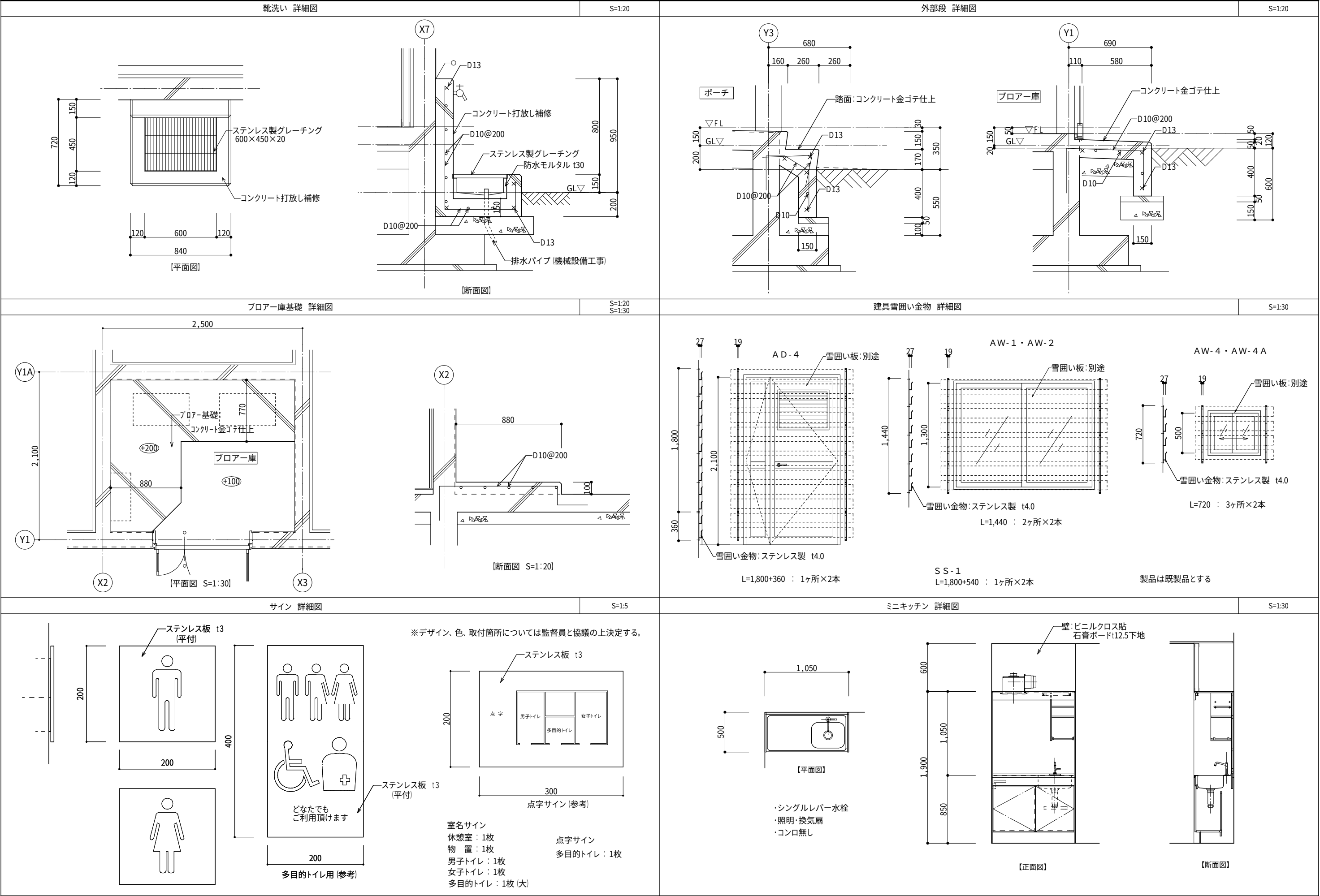


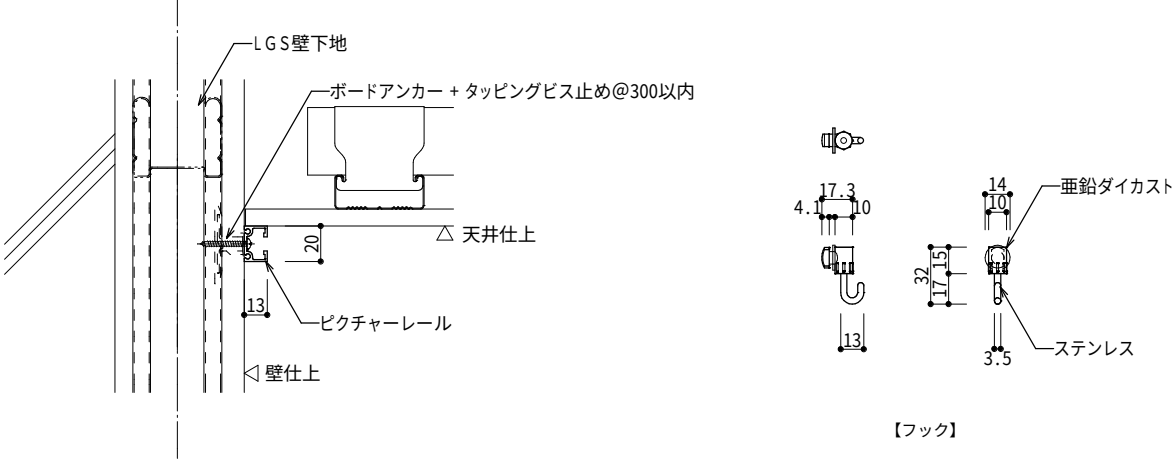
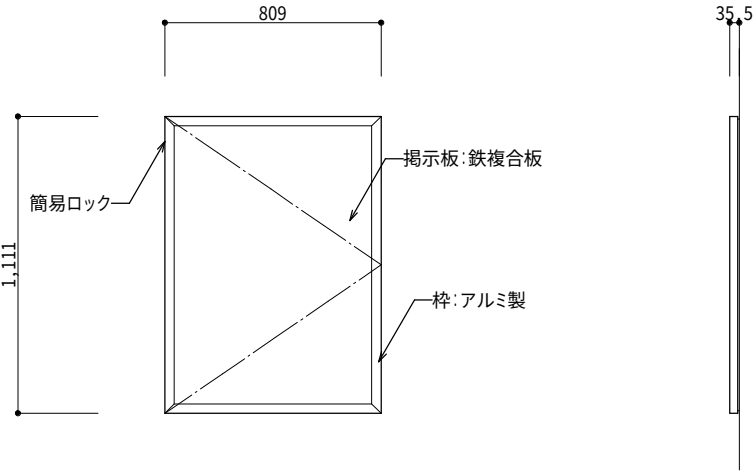
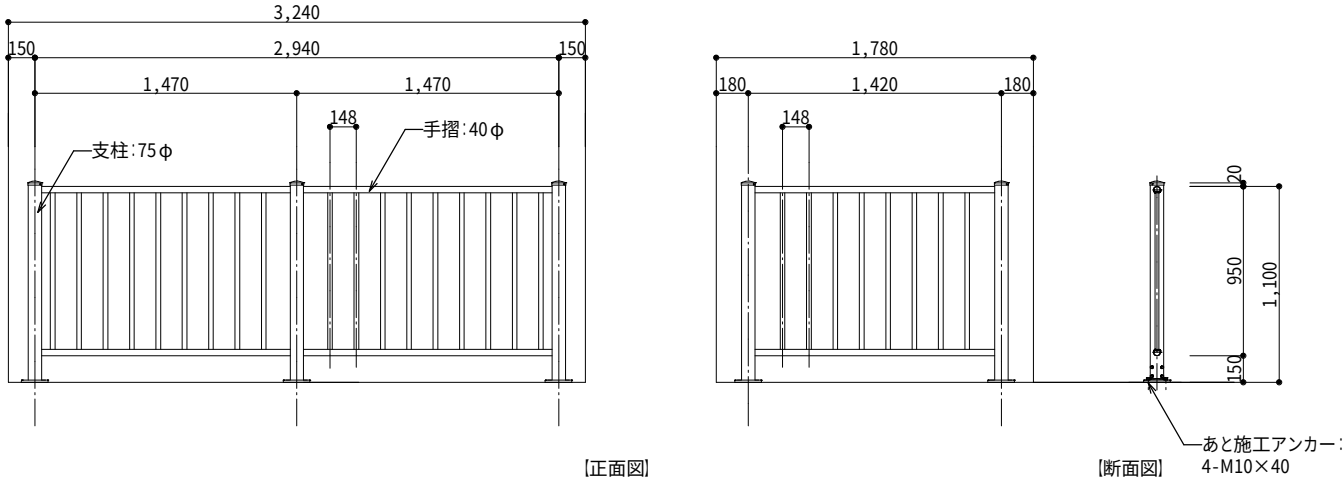
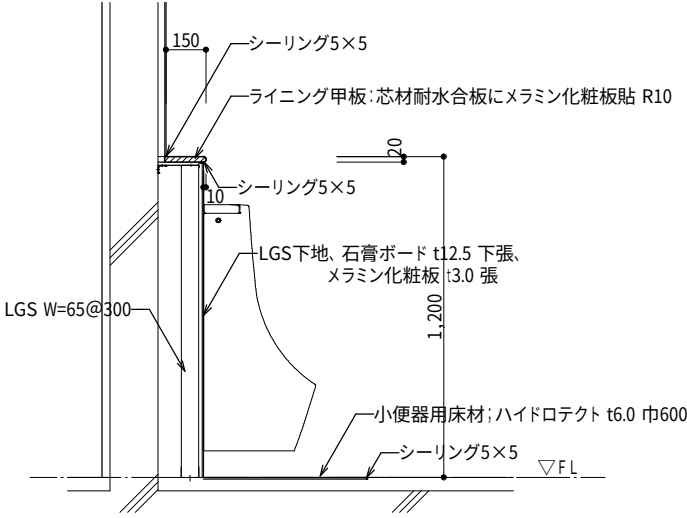


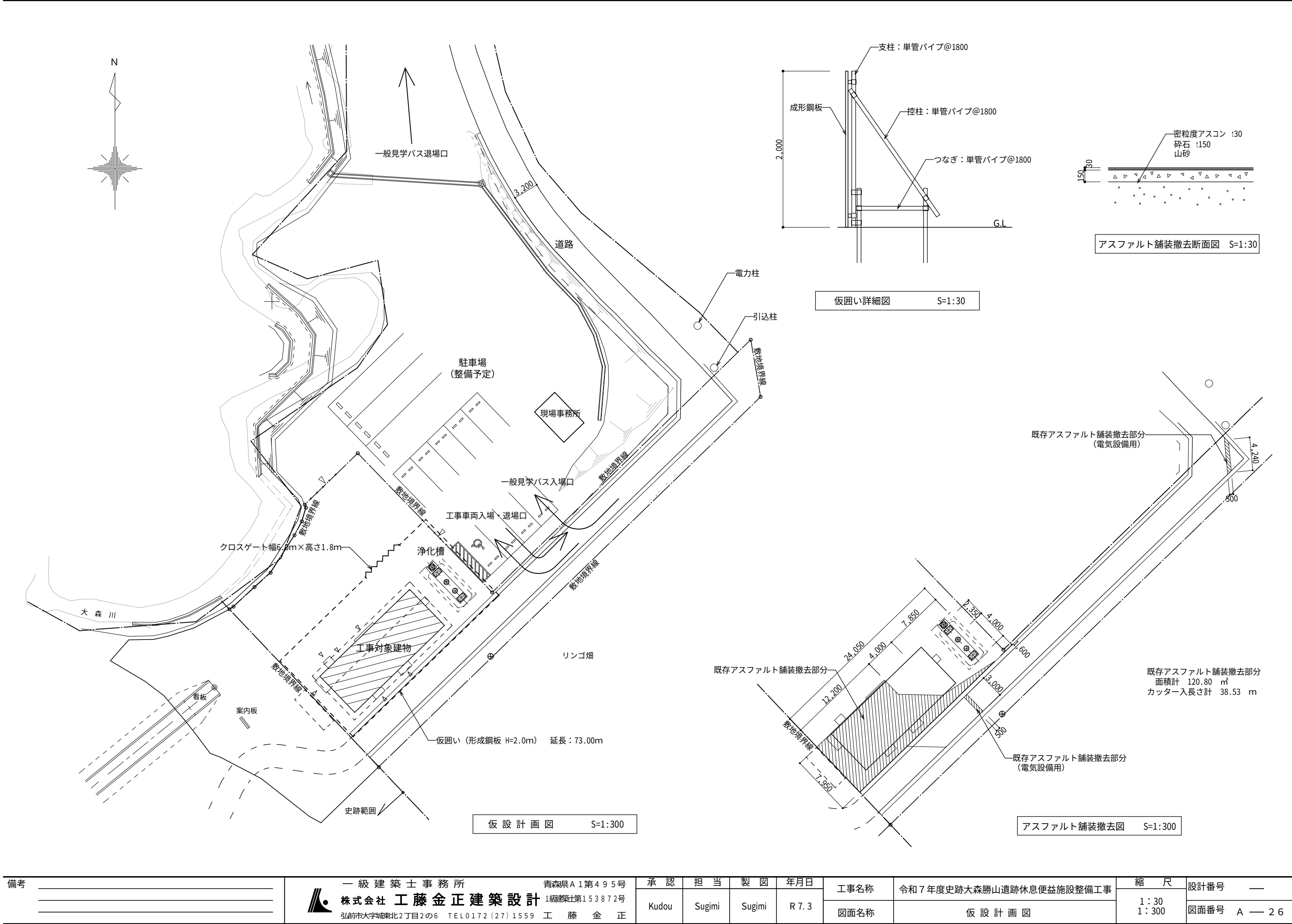
天井伏図 S=1:100

凡 例	
符号	仕 上
Ⓐ	コンクリート打放し補修、高浸透性吸水防止材、 アクリルシリコン樹脂クリアー塗装
Ⓑ	ケイ酸カルシウム板 t6.0 目透張、EP-G塗装
Ⓒ	化粧石膏ボード t9.5張 (トラバーチン模様) 910×910
Ⓓ	コンリート打放し (表し)
☒	天井点検口：アルミ製450角 (額縁タイプ)

符号・カ所数	AD-1・AD-1A	1ヶ所+1ヶ所	AD-2	1ヶ所	AD-3	1ヶ所	AD-4	1ヶ所	AD-5	1ヶ所			
姿 図													
	名称・位置		片引きハンガー戸		片引きハンガー戸		親子戸		片引き戸				
	仕 上 材		アルミ製フラッシュ		アルミ製フラッシュ		アルミ製 框戸 (アルミ 裱 t3.0)		アルミ製 框戸 (腰アルミ 裱 t2.0)				
	ガ ラ ス		TF4		TF4		-		F4				
	金 物		ハンガーレール、把手、シリンダー錠、ステンレス杏摺、額縁、付属金物一式		ハンガーレール、把手、シリンダー錠(表示)、ステンレス杏摺、額縁、付属金物一式		丁番、ハンドル、シリンダー錠、ドアアラーム、額縁、ガラス、付属金物一式		ステンレスレール、引手、錠、付属金物一式				
備 考		傾斜レール制御装置		傾斜レール制御装置				額縁：木製集成材 t25 CL					
符号・カ所数	AD-6	1ヶ所	AW-1	1ヶ所	AW-2	1ヶ所	AW-3	1ヶ所	AW-4・AW-4A	2ヶ所+1ヶ所			
姿 図													
	名称・位置		片引き戸		引違い窓		引違い窓 + Fix窓 (段窓)		引違い窓				
	仕 上 材		アルミ製 框戸 (腰アルミ 裱 t2.0)		アルミ樹脂複合		アルミ樹脂複合		アルミ製・ (AW-4Aはアルミ樹脂複合)				
	ガ ラ ス		F4		TFL5+A12+Low-E5		TFL4+A12+FL3		F4・ (AW-4AはF4+A12+FL3)				
	金 物		ステンレスレール、引手、錠、付属金物一式		クレセント、網戸、付属金物一式		クレセント、付属金物一式		クレセント、網戸、付属金物一式				
備 考		額縁：木製集成材 t25 CL		額縁：木製集成材 t25 CL		額縁：木製集成材 t25 CL		額縁：木製集成材 t25 CL					
符号・カ所数	SS-1	1ヶ所	TB-1	1ヶ所	TB-2	1ヶ所	TB-3	1ヶ所					
姿 図													
	名称・位置		軽量スチールシャッター		トイレブース		トイレブース						
	仕 上 材		カラー鋼板		メラミン化粧板貼		メラミン化粧板貼						
	ガ ラ ス		-		-		-						
	金 物		座板、ガイドレール、ボックス、三方枠、付属金物一式		ステンレス巾木、表示錠、戸当り、ラバトリ金物一式		ステンレス巾木、表示錠、戸当り、ラバトリ金物一式						
備 考		三方枠：鋼板 t1.6 珪素樹脂塗装											
備考		FL 透明ガラス PW 網入ガラス T 強化ガラス F 型板ガラス FW 型板網入ガラス FT 型板強化ガラス		一級建築士事務所 青森県 A1 第 495 号 株式会社 工藤金正建築設計 青森県 A1 第 15387 号 弘前市大字城北 2 丁目 2 の 6 TEL 0172 (27) 1559 工藤金正		承認 担当 製図 年月日 Kudou Sugimi Sugimi R 7. 3		工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事		縮 尺 1:50		設計番号 — 図面番号 A — 23	



ピクチャーレール 詳細図			S=1:3	マグネットボード掲示板 詳細図			S=1:20
							
(参考) L=2,200:1本(フック6個) ・ L=1,500:1本(フック4個)				屋外・屋内兼用タイプ ※4台			
ポーチ手摺 詳細図			S=1:30	ライニング甲板 LGS下地			S=1:20
							
※アルミ既製品とする				※SKライニングも同様、手洗い高さは1,000とする			



備考	

一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計	青森県A1第495号 1級建築士第153872号 弘前市大字城北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正
---------------------------	---

承認	担当	製図	年月日
Kudou	Sugimi	Sugimi	R7.3

工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称	仮設計画図

縮尺	設計番号
1:30 1:300	図面番号 A-26

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1, 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
- (2) 工事場所 青森県弘前市大字大森勝山 地下
- (3) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築
- (3) 構造種別
- ☐ 木造 (W) ☐ 補強コンクリートブロック造 (CB) ☐ 鉄骨造 (S)
- ☐ 鉄筋コンクリート造 (RC) ☒ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
- ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
- ☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) ☐
- (4) 階 数
- 地下 階 地上 1 階 塔屋 階
- (5) 主要用途 便所、休憩室
- (6) 屋上付属物
- ☐ 広告塔 ☒ 制御盤 20kg ☒ ブロアー 40kg×2台
- ☐ 煙突 ☐ キュービクル kN ☐ テーブル付 kN
- (7) 増築計画 ☐ 有 () ☒ 無
- (8) 付帯工事
- ☐ 門扉 ☐ 擁壁 ☐ ☐ ☐
- (9) 特別な荷重
- ☐ 乗用エレベータ 人乗 ☐ ダムウェータ kN
- ☐ 寝台用エレベータ 人乗 ☐ 受水槽 kN
- (10) 構造計算ルート X方向ルート (1) Y方向ルート (1)

2, 使用構造材料

- | (1) コンクリート | | | | |
|------------|---------|----------------------------|-----------------|-----|
| 適用箇所 | 種 類 | 設計基準強度
($F_c=N/mm^2$) | スラブ
(cm) | 備 考 |
| 舎コンクリート | ●普通 □ | □16 ●18 □21 | 15 | |
| 土間コンクリート | ●普通 □ | □21 ●24 □27 | 18 | |
| 基礎、基礎梁 | ●普通 □ | □21 ●24 □27 | 18 | |
| 主、梁、床、壁 | ●普通 □軽量 | □21 ●24 □27 | 18 | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
- 温度補正は別途加算する

- (2) コンクリートブロック(CB)
☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100、 ☐ 120、 ☐ 150、 ☐ 190
- (3) 鉄筋 _____

	種類	径	使用箇所	継手法
異形鉄筋	☒ SD295	D16以下	リストによる	☒ 重ね継手 (D16以下)
	☐ SD295B			☐ ガス圧継手 (D19以上)
	☐ SD345			
	☐			
丸 鋼	☐ SR235			☐ 特殊継手
溶接金網	☐			()

- | (4) 鉄骨 | | 種類 | 使用箇所 | 現場溶接 | 備考 |
|--------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---|----|
| 鋼 材 | ☐ SS400 | ☐ SM400A | ☐ SM400B | ☐ 有 ☐ 無 | |
| | ☐ STKR400 | ☐ STKR490 | ☐ STK400 | ☐ 有 ☐ 無 | |
| | ☐ SM490A | ☐ SM490B | | ☐ 有 ☐ 無 | |
| | ☐ SSC400 | ☐ | ☐ | ☐ 有 ☐ 無 | |
| | ☐ BCR295 | ☐ | ☐ | ☐ 有 ☐ 無 | |
| | ☐ SM490A | ☐ SM490B | ☐ SM490C | ☐ 有 ☐ 無 | |
| 備考 | | | | | |

- (5) ボルト
- ☐ 高力ボルト ☐ F10T ☐ S8T ☐ S10T 認定品 (☐ M12 ☐ M16 ☐ M20 ☐ M22 ☐ M24)
- ☐ 中ボルト M12 $\phi =$ 高力ボルトすべり係数試験 ☐ 要 ☐ 否
- ☐ アンカーボルト 構造図による
- ☐ 頭付スタッド

- | | | | | |
|------------|----|----|----|---|
| (6) 屋根、床、壁 | | | | |
| □ ALC板 | 厚 | | | |
| □ 折板 | 形式 | H= | mm | 厚 |
| □ デッキプレート | 形式 | 厚 | | |
| | 形式 | 厚 | | |
| □ ルーフデッキ | 形式 | 厚 | | |

3, 地 盤

- (1) 地盤調査
有 (●敷地内 □近隣) □ボーリング調査 □平板載荷試験 □水平地盤反力係数の測定
□無 (調査予定 □有 □無) ●スクリーウェイト貫入試験
- (2) 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
□土質試験 □物理調査 □平板載荷試験
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

[illegible]

4, 地業工事

- (1) 直接基礎 ☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☒ 独立基礎 試験掘 ☐ 有 ☒ 無
 載荷試験 ☐ 有 ☒ 無
 深さ設計 G L - 1.00 m、支持層 - 粘性土
 (Ns=0 以深まで浅層地盤改良を行う事)
 長期許容支持力 65 kN/m²

- (2) 基礎杭 支持層 一

杭仕様 ☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭長さ (m)	本数	特記事項

5, 鉄筋コンクリート工事

- コンクリートはJIS認定工場製の製品とし、施工に関してはJASS5による。
 - セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 - 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 - 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの取用を受ける場合には、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項については、工事監理者の承認を得ること。
 - フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術指導をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し、承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り出す3回行い、その平均値を試験値とする。
 - 構造体コンクリート現場の圧縮度試験供試体(JASS5T-603)は、現場中で養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み口ごととする。また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごと、またはその端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数採取すること。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
 - ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置についてはあらかじめ垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
- (2) 鉄筋
- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
 - 鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋基準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋基準図(1)(2)」による。
 - D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、公益社団法人 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書 ガス圧接継手工事」による。
 - ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業期が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えないときは、200箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
 - 外観検査 □ 有 □ 無 引張試験 □ 有 □ 無 超音波深探試験 □ 有 □ 無
 - 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、○ H型(タガ型) ○ W型(溶接型) ○ S型(スワイヤル型)とする。
 - コンクリート及び鉄筋の試験は工事監理者の承認のうえ、指定の試験機関で行うこと。

- (3) 型 枠
- 材料 合板厚 12mmを標準とする。 □
- 型枠存置期間

種類 部位		せ き 板				支 柱			
		基礎、梁側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
セメント の 種 類 平均 気温 の 存 在 期 間 の コ ン クリ ー ト の 材 令 (日)	早強度ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強度ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強度ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強度ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	
		高炉セメント A種		高炉セメント A種		高炉セメント A種		普通ポルト ランドセメント	
		シリカセメント A種		シリカセメント A種		シリカセメント A種		高炉セメント A種	
								シリカセメント A種	
15℃以上	2	3	4	6	8	17	28		
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28		
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28		
コンクリートの 圧縮強度			5N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の		
							85%	100%	

- 注) 1 片持り、底、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2 大よりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。
- 一時に全部の支柱を取り替って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6, 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- ☐ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 - ☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 - 制作工場 □ 製作要領書 □ 工作図 □ 施工計画書
 - 大臣認定工場はRグレード以上とする。
 - 材料規格証明書または試験成績書
 - 鋼材 □ 高力ボルト □ 特殊ボルト □ スタッドボルト
 - 社内検査表
- (3) 工事監理者が行う検査項目
(●印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 - 現状検査 □ 組立・開先検査 □ 製品検査
 - 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によると
 - 日本建築学会「溶接工作基準、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
 - 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
- (5) 接合部の検査
 - 溶接部の試験は、公共建築協会「建築工事共通仕様書」により、平均出検品質限界(AOQL)及び検査水準は、下記を標準とする。
AOQL 一般建築物・・・4.0 % □ 検査水準 共通仕様書 第6 □
I・II類建築物・・・2.5 % □ 超高層庁舎 第1 □
 - 高力ボルトは「JIS B1836の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然に放置して発生した、赤さび状態あること。ただし、ショットブラスト、グリュートブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
 - 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2段階のとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。
- (6) 防錆塗装
 - 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5674、2回塗りを標準とする。
 - 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

7, 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8, その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

9, 令第129条の2の4 法適合確認

- 第129条の2の4の事項
- ・建築物に設ける建設設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 建設設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれのないものとする。
 - 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支座を設けたものを除き、90cm以下とすること。
 - 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
 - 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
 - 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な形の損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該配管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は滑り継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 - 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が 15 kgを超える給湯設備については、地震に對する安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
- ＊「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

備考		 一級建築士事務所 株式会社工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事	縮尺	設計番号
			1級建築士第153872号	Kudou	Sugimi	Ono	R 7.3	図面名称	構造設計標準仕様		—
											S — 01

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

※修正箇所は下線を引くこと

１．一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
d…異形棒筋の呼び名に用いた数値 D…部材の成 R…直径
@…間隔 r…半径 ϕ …中心線 ℓ …部材間の内法距離 h_0 …部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S.HOOP…補強帯筋 ϕ …直径
- 特記なき構造詳細は、日本建築学会「壁構造配筋指針」による。

２．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
※片持スラブ上端筋の先端 鉄筋は、S0295A, S0295B, S0345を使用する。 折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所 による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による 区分	鉄筋の折り曲げ 内法の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	S0295A S0295B, S0345	D16以下	3d以上
	上記以外の 鉄筋	S0295A S0295B, S0345	D16以下 D19~D25	4d以上 6d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

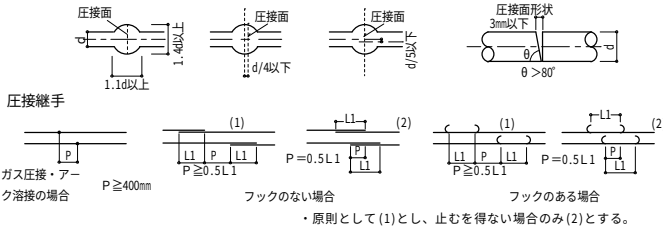
鉄筋の種類	普通、軽量コン クリートの設計 基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び 重ね継手の長さ (L)
		一般 (L2)	小梁	スラブ	
S0295A S0295B S0345	21 24 18	35d または 25d フックつき 40d または 30d フックつき	25d または 15d フック つき	10d かつ 150mm以上	40d または 30d フックつき 45d または 35d フックつき

コンクリートは普通Fc=18N/mm²以上24N/mm²以下、軽量Fc=18N/mm²以上21N/mm²以下

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設ける事を原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする

ガス圧接形状



(4) 鉄筋のかぶり厚さ (単位: mm)

構 造 部 分	最小かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ*・非耐力壁	20*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分・基礎つなぎ梁	40
基礎 (捨コンクリート部分を除く)	60

(注) * 耐久性上有効な仕上げがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。
又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
** 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。 (8-(1)の㉑参照)

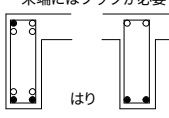
(5) 鉄筋のあき

- 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上



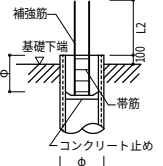
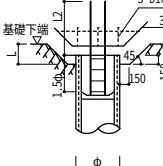
(6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける。)

- 壁長が1m以下の壁横筋の末端
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

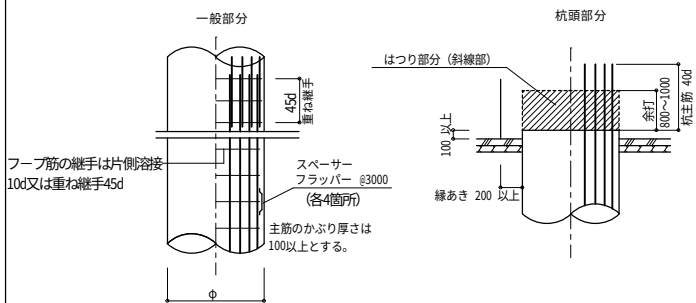


３．杭 (地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

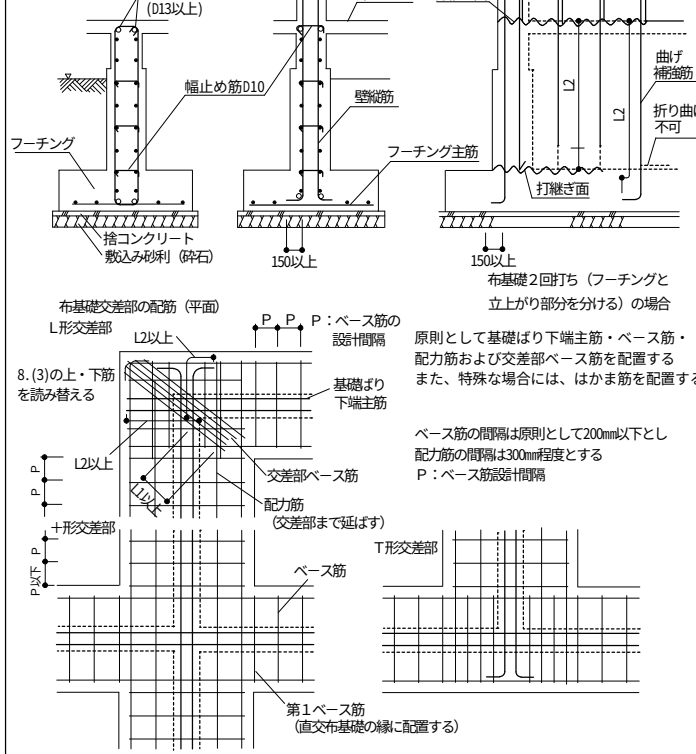
所定の位置に止まった場合		所定の位置より低く止まった場合		
		但し $L \leq \phi$ の場合 $L > \phi$ の場合は工事監督者の指示による。 		
杭 径	300φ 350φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	10-D13	8-D16	10-D16
帯 筋	D10 @150			

(2) 場所打ちコンクリート杭

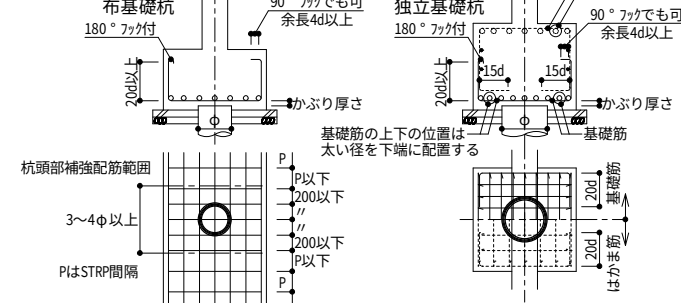


４．基 礎

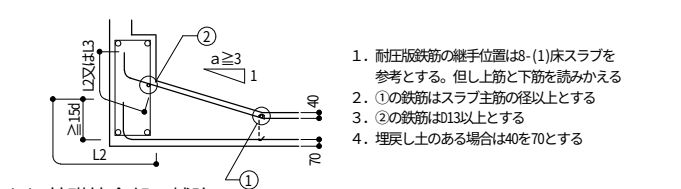
(1) 布基礎



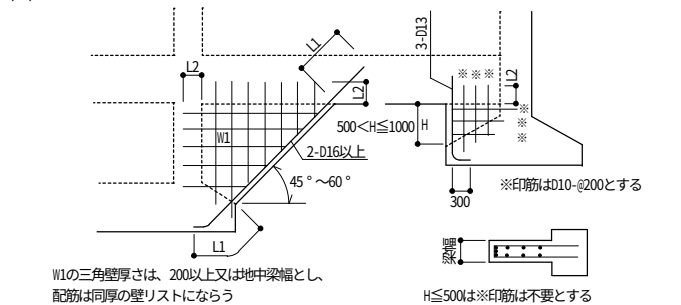
(2) 杭 基 礎



(3) ベタ基礎

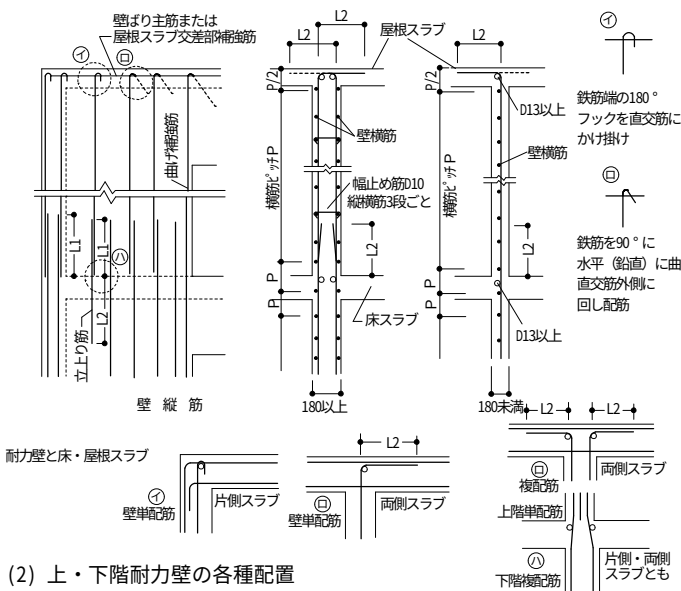


(4) 基礎接合部の補強

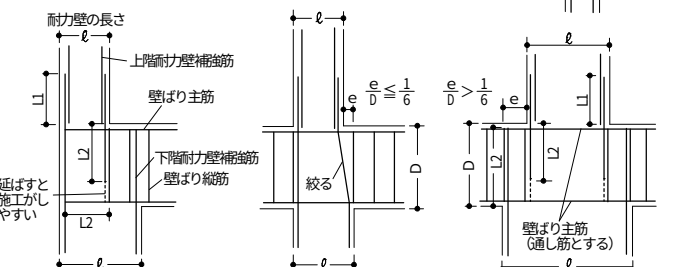


５．耐力壁

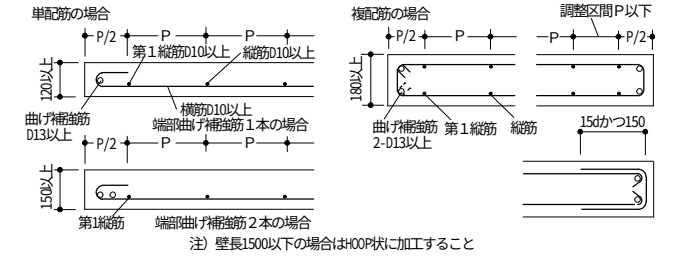
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



(2) 上・下階耐力壁の各種配置

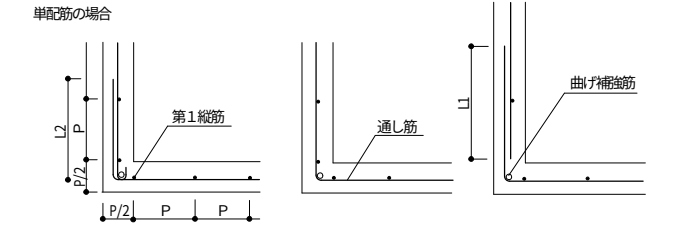


(3) 耐力壁の縦・横筋の配置

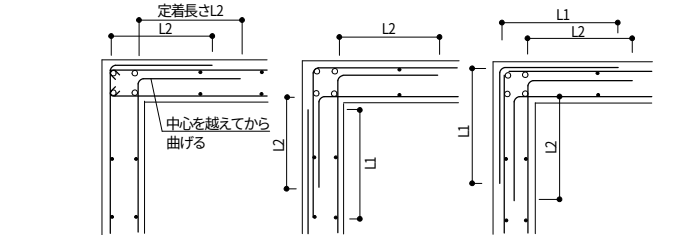


(4) 耐力壁が交差する場合 (平面)

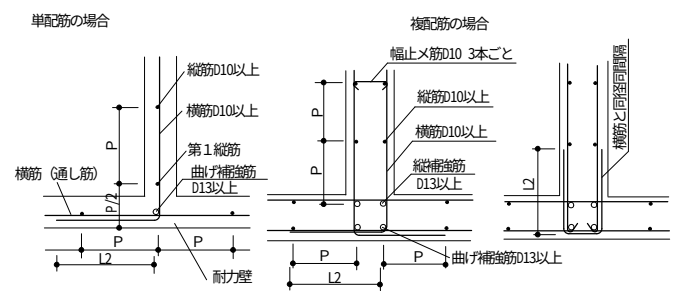
㊸ L形交差部の縦・横筋などの配置



㊸ T形交差部の縦・横筋などの配置



㊸ +形交差部の縦・横筋などの配置



６．使用可能な鉄筋の最大径 (標準)

部位	耐 力 壁	壁 が り よ う 小	梁 基 礎 梁	布 基 礎 基 礎 梁	ス ラ ブ	非耐力壁	塀
構造種別	壁式鉄筋 コンクリート造	D22	D22	D25	D16	D16	D16

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美

備考

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172 (27) 1559 工藤金正

承認 担当 製図 年月日

Kudou Sugimi Ono R 7. 3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休憩所便益施設整備工事

図面名称 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

縮尺 設計番号

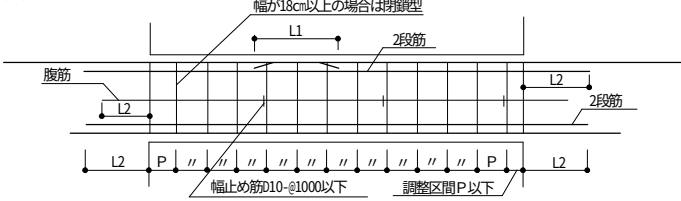
— S 02

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

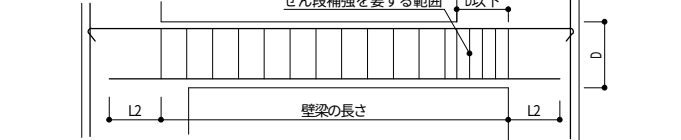
※修正箇所は下線を引くこと
L=本構造配筋標準図(1)の2・(3)による

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

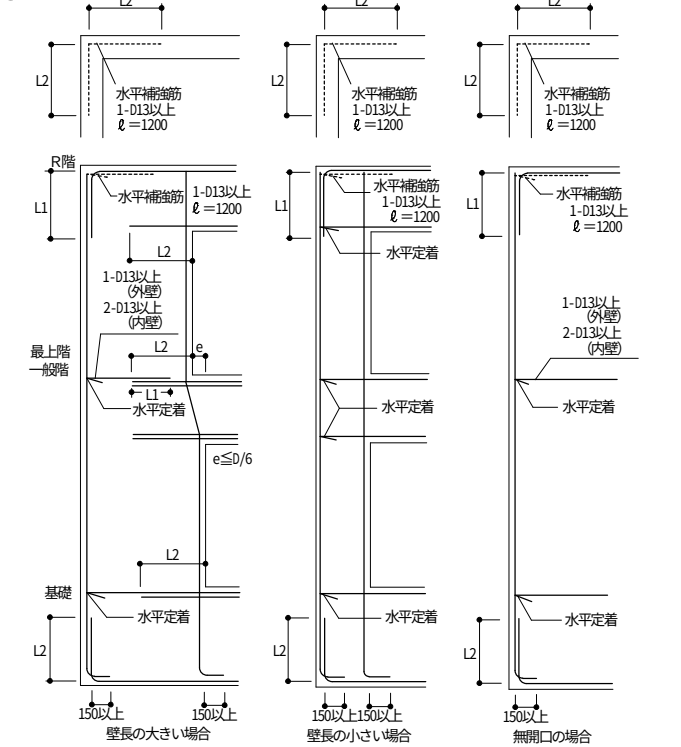


(2) 壁梁の範囲

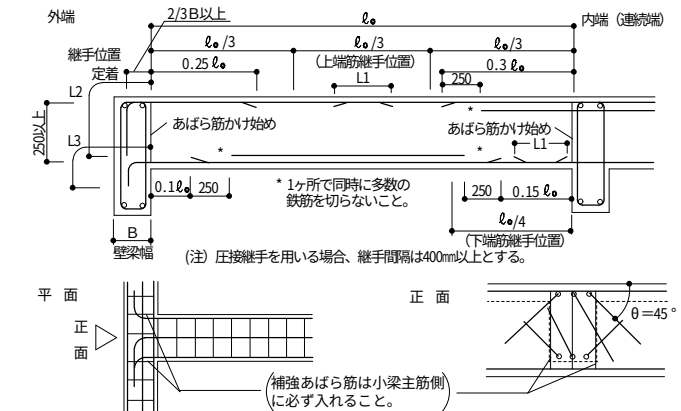


(3) 定着

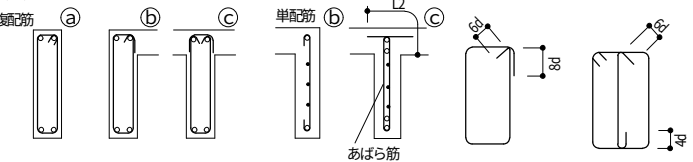
① 壁梁



② 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ

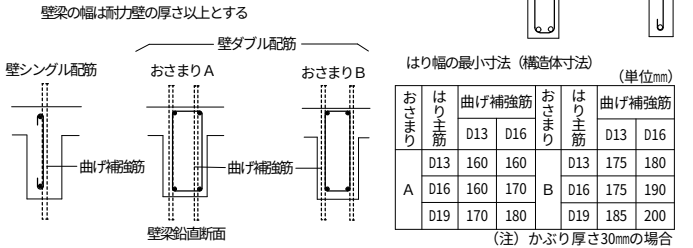


(4) あばら筋の型



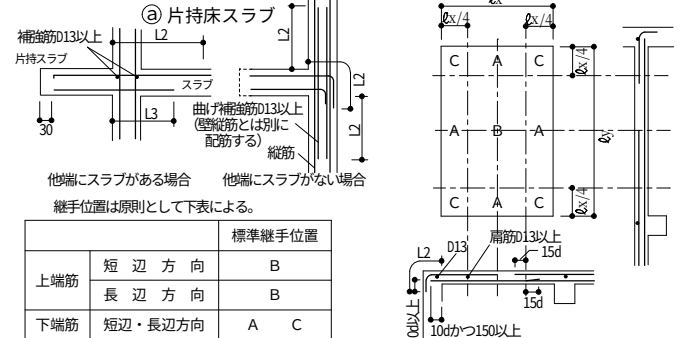
- (イ) 原則として①のフック先曲げとする。
片側床版付 (L型) 梁で①、
両側床版付 (T型) 梁で②とすることができる。
(ロ) フックの位置は③にあっては交互、
④にあってはスラブ側とする。

(5) 壁梁と壁のおさまり



8. 床板

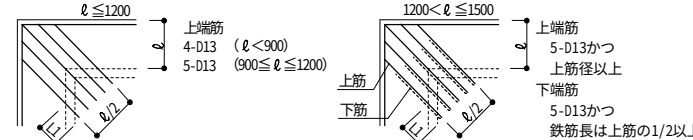
(1) 定着および継手



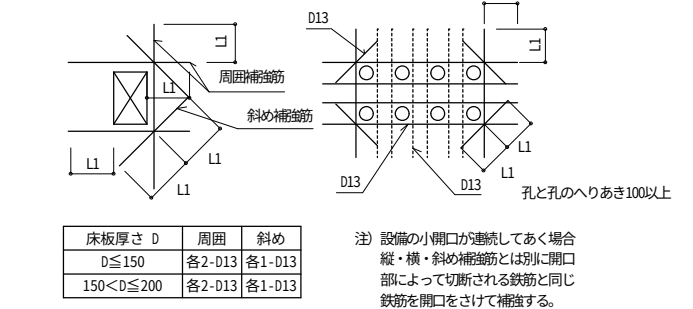
(2) 屋根スラブの補強



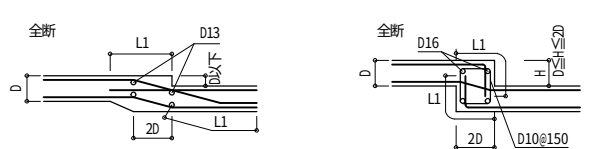
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



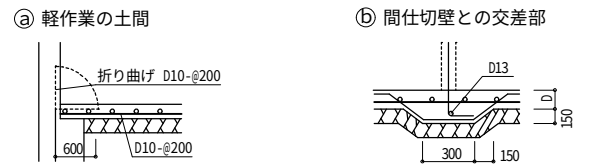
(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)



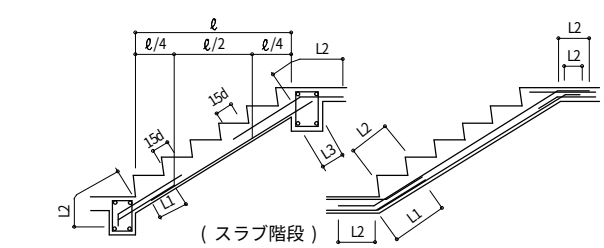
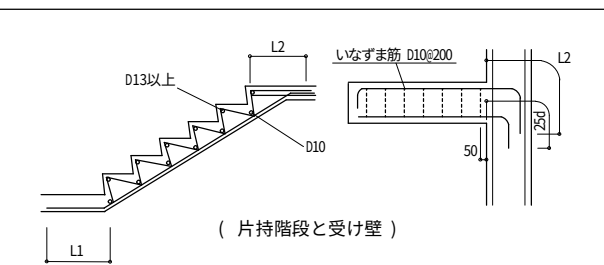
(5) 床板段差



(6) 土間コンクリート

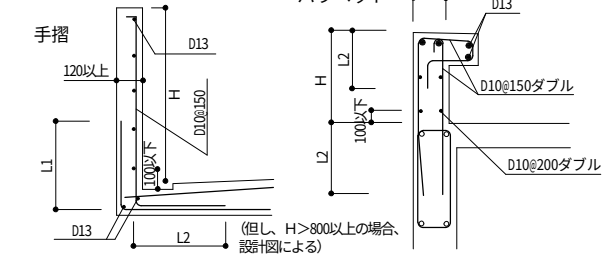


9. 階段

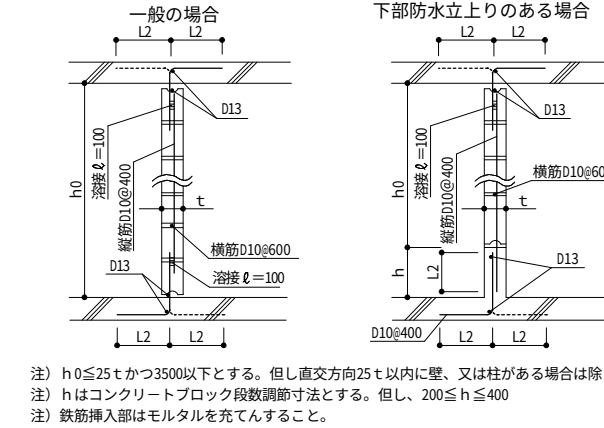


10. その他

(1) 手摺、パラペット



(2) コンクリートブロック帳壁



11. 梁貫通孔補強

※ 大臣認定品を使用する事

(1) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

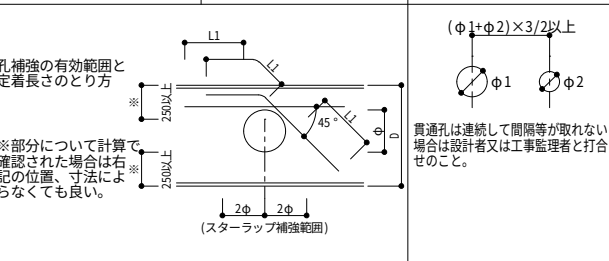
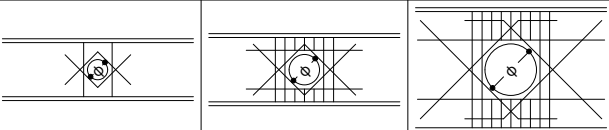
□リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

(2) 鉄筋標準配筋

但し $\phi \leq D/3$ とする

設置可能範囲 原則として梁端部(スパン $\ell/10$ 以内かつD以内)は避ける
ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く

80 $\leq \phi \leq 100$ 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @100	100 $< \phi \leq 150$ 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @50 横筋 2-(2-D13) 上縦筋 ST 2-D13 @50	150 $< \phi \leq 250$ 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13 @50 横筋 2-(2-D13) 上縦筋 ST 2-D13 @50
---	--	--



換算N値および換算qu換算qa算定結果表									
(スクリーウエイト貫入試験)									
測点番号: S-1			試験深度 4.30 m						
貫入深度 (m)	土質 記号	土質 名称	No.	荷重 Wsw (kN)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均記 数 Nsw	換算N値 砂質土 粘性土	換算qu (kN/m ²)	長期許容 支持力qa (kN/m ²)
0.25	G	礫質土	1	1.00	25	64	6.3	—	68.4
0.50			2	1.00	25	56	5.8	—	63.6
0.75			3	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
1.00			4	1.00	25	4	3.2	48.0	32.4
1.25	C1	第1 粘性土	5	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
1.50			6	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
1.75			7	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
2.00			8	1.00	25	36	4.8	72.0	51.6
2.25	C2	第2 粘性土	9	1.00	25	160	8.0	120.0	90.0
2.50			10	1.00	25	240	15.0	225.0	174.0
2.75			11	1.00	25	24	4.2	63.0	44.4
3.00			12	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
3.25	C3	第3 粘性土	13	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
3.50			14	1.00	25	16	3.8	57.0	39.6
3.75			15	1.00	25	20	4.0	60.0	42.0
4.00	C4	第4 粘性土	16	1.00	25	60	6.0	90.0	66.0
4.25			17	1.00	25	160	11.0	165.0	126.0
4.50	C5	第5粘性土	18	1.00	5	1000	53.0	795.0	630.0
			19						
			20						
			21						
			22						
			23						
			24						
			25						
			26						
			27						
			28						
			29						
			30						
			31						
			32						
			33						
			34						
			35						
			36						
			37						
			38						
			39						
			40						
			41						
			42						

換算N値グラフ
→ 設計TGL

貫入量L
(cm)

1,000

15.0

地盤改良

各層の換算N値、換算qu平均、換算qa平均				
地層名 (記号)		換算N値	換算qu	換算qa
礫質土 (G)		6.0	—	66.0
第1粘性土 (C1)		3.7	56.0	38.8
第2粘性土 (C2)		11.5	172.5	132.0
第3粘性土 (C3)		3.7	55.8	38.6
第4粘性土 (C4)		8.5	127.5	96.0
第5粘性土 (C5)		53.0	795.0	630.0
				</

換算N値および換算qu換算qa算定結果表									
(スクリーウエイト貫入試験)									
測点番号: S-2			試験深度 2.58 m						
貫入深度 (m)	土質 記号	土質 名称	No.	荷重 Wsw (kN)	貫入量 L (cm)	1m当りの平均 記数 Nsw	換算N値 砂質土 粘性土	換算qu (kN/m ²)	長期許容 支持力qa (kN/m ²)
0.25	G	礫質土	1	1.00	25	60	6.0	—	66.0
0.50			2	1.00	25	12	3.0	54.0	37.2
0.75			3	1.00	25	8	3.4	51.0	34.8
1.00	C1	第1 粘性土	4	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
1.25			5	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
1.50			6	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
1.75			7	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
2.00			8	1.00	25	160	11.0	165.0	126.0
2.25	C4	第4 粘性土	9	1.00	25	72	6.6	99.0	73.2
2.50			10	1.00	25	136	9.8	147.0	111.6
2.58	C5	第5粘性土	11	1.00	8	500	28.0	420.0	330.0
			12						
			13						
			14						
			15						
			16						
			17						
			18						
			19						
			20						
			21						
			22						
			23						
			24						
			25						
			26						
			27						
			28						
			29						
			30						
			31						
			32						
			33						
			34						
			35						
			36						
			37						
			38						
			39						
			40						
			41						
			42						

図10-10のグラフ

020406080

1000T

11.0

5.6

5.8

28.0

地盤改良

備考:				各層の換算N値、換算qu平均、換算qa平均			
換算N値		度・砂・砂質土 $N^*=(2 \times W_{sw}) \div (0.067 \times W_{sw})$		地層名 (記号)	換算N値	換算qu	換算qa
粘土・粘性土 $N^*=(3 \times W_{sw}) \div (0.050 \times W_{sw})$				礫質土 (G)	6.0	—	66.0
換算qu	$qu^*=45 \times W_{sw} \div 0.75 \times W_{sw}$			第1粘性土 (C1)	3.2	47.5	32.0
換算qa	$qa^*=3 \times 10^{-5} (W_{sw})^2 \quad W_{sw} \leq 100$			第2粘性土 (C2)	9.1	137.0	103.6
	$qa^*=1040.6 \times W_{sw} \quad W_{sw} \geq 100$			第3粘性土 (C3)	28.0	420.0	330.0
平均換算N値 $N^*=各(貫入量L (cm) \times 換算N値) \div 層厚 (cm)$							
平均換算qu $qu^*=各(貫入量L (cm) \times 換算qu) \div 層厚 (cm)$							
平均換算qa $qa^*=各(貫入量L (cm) \times 換算qa) \div 層厚 (cm)$							

換算N値および換算qu換算qa算定結果表									
(スクリーウエイト貫入試験)									
測点番号: S-3			設計GL		試験深度 3.88 m				
貫入深度 (m)	土質 記号	土質 名称	No.	荷重 Wsw (kN)	貫入量 L (cm)	1m当りの 平均記数 Nsw	換算N値 砂質土 粘性土	換算qu (kN/m ²)	長期許容 支持力qa (kN/m ²)
0.25	G	礫質土	1	1.00	25	40	4.7		54.0
0.50			2	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
0.75			3	1.00	25	16	3.8	57.0	39.6
1.00			4	1.00	25	16	3.8	57.0	39.6
1.25			5	1.00	25	10	5.0	75.0	54.0
1.50			6	1.00	25	16	3.8	57.0	39.6
1.75			7	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
2.00			8	1.00	25	8	3.4	51.0	34.8
2.25			9	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
2.50			10	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
2.75			11	1.00	25	20	4.0	60.0	42.0
3.00			12	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
3.25			13	1.00	25	4	3.2	48.0	32.4
3.50			14	1.00	25	8	3.4	51.0	34.8
3.75			15	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
3.88	C5	第5粘性土	16	1.00	13	385	22.2	333.5	260.8
			17						
			18						
			19						
			20						
			21						
			22						
			23						
			24						
			25						
			26						
			27						
			28						
			29						
			30						
			31						
			32						
			33						
			34						
			35						
			36						
			37						
			38						
			39						
			40						
			41						
			42						

地盤改良

備考:				各層の換算N値、換算qu平均、換算qa平均				
換算N値				地層名 (記号)	換算N値	換算qu	換算qa	
礫・砂・砂質土 $N^*=(2\times Rsw)+(0.067\times Nsw)$				経管土(G)	4.7	—	54.0	
粘土・粘性土 $N^*=(3\times Rsw)+(0.050\times Nsw)$				第1粘性土(C1)	3.6	53.8	37.0	
換算qu	$qu^*=15\times Rsw+0.73\times Nsw$			第5粘性土(C5)	22.2	333.5	260.8	
換算qa	$qa^*=3\times 10^{-6}(Rsw)^2$ $Rsw\leq 1EN$							
	$qu^*=30\times 10^{-6}Nsw$ $Rsw\leq 1EN$							
平均換算N値 $N^*=各(貫入量L(cm)\times換算N値)/層厚(cm)$								
平均換算qu $qu^*=各(貫入量L(cm)\times換算qu)/層厚(cm)$								
平均換算N値 $qu^*=各(貫入量L(cm)\times換算N値)/層厚(cm)$								

換算N値および換算qu換算qa算定結果表										
(スクリーウエイト貫入試験)										
測点番号: S-4										
試験深度 6.26 m										
貫入深度 (m)	土質 記号	土質 名称	換算N値グラフ	No.	荷重 kN (kN)	貫入量 L (cm)	1m当り の平均圧 入率 N _{av}	換算N値 砂質土: 粘土質土	換算qu (kN/m ²)	長期許容 応力q ₀ (kN/m ²)
0.25	G	硬質土	4.7	1	1.00	25	40	4.7		54.0
0.50			4.4	2	1.00	25	28	4.4	66.0	46.8
0.75			4.2	3	1.00	25	24	4.2	63.0	44.4
1.00			3.4	4	1.00	25	8	3.4	51.0	34.8
1.25			3.0	5	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
1.50			3.0	6	1.00	25	0	3.0	43.0	30.0
1.75			3.6	7	1.00	25	12	3.6	54.0	37.2
2.00			3.0	8	1.00	25	0	3.0	43.0	30.0
2.25			2.3	9	0.75	25	0	2.3	33.8	16.9
2.50			2.3	10	0.75	25	0	2.3	33.8	16.9
2.75			3.2	11	1.00	25	4	3.2	48.0	32.4
3.00			3.0	12	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
3.25			5.4	13	1.00	25	48	5.4	81.0	58.8
3.50			3.8	14	1.00	25	16	3.8	57.0	39.6
3.75			3.0	15	1.00	25	0	3.0	45.0	30.0
4.00			4.6	16	1.00	25	32	4.6	69.0	49.2
4.25			4.0	17	1.00	25	20	4.0	60.0	42.0
4.50			5.8	18	1.00	25	56	5.8	87.0	63.6
4.75			8.8	19	1.00	25	116	8.8	132.0	99.6
5.00			7.4	20	1.00	25	88	7.4	111.0	82.8
5.25			5.4	21	1.00	25	48	5.4	81.0	58.8
5.50			4.6	22	1.00	25	32	4.6	69.0	49.2
5.75			5.0	23	1.00	25	36	4.8	72.0	51.6
6.00			5.8	24	1.00	25	40	5.0	75.0	54.0
6.25			5.8	25	1.00	25	55	5.8	87.0	63.6
6.26	C5	第5粘土質		26	1.00	1	5000	253.0	3795.0	3030.0
				27						
				28						
				29						
				30						
				31						
				32						
				33						
				34						
				35						
				36						
				37						
				38						
				39						
				40						
				41						
				42						

備考:

換算N値 距・砂・砂質土 $N^* = (2 \times Wav) + (0.067 \times Wav)$

換算qu $qu^* = 15 \times Wav \times 0.75 \times Wav$

換算qa $qa^* = 3 \times 10^{-3} (Wav)^2 \quad Wav \leq 100$
 $qa^* = 304.0 \times 6 \times Wav \quad Wav > 100$

平均換算N値 $N^* =$ 各(貫入量L (cm) × 換算N値) ÷ 層厚 (cm)

平均換算qu $qu^* =$ 各(貫入量L (cm) × 換算qu) ÷ 層厚 (cm)

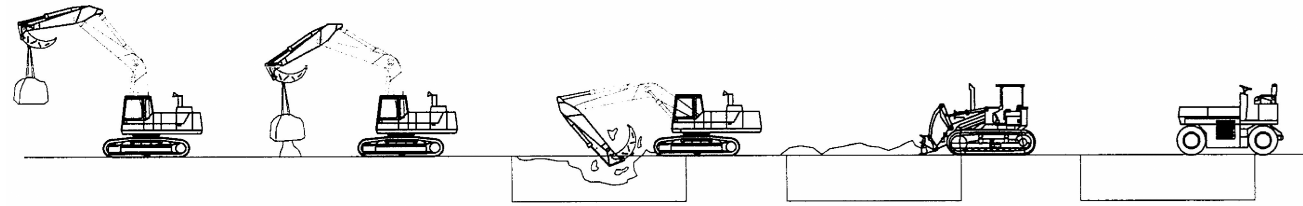
平均換算qa $qa^* =$ 各(貫入量L (cm) × 換算qa値) ÷ 層厚 (cm)

各層の換算N値、換算qu平均、換算qa平均			
地層名(記号)	換算N値	換算qu	換算qa
第1粘土質(C1)	4.7	—	54.0
第1粘土質(C1)	3.6	54.6	37.2
第1粘土質(C4)	6.0	89.6	66.7
第5粘土質(C5)	253.0	3795.0	3030.0

浅層地盤改良工法特記仕様書

1 工法概要

本工法は現地盤土とセメント系固化材をバックホウで混合し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



区割り固化材配置

材料散布

混合攪拌

整地・敷き均し

轉庄

2 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((財)日本建築センター)による。

改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することがある。
本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督員の承認を得るものとする。施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容（改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等）
- (2) 工程表
- (3) 施工方法（仕様固化材、配合量等）
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図による。
- (2) 改良体の設計基準強度： $F_c = 195 \text{ kN/m}^2$
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4 配合管理

- (1) 地盤改良に使用する固化材は、六価クロム抑制タイプのセメント系固化材とする。
- (2) $F_c = (1 - m \cdot V) \cdot q_{uf}$ F_c : 設計基準強度 (kN/m²)
 $q_{uf} = F_c / (1 - m \cdot v)$ m : 相関係数=1.3
 $q_{ul} = q_{uf} / d_1$ V : 変動係数=0.45
 d_1 : 現場/室内強度比 (0.5~0.8)
※0.7を採用
- (3) $q_{ul} = \{ 195 / (1 - 1.3 \times 0.45) \} / 0.7$
 $= 671 \text{ kN/m}^2$
- (4) 推定配合量 80 kg/m³ (最終的には配合試験により決定する)

5 施工

- ### (1) 施工

改良対象地盤にマーキングしできあがった升目に改良体を散布する。

混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。

改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。

施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。

施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

6 施工管理

施工過程における管理方法は次の通りとする。

- ### (1) 固化材散布量

マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。

- (2) 改良厚さ

混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。

- ### (3) 混合程度

固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

7 報告

工事完了後、次の事項について報告書をまとめて、監督員に提出する。

- (1) 施工日報（改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等）
- (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
- (3) 管理試験結果

8 管理試験

- ### (1) 一軸圧縮試験

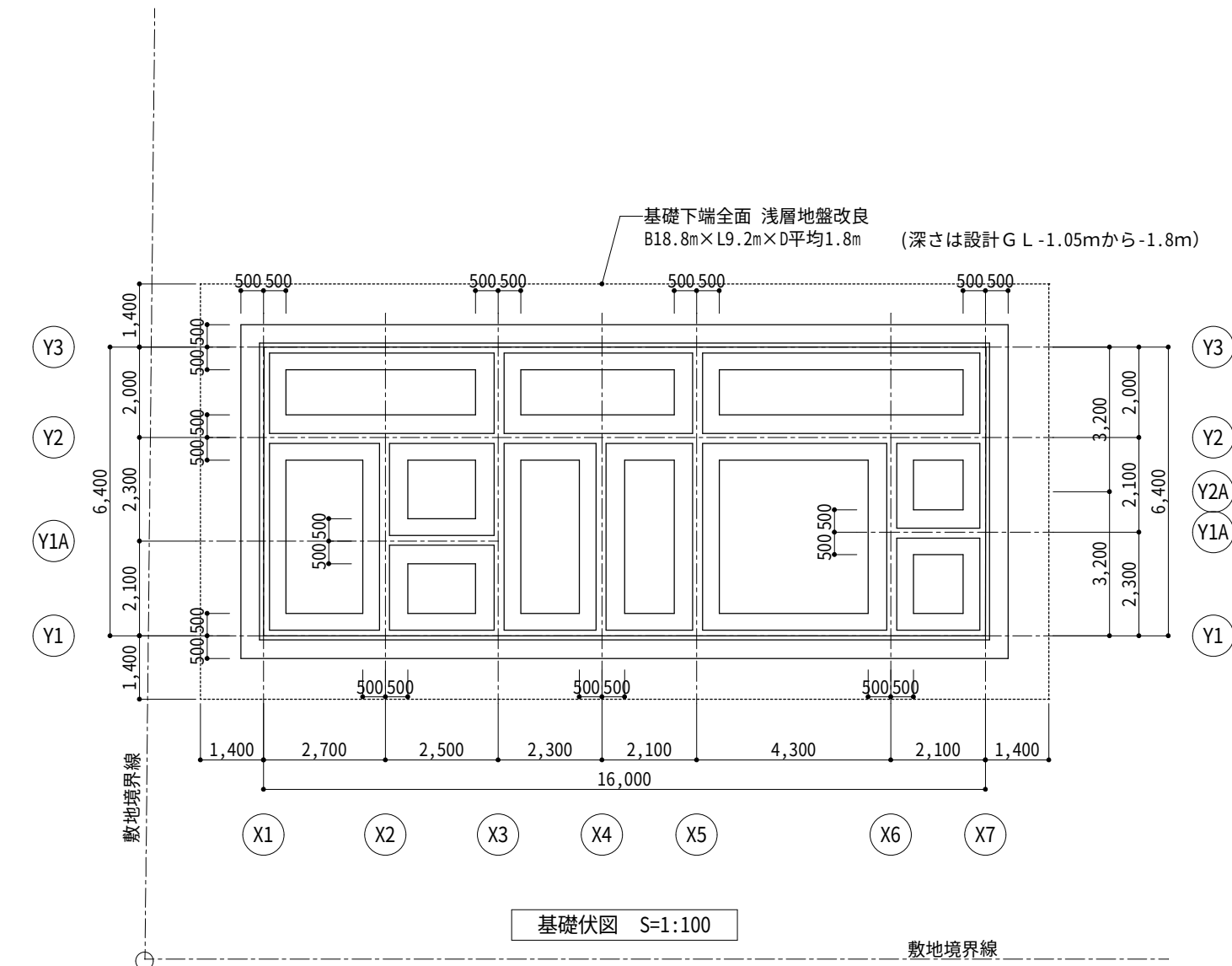
- 1) 現場採取供試体
2 ヶ所から改良土を採取し、寸法φ5cm×10cmの供試体を 3 個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
- 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度を上回ること。

- ## (2) 六価クロム溶出試験

国土交通省 国官技第16号、国営建第1号（平成13年4月20日）「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領（案）」による六価クロム溶出試験を実施し、試験結果を提出するものとする。

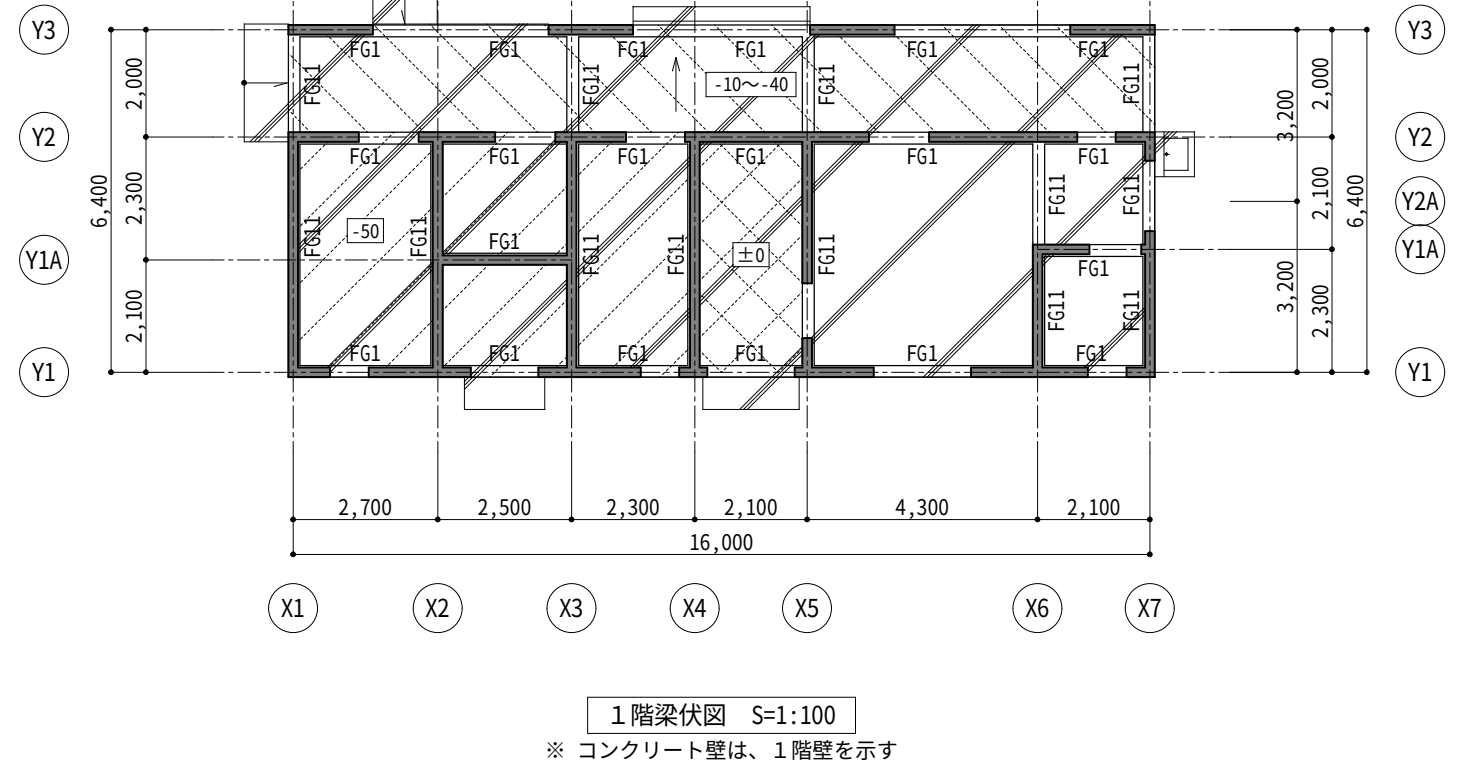
事前配合試験段階 1 検体

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美												
備考	 一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172 (27) 1559 工藤金正			青森県A1第495号 1級建築士第153872号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事	縮尺	設計番号
				Kudou	Sugimi	Ono	R 7. 3	図面名称	浅層地盤改良工法特記仕様書	—	図面番号 S — 05	



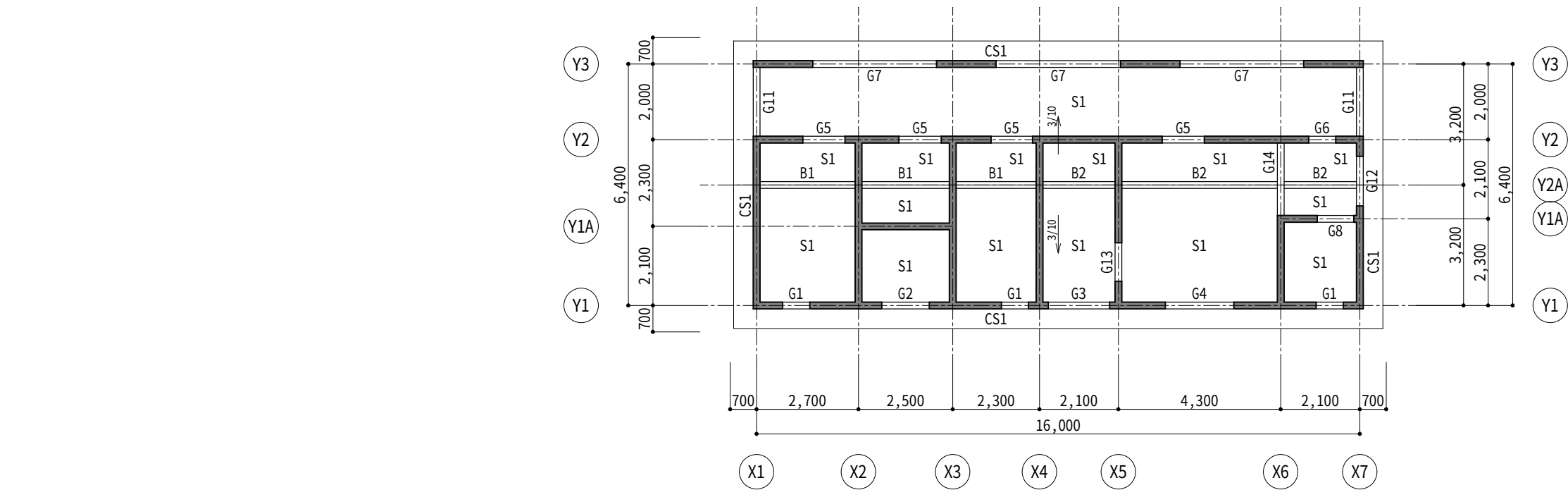
特記なき限り以下とする。

- 1.基礎は、布コンクリート F1 とする。
- 2.基礎下端は、GL-1,000とする。
- 3.設計用地耐力 $F_e=65\text{kN/m}^2$ (長期)
- 4.基礎下部は浅層地盤改良を行い、設計用地耐力 $F_e=65\text{kN/m}^2$ (長期) 確保する事。
- 5.地盤改良厚さDは軟弱地盤 ($N_{sw}=0$)以深まで浅層地盤改良を行う事。



特記なき限り以下とする。

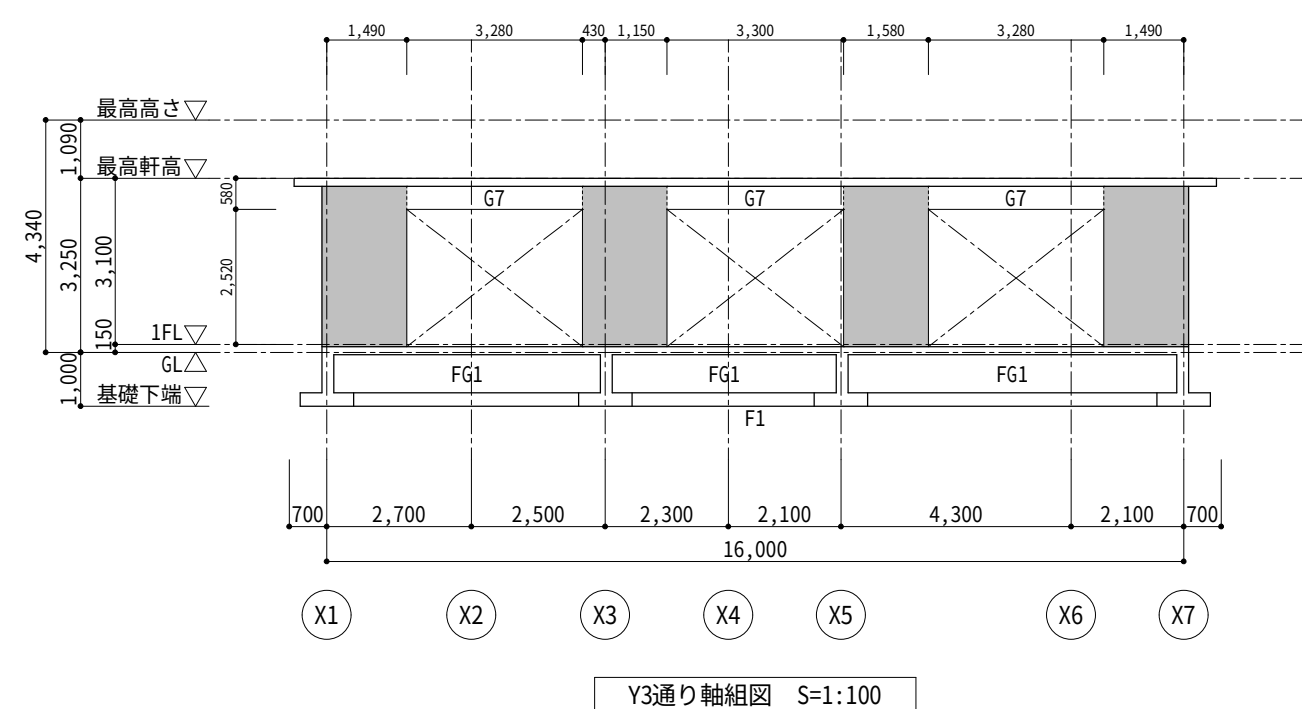
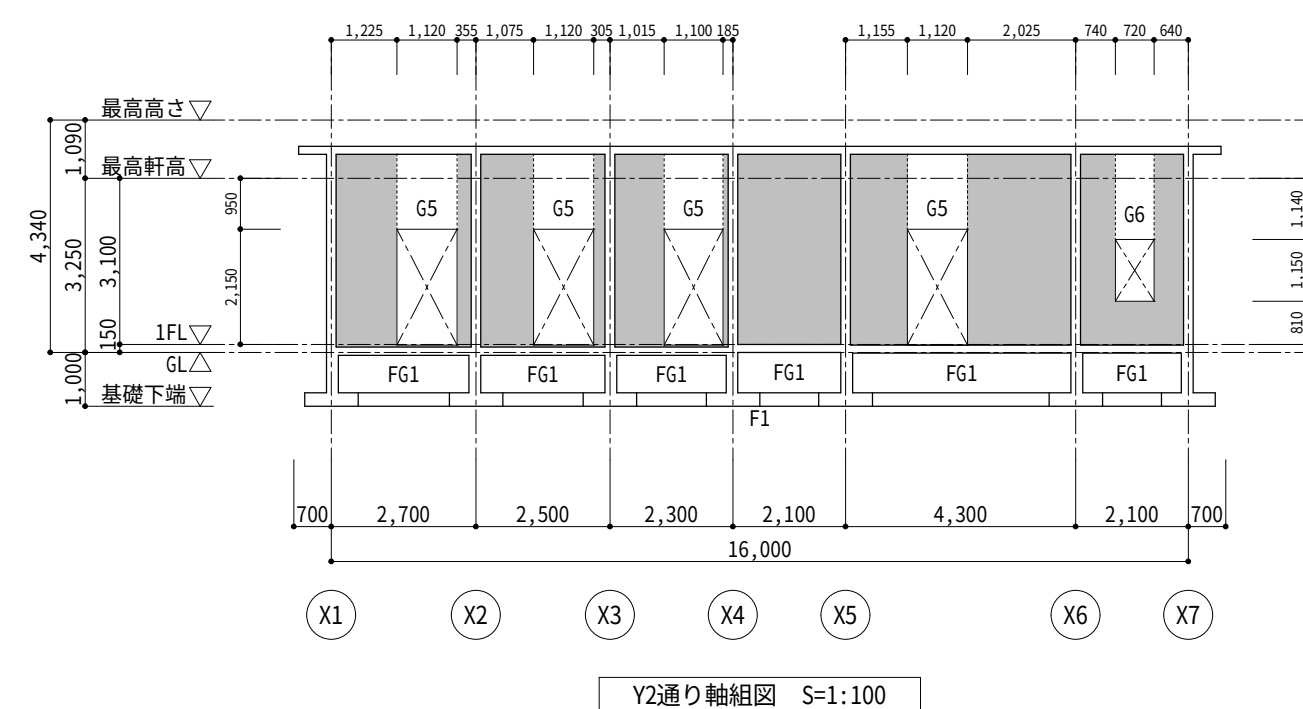
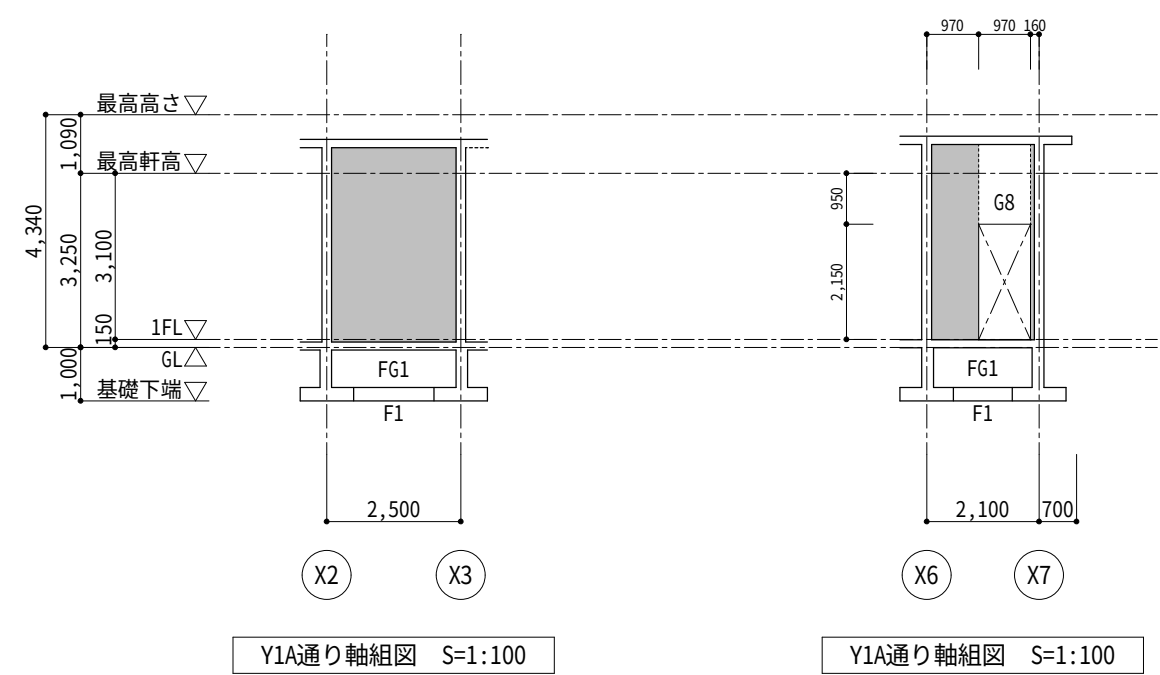
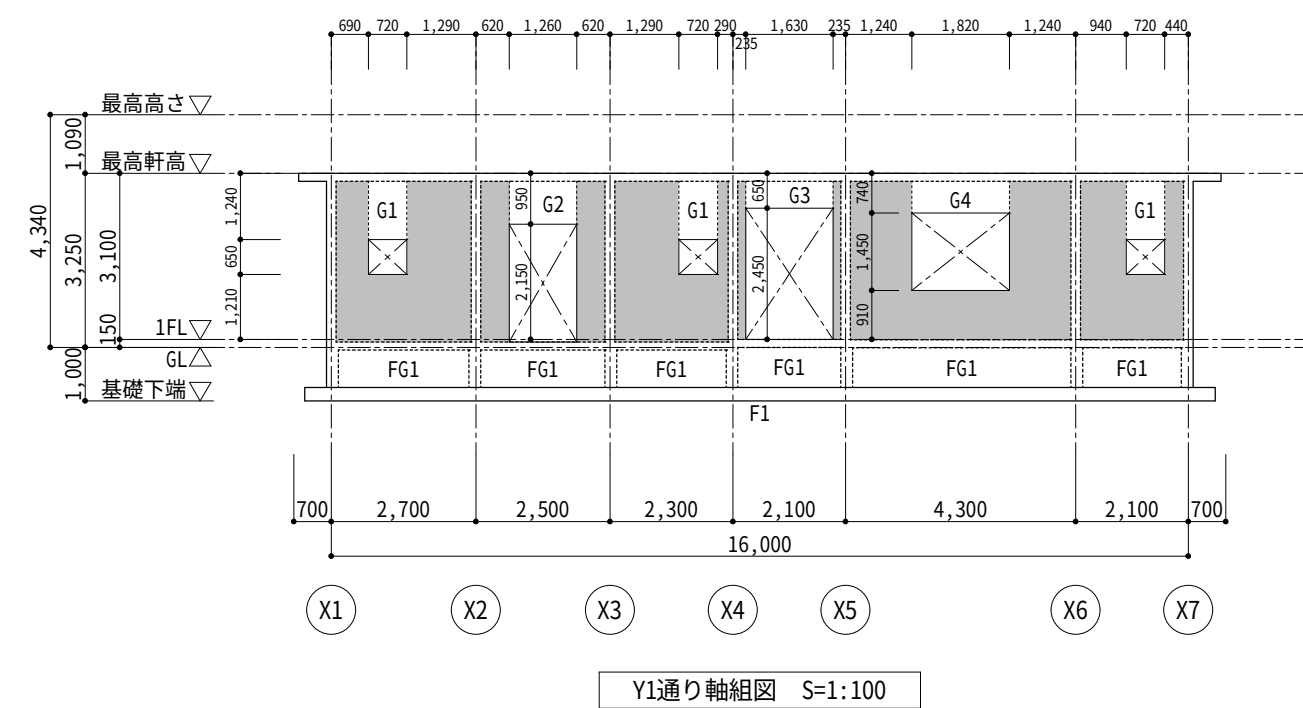
- 1.コンクリート壁は、W18とする。
- 2.W18の壁は、壁芯＝通り芯とする。
- 3.地中梁天端レベルは、1FL-200 (GL-50) とする。
4. は、土間コンクリート t=150 を示す。
- 5.スラブ天端レベル無印は、1SL=1FL-10とする。
6. 内は、1FLからのスラブ天端レベルを示す。



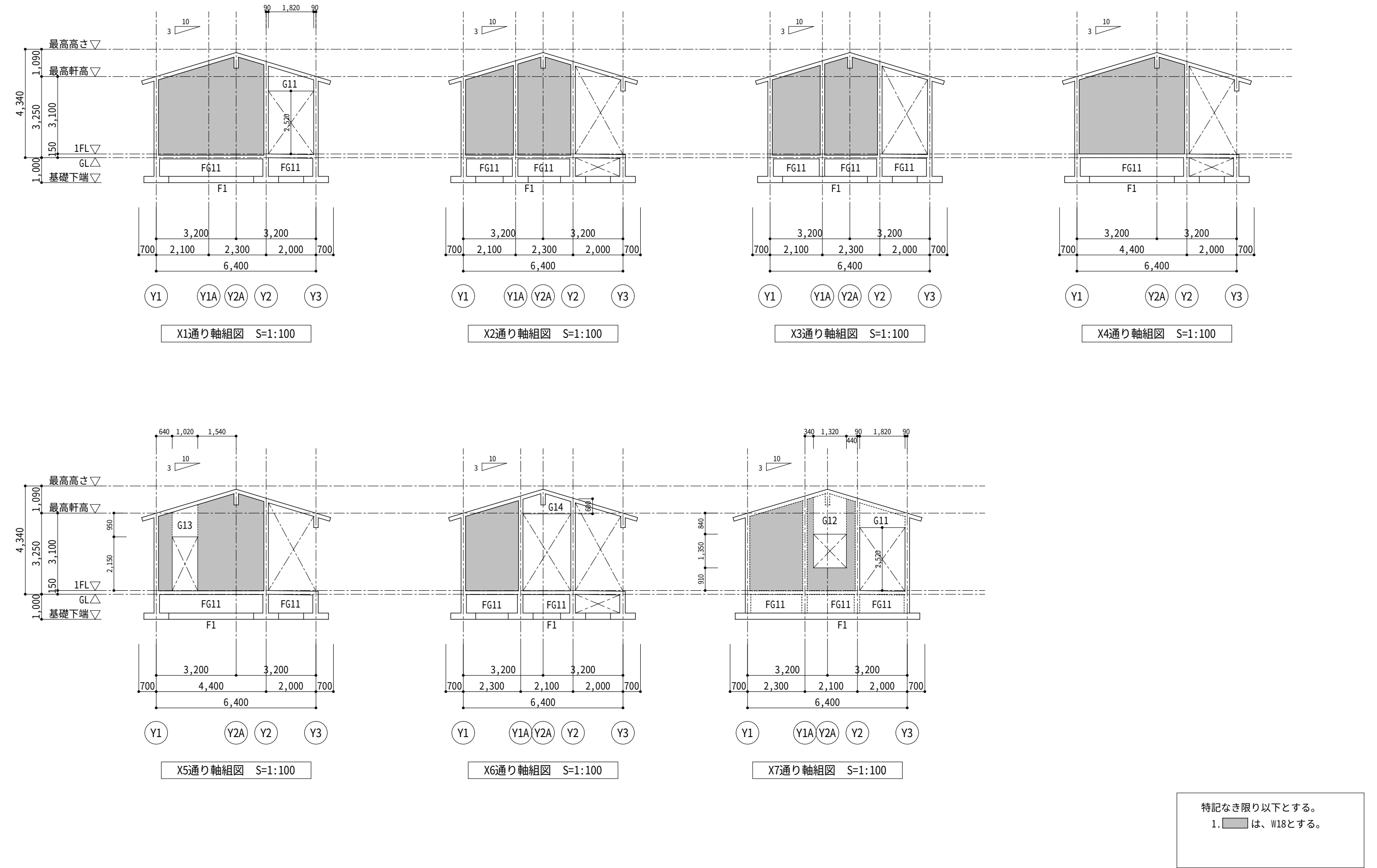
R階梁伏図 S=1:100

※ コンクリート壁は、1階壁を示す

- 特記なき限り以下とする。
- 1.コンクリート壁は、W18とする。
 - 2.W18の壁は、壁芯=通り芯とする。
 - 3.梁天端レベルは、水勾配なりとする。
 - 4.スラブ天端レベルは、水勾配なりとする。



特記なき限り以下とする。
1.  は、W18とする。



基礎リスト		S=1:30	
符 号	F 1		
断 面 (Fc=24N/mm ²)			

大梁リスト S=1:30

階	符 号	G 1	G 2	G 3	G 4	G 5	G 6	G 7	G 8
	位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面
R 階	断 面 (Fc=24N/mm ²)								
	B × D	180×1,240	180×950	180×650	180×740	180×1,550	180×1,740	180×580	180×1,640
	上 端 筋	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	3 - D13	2 - D13
	下 端 筋	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	2 - D13	3 - D13	2 - D13
	スタ-ラップ°	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250	□ - D10 @250
	腹 筋	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250

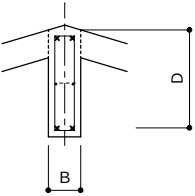
階	符 号	G 1 1		G 1 2		G 1 3		G 1 4	
	位 置	Y3通り側端部	Y2通り側端部	水 下 側	水 上 側	水 下 側	水 上 側	水 下 側	水 上 側
R 階	断 面 (Fc=24N/mm ²)								
	B × D	180×580	180×1,180	180×1,560	180×1,800	180×950	180×1,440	180×600	180×980
	上 端 筋	2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13	
	下 端 筋	2 - D13		2 - D13		2 - D13		2 - D13	
	スタ-ラップ°	□ - D10 @250		□ - D10 @250		□ - D10 @250		□ - D10 @250	
	腹 筋	D10 @250		D10 @250		D10 @250		D10 @250	

小梁リスト S=1:30

符 号	B 1	B 2
位 置	全 断 面	全 断 面
断 面 (Fc=24N/mm ²)		
B × D	180×600	180×600
上 端 筋	2 - D13	3 - D13
下 端 筋	2 - D13	3 - D13
スタ-ラップ°	□ - D10 @250	□ - D10 @250
腹 筋	D10 @250	D10 @250

特 記 事 項

1. B×D



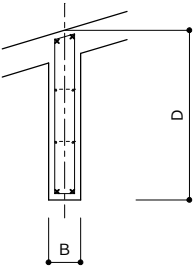
2.幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号

× D13

特 記 事 項

1. B×D

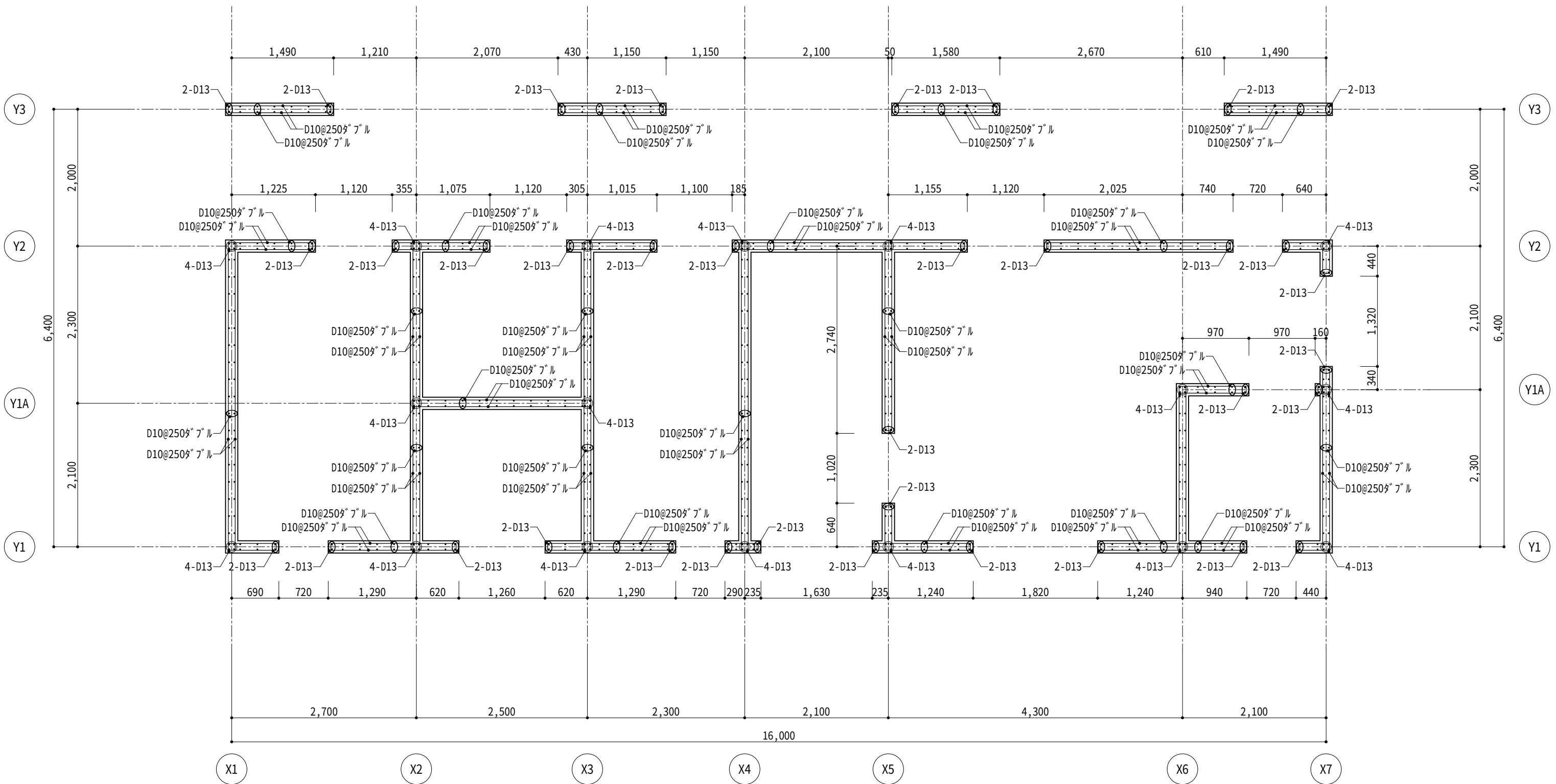


2.幅止め筋は、D10 @1,000とする。

鉄筋記号

× D13

備考



1 階平面配筋詳細図 S=1:40

コンクリート壁は、1 階壁を示す。
特記なき壁は、W18(t=180) とする。
W18 の壁は、壁芯=通り芯とする。

構造設計者 一級建築士 第241724号 小野芳美										
備考	 一級建築士事務所 青森県A1第495号 株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172 (27) 1559 工藤金正		承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
			Kudou	Sugimi	Ono	R 7. 3	図面名称	配筋詳細図	1:40	図面番号
							S — 12			

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事 電気設備工事特記仕様書						
Ⅰ. 工事概要						
1. 工事場所 弘前市大字大森字勝山961ー3						
2. 建物概要						
建物名称	構造	階 数		建築基準法上の延面積(m ²)	消防法施行令別表第1の区分	備考
休息便益施設	RC造	1		70.4	(七)項	新築1棟
3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)						
	工 事 種 目				備 考	
	庁 舎			屋 外		
●電灯設備	新設一式					
○動力設備						
○電気自動車用充電設備						
○電熱設備						
○雪保護設備						
○受変電設備						
○電力貯蔵設備						
○発電設備						
○構内情報通信網設備						
○構内交換設備						
○情報表示設備						
○映像・音響設備						
○拡声設備						
●誘導支援設備	新設一式					
○テレビ共同受信設備						
○監視カメラ設備						
○駐車場管制設備						
○防犯・入室管理設備						
○火災報知設備						
○中央監視制御設備						
○						
○					外灯設備を含む	
○						
○						
○						
4. 指定部分 ●なし ○あり 範囲: 工期:令和 年 月 日						
Ⅱ. 工事仕様						
1. 共通仕様						
(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。 ● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和 4 年版) (以下「標準仕様書」という。) ● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和 4 年版) (以下「改修標準仕様書」という。) ● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和 4 年版) (以下「標準図」という。)						
(2) 機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。 なお、機械設備の部の特記仕様書は(/)図による。						
2. 特記仕様						
項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。						
章	項 目	特 記 事 項				
一般共通事項	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ● 風圧力 風速(V ₀ = 34 m/s) 地表面粗度区分(Ⅲ) ● 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域別表() 東北地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作物保安規程を適用する。				
	●電気工作物保安規程	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士より施工を行う。				
	●電気工事士					
	●機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。				

● 環境への配慮

● 他工事との取合い

● 耐 震 施 工

機 材 名	製造業者等名
LED照明器具 (一般屋内用に限る。)	
照明制御装置	
可変速運転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギア (CM形)	
高圧スイッチギア (PM形)	
高圧交流遮断器	
高圧変圧器 (特定機器)	
高圧進相コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置 (パワーコンディショナ及び系統連系保護装置)	
監視カメラ装置	
中央監視制御 (監視制御装置)	

(1) 本工において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和3年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエテルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④ 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

施工範囲 図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

(1) 施設の耐震安全性の分類 ○ 特定の施設 ● 一般の施設

(2) 設備機器の固定は、施設の種類並びに機器の種類、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。

①設計用水平地震力
機器の重量〔kN〕に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次のように。

	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	屋根上及び塔屋	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	機器	1.5	1.0	1.5	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類には燃料小出槽を含む。
・重要機器は次のものを示す。
○ 配電盤 ○ 発電装置 (防災用) ○ 直流電源装置
○ 交流無停電電源装置 ○ 交換機 ○ 自動火災報知受信機
○ 中央監視装置 ○ ○

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(3) 横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

● 仮設工事

● 足場その他
● 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
○ 内部足場 種別 ○ 脚立、足場板等 ○
○ 外部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種
防護シート ○ 設置する。 ○ 設置しない。

● 電源周波数

50H Z

● 支持金物
・固定金具

● 電線・ケーブル

○ ケーブルの種類

EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとし、次による。

呼称(図示記号)	種 類
6kV EM-CE(EE)	6600V 架橋ポリエチレン絶縁耐燃性 ポリエチレンシースケーブル(6600V CE/F(EE))
6kV EM-CET(EE)	6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性 ポリエチレンシースケーブル(6600V CET/F(EE))

屋外、及び地下ビットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき(めっき付着量300g/m²以上)」仕上げとする。

合成樹脂製可とう管はP F管(一重管)とし、温度による分類はタイプ-2 5とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。

床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

● 金属製(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製

○ アルミ製 ○ 銅合金製

水平調整付プレート(空転防止リング付)とする。

図面に特記なき場合は、表1「接地極一覧表」による。

○ 居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。

○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
(○ 居 室 ○ ○ ○)

● 図面に特記なき場合は、表2「機器取付高さ」による。

● タンブラスイッチ

ネーム付きとする。

○ O Aフロア用配線器具の差

○ n-ネジ(ポイント用OAケーブル)

● 人感センサー用プレート

照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質: アクリル 文字: 印刷文字 寸法: W=180mm程度、H=50mm程度
参考文例: 「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室: ● 便 所(計3枚) ○ (計 枚)

○ ケーブルネット付リモコンレール

● LED照明器具

○ 照度測定

一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
○ 明るさセンサが設置される部屋は、センサ1個につき1箇所以上
○ 明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で計 箇所以上

○ 照度測定(非常用の照明装置)

非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計 箇所以上とし、監督職員に報告する。

● 分電盤

● 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E、200V2P2E)とする。
○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(P F 2 2)を1本、5個以上の場合(P F 2 2)を2本、天井まで立上げる。

配管バンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

○ 制御盤

表1「接地極一覧表」
接地極の種類は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設深は不要とする。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○ 雷保護用接地	ELA	Ω以下	EP×2
○ 雷保護用接地	ELA	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ 共同接地	EAEDELH	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ A種接地	EA	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ B種接地	EB	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×2
○ C種接地	EC	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
● D種接地	ED	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○ 漏電遮断器回路	EEL	500Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○ 構内交換機(原極用)	Eet	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ 本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ 電話引込口の保安器	ELt	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○ アンテナ保安器	ELt	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○ 音声増幅器	EDt	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1
○ 防犯装置用	ES	Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-1組
○			
○			
○ 測定用補助接地極	EO	—	EB(D=10又はW=30)×1
○ 避雷器用(低圧用)	ELL	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ 避雷器用(高圧用)	ELH	10Ω以下	EB(D=14又はW=40)×3連-2組
○ 避雷器用(モデム用)	EMD	100Ω以下	EB(D=14又はW=40)×1

表2「機器取付高さ」			機 器			測 点			取付高(mm)		
共通	積算用計器	地上～	1,800～2,000	電 話	集合保安装置	天井～上端	200	時 計	壁掛形親時計	床●中心	1,500 (上段1,900以下)
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200		端子盤(廊下・室内)	床～下端	300		壁付時計	床●中心	天井高×0.9
	分電盤	床上～中心	1,500 (上段1,900以下)		端子盤(EPSなど)	床～中心	1,500		壁付形スピーカ	床●中心	天井高×0.9
電 灯	スイッチ(一般)	床上～中心	1,300	話 機	壁付電話機	床～中心	1,300	表示等	情報表示装置	床●中心	天井高×0.9
	スイッチ(自動ドア)	床上～中心	1,300		壁付アクト(一般)	床～中心	300		ベルプッシュチャイム	床●中心	2,300
	スイッチ(和室)	床上～中心	1,200		壁付アクト(和室)	床～中心	150		壁付押ボタン(一般)	床●中心	1,300
	スイッチ(車庫)	床上～中心	300		壁掛形親時計	床●中心	1,500 (上段1,900以下)		テレビインターナル(子機)	床●中心	約1,350
	スイッチ(機械室)	床上～中心	500～1,000		壁付時計	床●中心	天井高×0.9		壁付インターナル(一般)	床●中心	1,300
	スイッチ(屋外)	地上～中心	1,000～1,300		情報表示装置	床●中心	天井高×0.9		壁付アクト(一般)	床●中心	1,300
	フロッタ(一般)	地上～中心	2,100～2,300		壁付発信機	床●中心	1,300		機器収容箱	天井～上端	200
	フロッタ(通路)	地上～中心	2,000～2,500		ベルプッシュチャイム	床●中心	2,300		機器収容箱(EPS)	床●中心	1,500
	フロッタ(鏡上)	鏡上端～中心	150		壁付押ボタン(一般)	床●中心	1,300		テレビ端子(一般)	床●中心	300
	ホィンター	壁掛形制御盤	床上～中心		1,500 (上段1,900以下)	壁付インターナル(子機)	床●中心		約1,350	テレビ端子(和室)	床●中心
力	開閉器箱	床上～中心	1,500	レ	壁付インターナル(一般)	床●中心	1,300	受 信 機	受信機	床～操作部	800～1,500
	制御用スイッチ	床上～中心	1,300		壁付アクト(一般)	床●中心	1,300		副受信機	床～操作部	800～1,500
	試験用接地端子箱	床上～下端	800		壁付アクト(和室)	床●中心	150		機器収容箱	床～操作部	800～1,500
電 気	接地端子箱	床上～中心	500	火 災 報 知 器	機器収容箱(EPS)	床●中心	1,500	警 示 灯	受信機	床～操作部	800～1,500
					テレビ端子(一般)	床●中心	300		表示 灯	床～中心	2,100
誘 導 支 援 等				知 報 器	テレビ端子(和室)	床●中心	150	ガ 溶 化 石 油 油 2 用	壁掛ベル	床●中心	2,300
	呼出しボタン (多機能利用)	床上～中心	900、400 (各1個)		受信機	床～操作部	800～1,500		検 査 都 市 局 1 用 (軽 質)	天井～上端	150
	壁付アクト(観機)	床上～中心	1,300		機器収容箱	床～操作部	800～1,500		知 報 都 市 局 1 用 (重 質)	床～上端	300
	壁付アクト(玄関子機)	床上～中心	1,100		壁付発信機	床～操作部	800～1,500				
	廊下表示灯	床上～中心	1,300		表示 灯	床～中心	2,100				

工事区分表

（他工事との取合い等）

区分は○印を適用する

A 建築工事E 電気設備工事M 機械設備工事EV エレベーター設備工事

※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

	項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考		項目	A	E	M	EV		備考											
躯体関係									ユニットバス・シャワーユニット			○					自家発電設備							エレベーター設備										
	RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○			既製浴槽			○						自家発電装置		○						機械室・昇降路の躯体	○							
		貫通スリーブの補強	○						コンクリート浴槽	○								発電装置 基礎	○							機械室の床開口	○							
		開口部の型枠・補強	○						浴槽排水金物			○						トレンチ	○							機械室の床配管ビット・蓋	○							
		貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○			洗濯機パン			○						トレンチ用 蓋	○							機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○							
		貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画	フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○								主燃料タンク（充填砂共）		○						巻上機周囲のチェッカープレート敷				○				
								フリーアクセスフロア給排気グリル	○								主燃料タンク用 基礎、外郭工事	○							昇降路内ビット防水	○								
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○						フリーアクセスフロアコンセント		○							同上杭及び杭頭処理	○							ビット点検タラップ				○					
	貫通スリーブ	○	○	○	○			壁・天井空調用給排気グリル			○						燃料小出タンク		○						各階出入口穴あけ・同補強	○								
	貫通スリーブの補強	○						感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○								燃料小出タンク基礎	○							三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強				○					
	開口部の型枠・補強	○						消火器ボックス	○								防油堤	○							昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け	○								
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○			表面仕上がが必要な全熱交換機等の表面仕上	○						ボード類、塗装のみ			○							昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○					
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画	壁・天井・床点検口	○						M・E用含む			給油ボックス		○					昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース									
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画	駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ			○						給油ボックス 基礎	○							昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けベース	○								
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画	同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○								屋外トレンチ	○							機械室天井・昇降路内フック取付	○								
								駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管			○						屋外トレンチ用 蓋	○							ホール押釦・インジケータなどの壁開口	○								
								同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○								危険物表示板			○						機械室内換気設備				○				
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台			○	○	○		電動スクリーン用ボックス	○								機器附属の制御盤以降の2次側配管配線（接地線共）				○	○				エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事（AC3相 200V50Hz）				○				
	基礎			○				電気錠及び扉～枠通電金具及び2次配線	○								機器附属の制御盤への1次側電源供給配管配線（接地線共）			○						エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事（AC単相 100V50Hz）				○				
	太陽光発電設備基礎			○				同上用1次配線及び1次・2次配管			○						自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共）			○						エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事（D種接地）				○				
	太陽光発電設備架台				○			避雷導体の接続			○						機器と附属操作スイッチの渡り配管配線				○	○				エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事				○				
その他	トラフ・ビット類（ふたを含む）	○						笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○								注油口内アース端子からのアース用配管配線			○	○				エレベーター制御盤からの非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事					○				
	RC造各種ビット	○						ルーフドレン及びたてどい	○							ACP屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線				○					エレベーター制御盤までのエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事					○				
	同上用マンホール・タラップ	○						煙突の水抜き管（排水管）	○							ACPマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線			○						エレベーター制御盤までの館内放送用配管配線工事					○				
	排水溝	○						地震感知器の配管配線				○				機器・電極棒用の電源配管配線			○					電極棒はM		エレベーター制御盤までのエレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配線工事（MDFからエレベーター制御盤まで）※図示された場合					○			
	オイルサービスタンクの防油堤	○						防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線			○					屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置への電源・信号線の配管配線			○						エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配管工事（MDFからエレベーター制御盤まで）					○				
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○																							エレベーター制御盤から監視盤又は警報盤までの配管配線工事					○				
	設備室内床排水管				○																				エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事					○				
	既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○																						緊急地震速報受信用配管工事					○			
仕上関係								屋外関係																		昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事					○			
	軽鉄天井・壁下地	ボード類の切り込み	○						排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備	○																ビット内点検用コンセント設備工事					○		
		下地材の切込み・補強	○							くつ洗いの排水金物・排水管	○																	エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給）					○	
開口部の墨だし		○	○	○	○				駐車場・車庫廻りのガソリントラップ	○																	レールブラケット取り付けファスナー（必要な場合、建築工事に支給）					○		
可動間仕切	切込み・補強	○							雑排水・汚水排水設備				○														動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事					○		
	各種ボックス類	○	○	○					ハンドホール				○																					
吊りボルト及びインサート	設備機器類用			○	○				E・M樹で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上	○																								
									雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水槽までM）	○		○																						
給排気関係	外壁ガラリ	○						オイルタンク廻り	オイルタンク本体（充填砂共）			○	○																					
	防風板	○							オイルタンクの外郭、基礎	○																								
	ウェザーカバー・ベントキャップ				○				同上杭及び杭頭処理	○																								
	排気フード（標準詳細図によるステンレス製）	○																																
	排気フード（レンジフード等既製品）				○																													
水廻り機器	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○						ユニット型浄化槽	ビット型の躯体	○																								
	手洗い・洗面器カウンター	○							上記以外のユニット型浄化槽本体・配管及び器付等（充填砂共）				○																					
	鏡（既製品）				○																													
	鏡（注文品）	○																																
	バリアフリースイッチ手すり・便器類手すり	○																																
	トイレブース内小物棚	○																																
	ベビーシート	○																																

この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の工事内容を示すものではないことに留意すること。

〇〇〇〇（〇〇）電気設備工事

工事区分表

青森県令和年月

備考			一級建築士事務所	青森県A1第495号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
			株式会社 工藤金正建築設計	1級建築士第153872号	Kudou	Sugimi	Ose	R 7. 3	図面名称	工事区分表	—	図面番号
			弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正									E — 02



付近見取図

凡 例

WHM

引込開閉器盤（屋外用・銅板製）

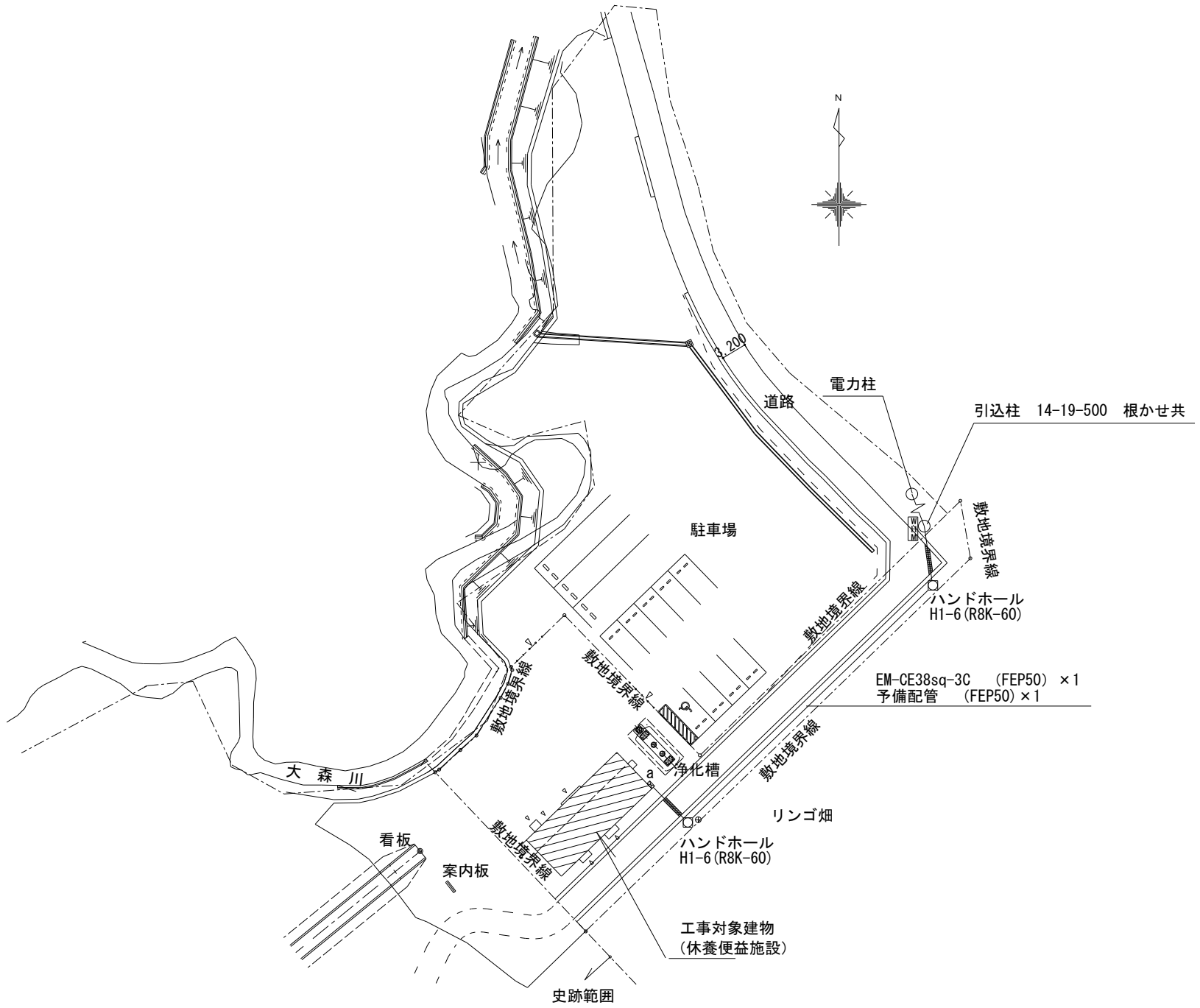
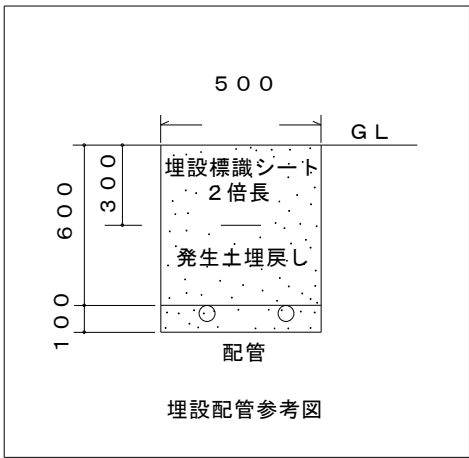
ハンドホール H1-6 (R8K-60)

ブルボックスSS形防水 (SUS) 250×250×250
GL+2,700に取付

配線は下記による

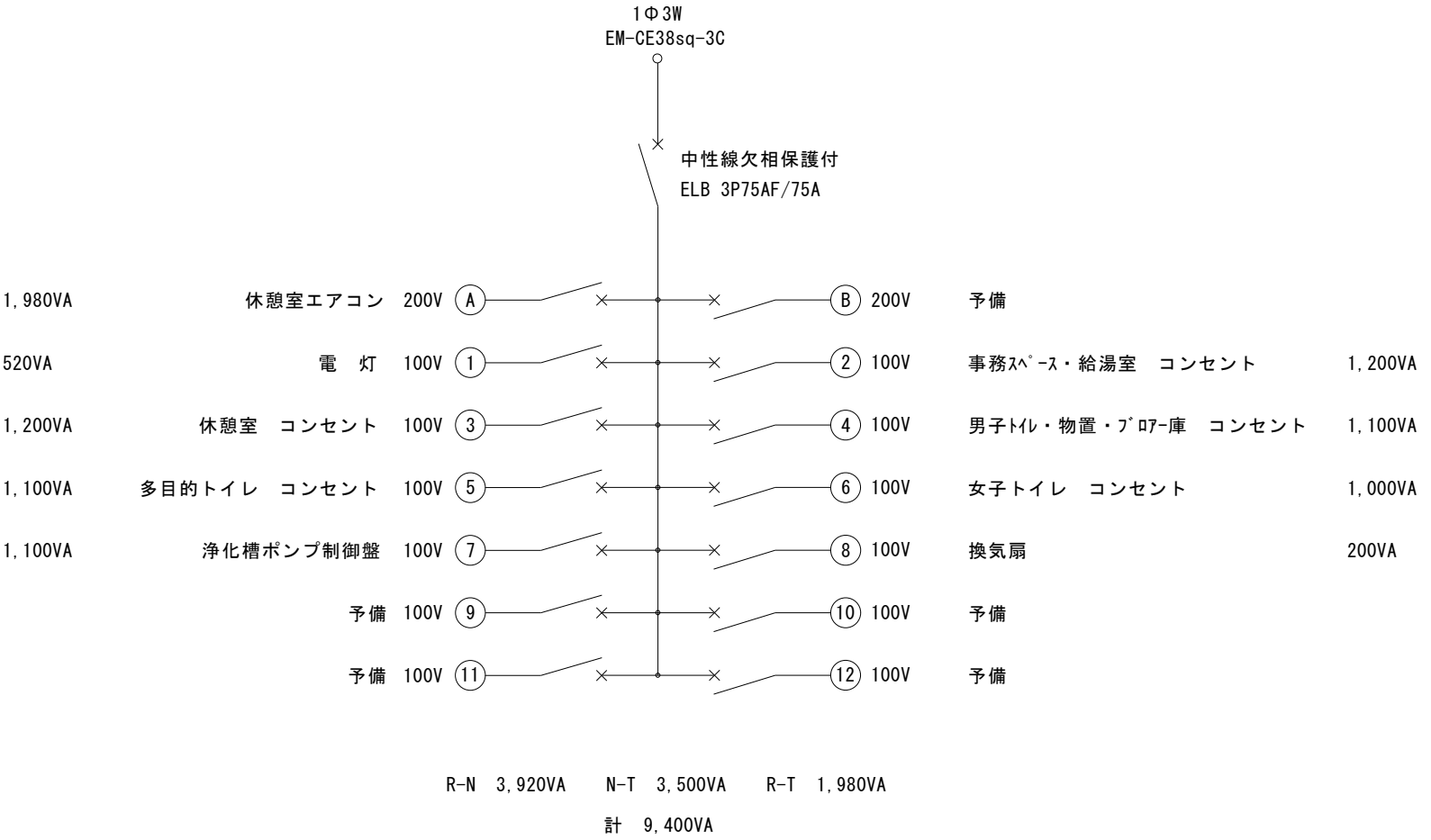
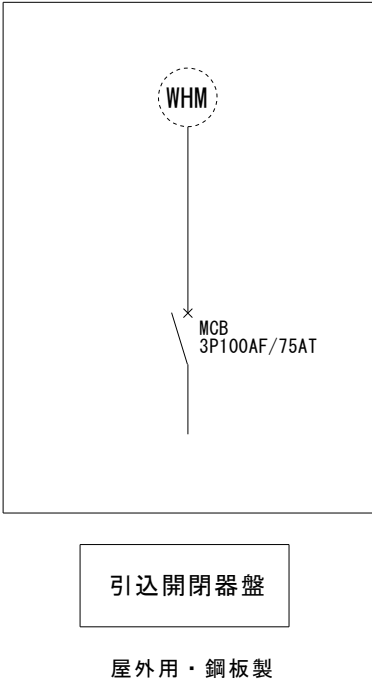
EM-CE38sq-3C (FEP50)
予備配管 (FEP50)
GL-600 (埋設シート共)
引込柱及びブルボックスへの立上りは
G54・SUSを使用する

注記 配管経路の斜線部はアスファルト舗装でなので、アスファルトの撤去及び修復のみ建築工事で行い
その他は土なので電気工事で掘削・埋戻しを行う



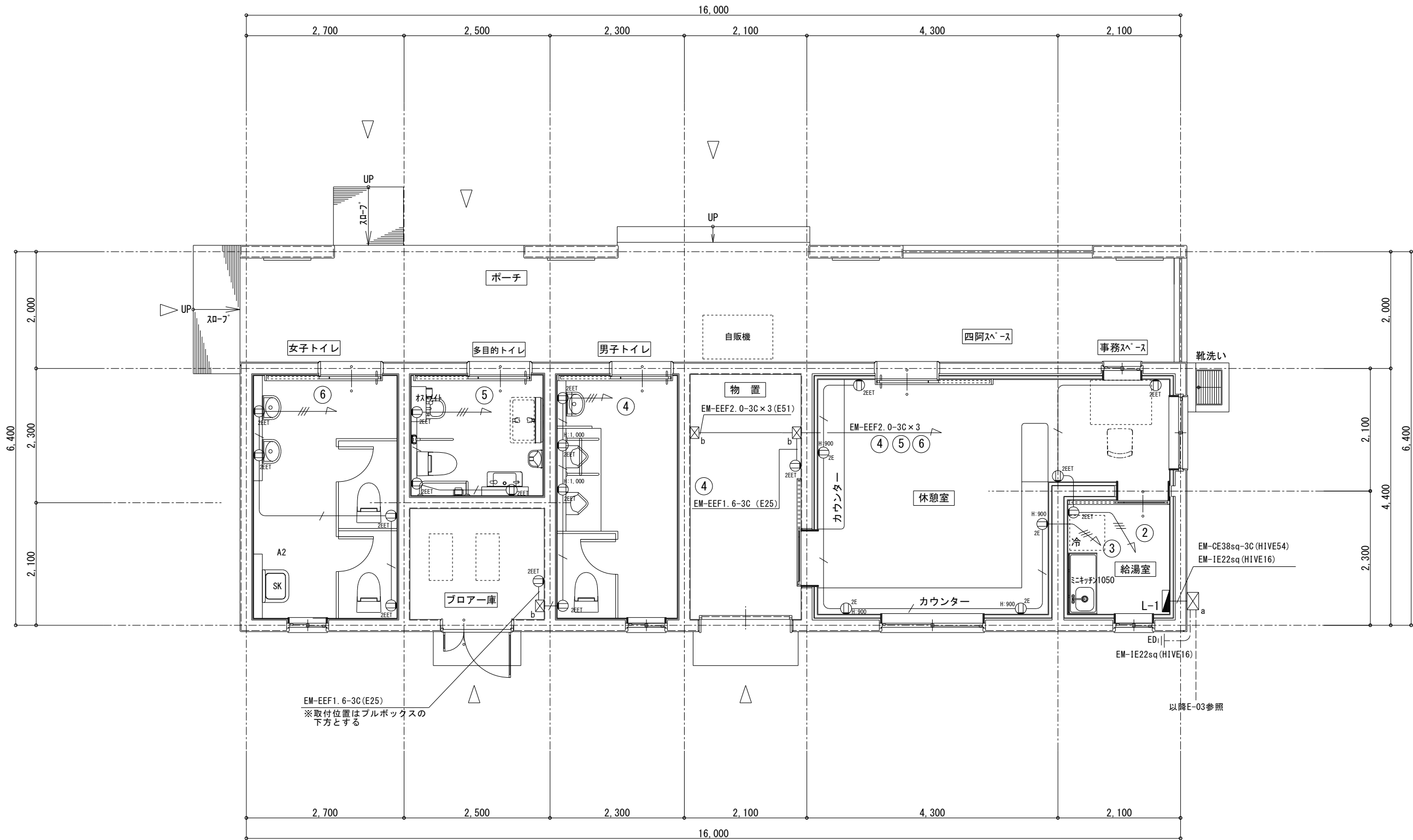
配置図 S=1:500

備考	 一 級 建 築 士 事 務 所 株 式 会 社 工 藤 金 正 建 築 設 計 弘 前 市 大 字 城 東 北 2 丁 目 2 の 6 TEL0172 (27) 1559 工 藤 金 正		青森県A1第495号		承認	担 当	製 図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮 尺	設計番号
			1級建築士第153872号		Kudou	Sugimi	Ose	R 7.3			1 : 500	—
			図面名称						付近見取図・配置図・屋外配線図			図面番号



電灯回路

L-1 電灯盤仕様
(ホーム分電盤・樹脂製・露出型)
2次分岐
MCCB2P1E 30AF/20A (100V)
MCCB2P2E 30AF/20A (200V)



EM-EEF1.6-3C(E25)
※取付位置はブルボックスの
下方とする

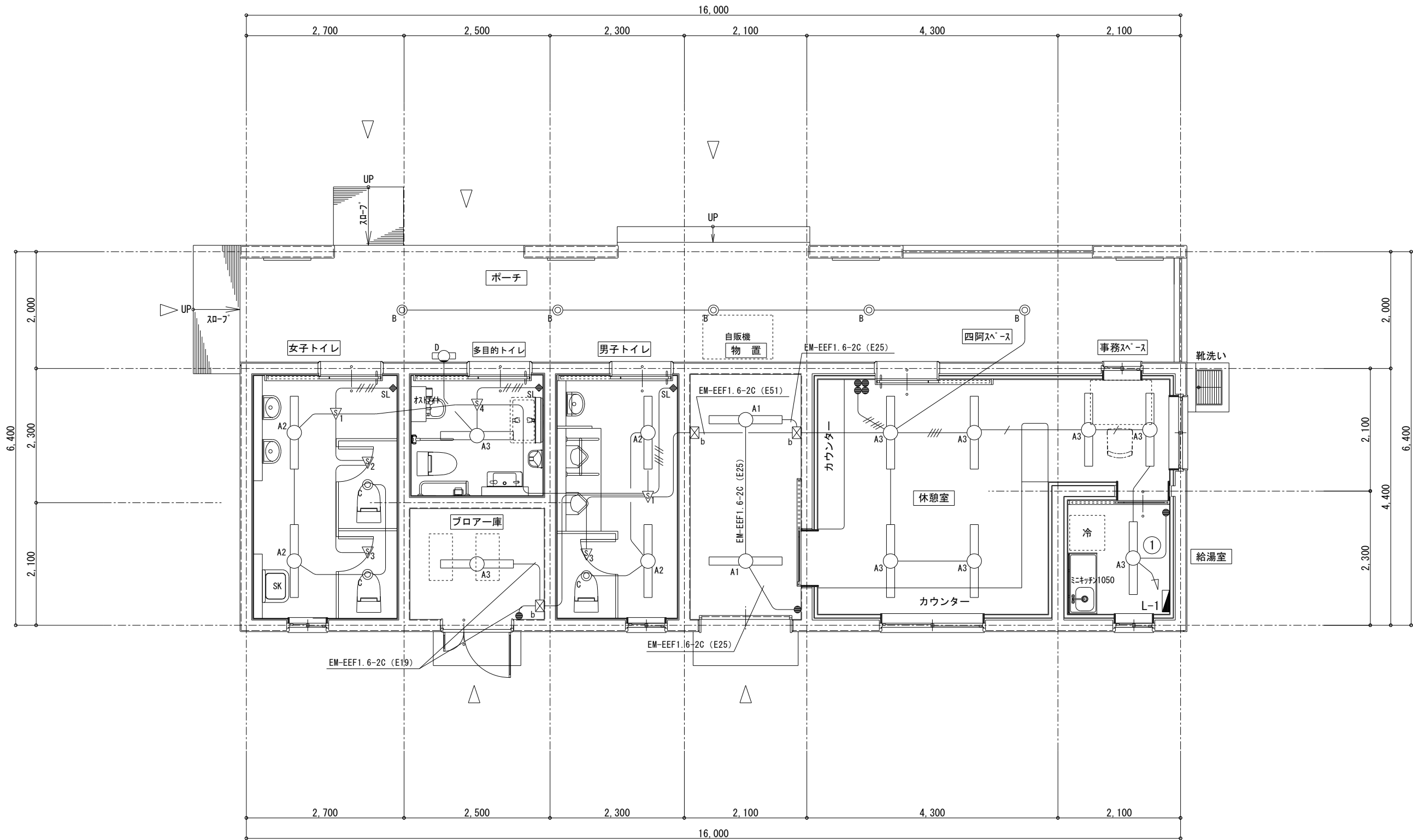
平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とフロアー庫は露出配管とする
コンセントは露出金属ボックス取付とする

凡例

- | | | | | |
|--|--------|-----------------------------|--|--------------|
| | L-1 | 電灯盤 | | 特記なき配線は下記による |
| | コンセント | 2P15AE x 2 | | EM-EEF1.6-3C |
| | コンセント | 2P15AE x 2 + ET | | EM-EEF2.0-3C |
| | ブルボックス | 防水 (SUS) 250 x 250 x 250 | | |
| | ブルボックス | SS形 (錆止め塗装) 200 x 200 x 150 | | |

備考		一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号 1級建築士第153872号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺 1:50	設計番号
				Kudou	Sugimi	Ose	R 7. 3	図面名称	コンセント設備図		図面番号 E 05



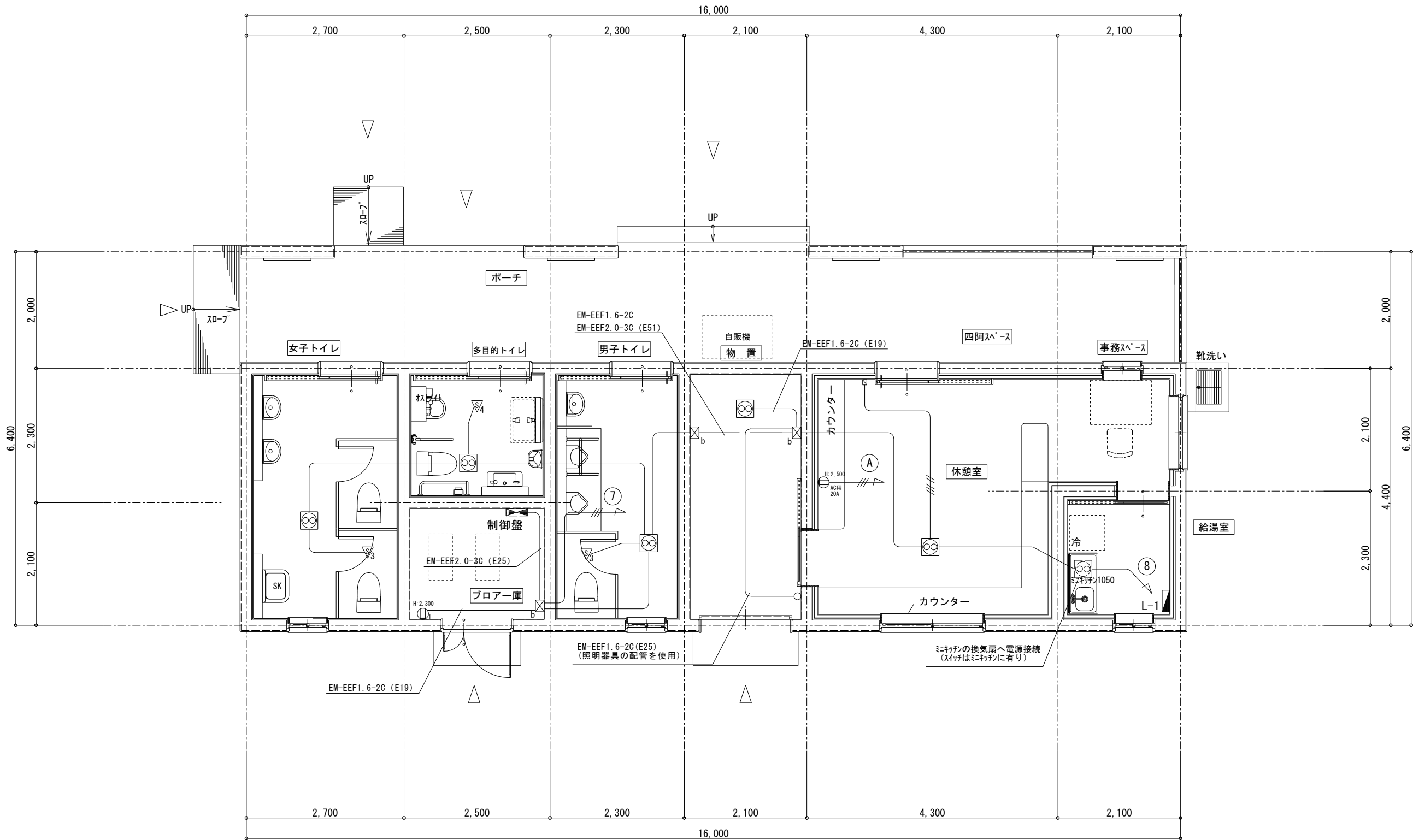
平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とフロアー庫は露出配管とする
照明器具及びスイッチは露出金属ボックス取付とする

凡例

- | | |
|--|---|
| ■ L-1 電灯盤 | ☒ _b プルボックス形(錆止め塗装) 200×200×150 |
| ● ネーム付スイッチ 1P15A | 特記なき配線は下記による |
| ◆ SL 熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット 2回路用 | ———— EM-EEF1.6-2C |
| ▽ ₁ 熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ | ———— / ——— EM-EEF1.6-3C |
| ▽ ₂ 熱線センサ付自動スイッチ 子機 | ———— / / ——— EM-EEF1.6-2C×2 |
| ▽ ₃ 熱線センサ付自動スイッチ 子機(換気扇連動用) | ———— / / / ——— EM-EEF1.6-2C+3C |
| ▽ ₄ 熱線センサ付自動スイッチ 親機(換気扇連動用) | |

備考	一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号 1級建築士第153872号 工藤金正	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
							図面名称	電灯設備図		図面番号
			Kudou	Sugimi	Ose	R 7. 3			1 : 50	E — 07



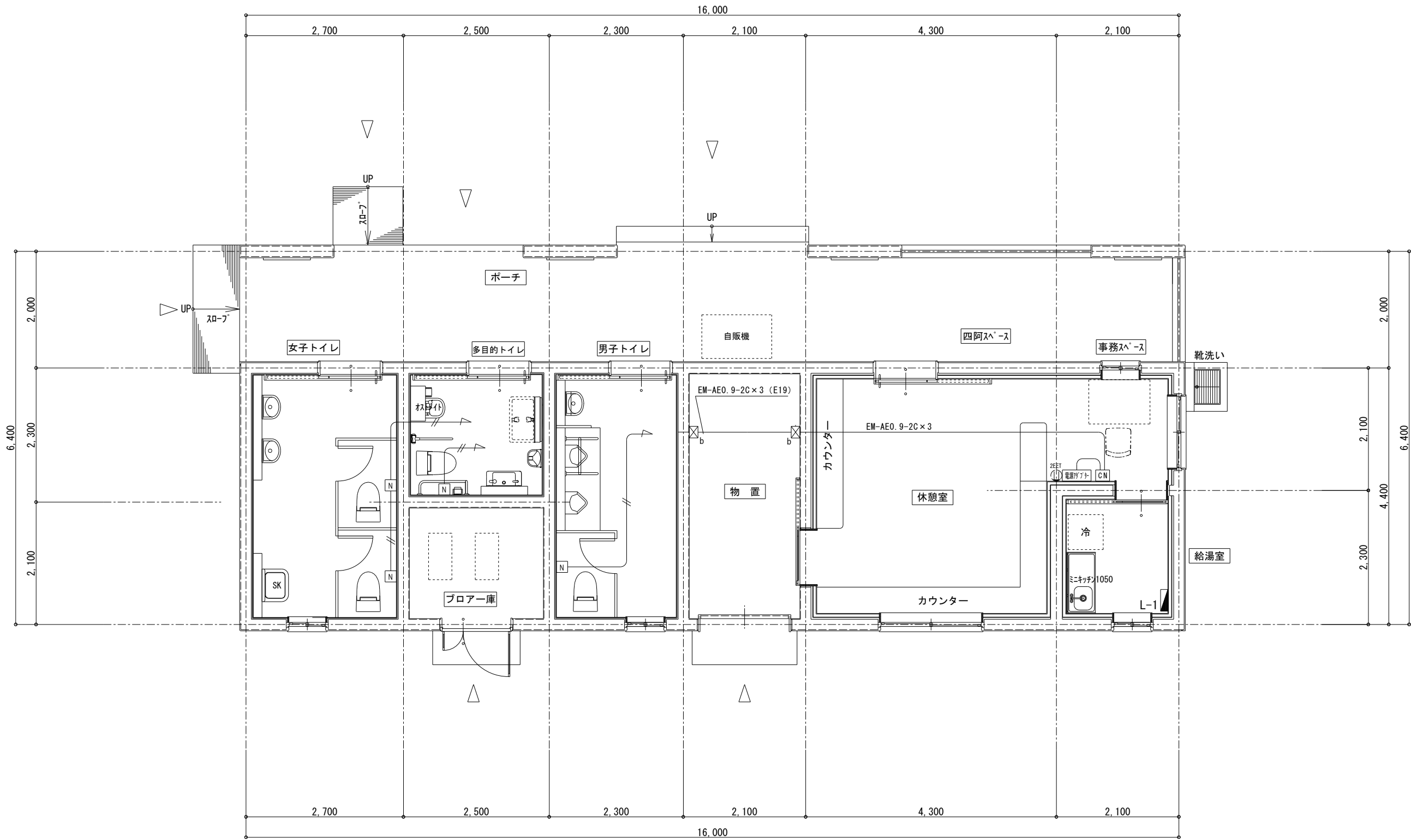
平面詳細図 S=1:50

※注記 物置とフロアー庫は露出配管とする
コンセント及びスイッチは露出金属ボックス取付とする
物置のスイッチは照明器具のスイッチと同じ露出金属
ボックスを使用する

凡例

- | | |
|---|---|
| ■ L-1 電灯盤 | ☒ _b プルボックスSS形(錆止め塗装) 200×200×150 |
| ○ ネーム付バネロッドスイッチ 1P4A | ☒ ₁ 制御盤取付は機械設備工事・結線は電気設備工事 |
| ⊖ ₁ コンセント 2P15A×1 | ☒ ₂ 換気扇及びスイッチ等 |
| ⊖ _{AC用 20A} コンセント 接地2P20A×1 AC200V | ☒ ₃ 取付は機械設備工事・結線は電気設備工事 |
| ▽ ₃ 熱線センサ付自動スイッチ 子機(換気扇連動用) | 特記なき配線は下記による |
| ▽ ₄ 熱線センサ付自動スイッチ 親機(換気扇連動用) | ———— EM-EEF1.6-2C |
| | ——— EM-EEF2.0-3C |
| | ——— EM-EEF1.6-2C+1.6-3C |

備考	一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号 1級建築士第153872号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺	設計番号
			Kudou	Sugimi	Ose	R 7. 3	図面名称	機械設備用配線図	1:50	図面番号 E 08



平面詳細図 S=1:50

※注記 物置のみ露出配管とする

凡例

- L-1 電灯盤
 - CN 3窓用トイレ呼出表示器
 - 電源アダプター
 - N 呼出ボタン（引きひも付）
 - フラット 床タイルSS形（錆止め塗装） 200×200×150
- 特記なき配線は下記による
 EM-AE0.9-2C

備考		一級建築士事務所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正	青森県A1第495号 1級建築士第153872号	承認	担当	製図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事	縮尺 1:50	設計番号
				Kudou	Sugimi	Ose	R 7. 3	図面名称	トイレ呼出設備図		図面番号 E 09

[illegible]

一般共通事項	●技能士の適用 ●足場その他 ●埋戻し及び盛土 ●容量等の表示 ●電源周波数 ●電動機 ○耐震措置 ●総合試運転調整 ●弁等のサイズ ○建物導入部配管の変位吸収 ○絶縁継手取付箇所 ○溶接部の非破壊検査 ●支持及び固定 ●支持金物・固定金具 ●地中埋設標等 ●他工事との工事区分 ○保温外装 ●塗装 ●電線類
--------	--

2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までは満たすものとする。

① 合成、木質複合フローリング、構造用（鉄筋、鋼材、単板積層材、MDF、パーティクルボード等）、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材料、緩衝材、断熱材、塗料、仕上材等は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジブチル及びフタル酸ジブチルヘキシル等）を含有しない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、美術品、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、「同区分」第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

●配管施工（配管工事） ○建築板金施工（ダクト製作及び取付け）
●熱伝導施工（伝導工事）
●冷空気空調和機器施工（チリダグユニット、パッケージ形空調和機の取付け及び整備）
●別契約の関係は、発注者が定したものは無効で使用する。

① 足場を設ける場合は、「[工事]先行施工法に使用するガイドライン」に基づく足場の設置方法については、同ガイドラインの別紙1「工事」先行施工法による足場の取付方法に関する事項」における2の「2）手すり設置方法」又は「3）手すり先行専用足場方式」により行う。

○内部足場 ○種 ○種 ○種 ○外部足場 ○種 ○種 ○種

種別 ○A種 ●B種（ただし、コンクリート管以外の管周囲は山砂の類）

(1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。

50 Hzとする。

換気扇、圧力及び標準仕様書に記載しないものも電動機の使用性能規格は製造者規格による標準品と除く。

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて建築設備前設計・施工指針2014年改訂（交付行政法人建築研究所監修）による。

(1) 機器の取付け及び取付

設計用水平地震力は、機器の質量（自由重量を有する水櫃その他の貯槽にあつては、貯槽内の水、地味地盤の0.04以下に示す設計用垂直地震力も兼ねたものとする）と、地味地盤は、昭和55年建設省告示第1793号（最終改正 昭和62年建設省告示第1918号）による。

設置場所	機器種別	設計用標準水平地震力					
		特定の施設			一般の施設		
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上及び塔屋	防火支持の機器類	2.0	0	1.5	1.5	1.0	0
	水櫃類	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.0
中間階	防火支持の機器類	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0
	水櫃類	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	0.6
1階及び地下階	防火支持の機器類	1.0	0.6	0.6	0.6	0.4	0
	水櫃類	1.0	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6

注1) 上層階とは2～6階の場合は最上階、7～9階の場合は上層2階、10～12階の場合は上層3階、13階以上層の場合は上層4階とする。

注2) 上層階とは地下階及び1階を除く各階に上層階に該当しないものとする。

注3) 設計用垂直地震力は1階及び地下階に準ずる。

イ) 本施設は、○一般の施設 ○特定の施設とする。

ロ) 10.0kN以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものを除く）においてその耐震を考慮し、取付け又は取付けを行うものとするが、前記取付けの方法によらずともよい。

ハ) 重要機器は次のものを示す。（水櫃類にはオイルタンクを含む。）

○給水機器 ○排水機器 ○排水機器 ○監視制御設備

○防振機器 ○空調機器 ○熱源機器 ○防火機器 ○監視制御設備

○危険物貯蔵装置 ○火を使用する設備 ○避難経路上に設置する機器

(2) 設計用鉛直地地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

各機器の鉛直地地震力に下記の総合調整率を行い、測定報告書を提出する。

○風速測定 ○水量測定 ○室内空気温度の測定

○室内湿度及びじんあい測定 ○騒音測定 ○飲料水の水質の測定

○雑用水の水質の測定

特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

図示の箇所に保水する、施工方法は下記のとおり。

標準図 施工4 ○(a) 施工5 ○(b) ○(c)

対象配管系統 ○冷温水 ○冷却水 ○消火（水用） ○油 ○ガス

標準仕様書記載以外の天井形、カセット形、天井隠ぺい形の機器の支持は吊り用支持金具により、掘れ込みを施したものとす。

イ) ボンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス（SUS304）とする。

ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

ハ) 冷水及び給排水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

二) 冷媒管の吊り用支持金具として保護プレートは、断熱材被覆銅管と吊り金物の間に設置し、自重による断熱材の食込みを防止する。

1) 地中埋設機器（図示の位置） ●要 ●不要

2) 埋設表示テープ（排水管を除く） ●要 ●不要

工事区分表による。

屋内露出の保水装置は、合成樹脂カバーとする。

○保温を行わない居室、便所・湯室及び屋外の露出配管（銅管）、ダクトには塗装を行う。

○図に示す。（ガス管）

電線及びE-Mケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1.1による。

●空気調和設備	●設計温湿度 ○ばい煙溫度計 ○煙突 ○銅板製煙道 ○長方形ダクトの区分 ○長方形ダクトの工法 ○スパイラルダクトの工法 ○風量測定口 ○ダンパー ●配管材料 ●弁類 ○銅管用伸縮管継手 ○溫度計 ○瞬間流量計 ○チャンバー ●保温 ●塗装
●換気設備	●準拠事項 ○圓形形漏洩器用排気フード ○厨房用排気ダクト ○厨房用排気フード ○多湿箇所の排気ダクト ●保温
○排煙設備	○ダクト ○排煙口の形式 ○排煙口の開放装置 ○排煙風量測定方法
●自動制御設備	○中央監視制御装置 ○中央監視制御装置の構成・機能 ●計装用配線 ○電動弁 ○弁耐圧
●衛生器具設備	●大便器洗浄方式 ○大便器用洗浄弁 ○小便器自動洗浄 ●器具付属水栓 ●自動水栓 ●紙巻器 ○衛生器具ユニット

	外気条件 温度 (DB) 湿度 (RH)	屋内 (調整日標)			
		一般系統 温度 (DB) 湿度 (RH)	系統 温度 (DB) 湿度 (RH)	コンピューター室系統 温度 (DB) 湿度 (RH)	
夏季	30.0℃ 75%	26.0℃ 45%	26.0℃ 45%	26.0℃ 45%	
冬季	3.9℃ 35%	20℃ 40%	20℃ 40%	20℃ 45%	

取付箇所は図示による。

○別途 ○本工事 (銅板厚 mm、高さ m以上)

板厚は標準径300mm以下は3、2mm、300mmを超えるものは4、5mmとする。
屋根を設置する場合、はいし測定口 (口径 0.0φ、タッピング) を設けること。
(径標準径400mmを超えるものには、挿除口に蝶番を取り付けること。)

低圧ダクトとする (高圧1及高圧2の部位は図示による)。

○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ)

低圧ダクトとする。

取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。

1) 防護ダンパー 復帰方式 遠隔式 (定格入力はDC24V、0.7A以下とする)。
2) ヒストリダンパー 復帰方式 遠隔式

イ) 冷温水管 ○配管用炭素銅鋼管 (白)
ロ) 冷却水管 ○配管用炭素銅鋼管 (白)
ハ) 蒸気管 (給気管) ○配管用炭素銅鋼管 (黒) (Sch40)
(配管) ○圧力配管用炭素銅鋼管 (黒) (Sch40)
(土中) ○ポリエチレン被覆銅管

ホ) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボラー等への補給水管
○配管用炭素銅鋼管 (白)
○配管用炭素銅鋼管 (黒)
●断熱材被覆銅管 (難燃性)

ヘ) 空調用排水管
ト) 冷排水管

○5K
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。

○ベロース形 ○スリーブ形

円形指示とする。

止水コック付とする。 (○着脱形 ○固定形)
着脱形の流量指示部 (○40A用 個、○100A用 個、○250A 個) を付属する。

イ) 内貼を施すチャンパー類の表示寸法は、外形寸法とする。
ロ) 空気調和機に取り付けるライオンバー、レシアンバー及び
ダクト系統で消音内貼りにしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、
大きさは図示による。
ハ) 外貼に面するガリに直接取り付けけるチャンパーは雨水の滞留のない
ように施すとする。

イ) 蒸気通り管の保温不要 (屋内露出は除く)
ロ) 建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の
図による。(エア抜き弁以降の配管は除く)
ハ) 屋外露出管 (弁、フランジを含む) の保温は、標準仕様書第2編 (表2.2.3) 5.2.2 (ハ) とし厚さは呼び径25mm以下は5.0mm、
呼び径32mm以上は4.0mmとする。

二) 低圧ダクトの保温 不要 ○要 (保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による)
ハ) 外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ○要 ○不要
ト) 排気ダクトは外壁開放部より1m程度を保温する。(チャンパーボックスを含む)
ト) 冷排水管の保温と外装
屋外露出部 ○保温化紐ケース (樹脂製) ○
屋外 ○保温化紐ケース (樹脂製) ○

下記の部位に使用するダクトには塗装を行う
○耐火ダクトボックス内面 (居室・便所の見えかき部)
○図示による。

【空気調和設備の当該事項に準ずる。】
●ダクトの区分 ○長方形ダクトの工法 ○風量測定口 ○防煙ダンパー
○チャンパー ○塗装 ●スパイラルダクト

○別途 ○本工事

アングルフランジ工法とする。

○亜鉛鉄板

○ステンレス鋼板 (SUS304) (板厚は衛生器具表空調1の厨房排気ダクトの板厚による)

イ) 材質 (天幕と) ○ステンレス鋼板 (SUS304)
ロ) フード周囲の天幕 (フード面下と天井面下) ○取り付け ○取り付けない
ハ) フードコック ○取り付け ○取り付けない

イ) 厨房系統、浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) 系統のダクトのシールは
標準図のNシール+Aシール+Bシールとする。
ロ) 水抜き管 ○要 ○不要

空気調和設備の当該事項による他、全熱交換器の給気ダクトの保温を行う。

○亜鉛鉄板 ○普通鋼板 (厚1.5mm以上)
○パネル形 ○スリット形 ○ダンパー形
○電気式 (遠隔操作機能) ○要 ○不要

建築設備定期検査業務基準2016年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。

○有り ○無し
中央監視制御装置の構成・機能は別紙による。

電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
屋内・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。
天井内隠蔽の配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

開閉状態の遠方表示用接点を ○設ける ○設けない。

○ Mpa

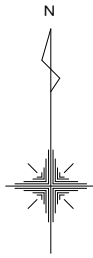
●洗浄タンク方式 ○洗浄弁方式 (不凍結節水弁付)
○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式)
個別感知方式とする。 (○小便器-一体型 ○)
固定こま式 (節水こま式) とする。

電源供給
手動スイッチ ●AC100V ○自己発電
ワンハンドカット機能 ●要 ○不要

別図による。

●	●量水器	型メーター ●水道事業者指定品 ○直読式 ○パルス式 ●電文式 ●貸与型 子メーター ○水道事業者指定品 ○標準図
給水設備	●量水器機	イ) 親メーター用 ●水道事業者指定品 ○標準図 ロ) チョーメーター用 ○水道事業者指定品 ○標準図
配管材料	イ) 一般管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) ●塩ビライニング鋼管 (○PA ●VB)	ロ) 土間配管 ○ステンレス鋼管 (SUS316) ●塩ビライニング鋼管 ●VDI
井類	ハ) 屋外地中 ●ポリエチレン管 ○水道配用水ポリエチレン管	イ) 水道直結部分 ●10K ロ) その他の部分 ○5K
不凍水栓柱	○化粧ケーシング (○アルミニウム合金製 ○合成樹脂製) ○伸縮式	イ) 屋内 (○一般水栓 ●耐寒水栓) 屋外 (●耐寒水栓 ○一般水栓) ロ) 湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。耐寒水栓はJWWAの認証品とする。
埋設深さ	イ) 一般敷地内 (0.6m以上) ロ) 敷地内車両道路 (0.8m以上)	イ) 屋外露出管 (井、フランジを含む) の保温は、標準仕様書第2編 (表2.3.5.e2・(ハ)) とし厚みは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。
保溫	イ) 呼び径60SU以下 SASS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 ロ) 呼び径75SU以上 ○溶接接合 ○ハウジング形管継手による接合 ○フランジ接合	●要 (○本工事 ●別途) ○不要
排水設備	●配管材料	イ) 屋内汚水配管 ●排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○排水用鉛管 ロ) 屋内外排水管 ●配管用炭素鋼管 (白) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
満水試験継手	ハ) 屋外地下管、雑排水管 ●排水用硬質塩化ビニル(RF-VU) ホ) 通気管 ●配管用炭素鋼管 (白) コ) ボンアップ排水管 (汚水系) ●排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (圧送MD) (雑排水・湧水系) ●配管用炭素鋼管 (圧送MD)	図示の位置に取り付けられる。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管 (RF-VP) でもよい。 公共建築設備工事標準図 (●施工62 ○施工63)
衛生器具と配管接続要領	放流納付金等	●要 (○本工事 ●別途) ●不要
給湯設備	○配管材料	○ステンレス鋼管 (SUS304) ○前熱性塩ビライニング鋼管(SQP-HM) (膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む)
井類	○弁	給水設備の当該事項による。
湯沸器の排気筒	○保温	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。 湯沸器の給排気筒 (二重管) のいんべい部保温を行う。 (保温の種類別は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5の(イ)・Ⅸとする)
ステンレス鋼管の接合方法	イ) 呼び径60SU以下 SASS322 (一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準) を満足した継手による接合 ロ) 呼び径75SU以上 ○溶接接合 ○ハウジング形管継手による接合 ○フランジ接合	
消火設備	○配管材料	イ) 屋内消火栓配管 一般 ○配管用炭素鋼管 (白) ロ) 連結送水配管 一般 ○外面被覆鋼管 (SGP-VS) ハ) 屋外消火栓配管 一般 ○圧力配管用炭素鋼管 (Sch40) ニ) 地下埋設部 一般 ○外面被覆鋼管 (STPG-370 VS)
屋内消火栓種別	○易操作性1号消火栓 ○1号消火栓 ○2号消火栓 ○広範囲型2号消火栓	
屋内消火栓開閉弁	○10K	
保温	イ) 充水タンクの保温 ●要 ○不要 ロ) 消火配管の保温 屋内消火栓 ●要 ○不要 ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。 スプリンクラー ●要 ○不要	
ガス設備	○配管材料	イ) 一般 ○ガス事業者の規定による ○配管用炭素鋼管 (白) ロ) 地中埋設部 ○ガス事業者の規定による ○ガス用ポリエチレン管
親メーター	○実測式 ○パルス式 ○貸与品	
子メーター	○実測式 ○パルス式 ○買取り	
ガスボンベ	イ) 集合装置 ●50kg (1本) ○要 ○不要 ロ) 転倒防止等 ●標準図施工72による ○要 ○不要 ハ) 容器固定具をGL+300に追加設置する。 (a) (b))	
バルクタンク	○有 ○無	
ガス漏れ警報器	○本工事 (図示の箇所に取り付け) (○分離形 ○一体形) ○別途工事	
埋設深さ	イ) 一般敷地内 (○.5m以上) ロ) 敷地内車両道路 (○.0m以上)	

備考		 一 級 建 築 士 事 務 所 株式会社 工藤金正建築設計 弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172 (27) 1559 工 藤 金 正	青森県A1第495号	承認	担当	製 図	年月日	工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事	縮 尺	設計番号
			1級建築士第153872号	Kudou	Sugini	kinora	R 7. 3	図面名称	機械設備 特記仕様書 1	NON	図面番号
											M — 01



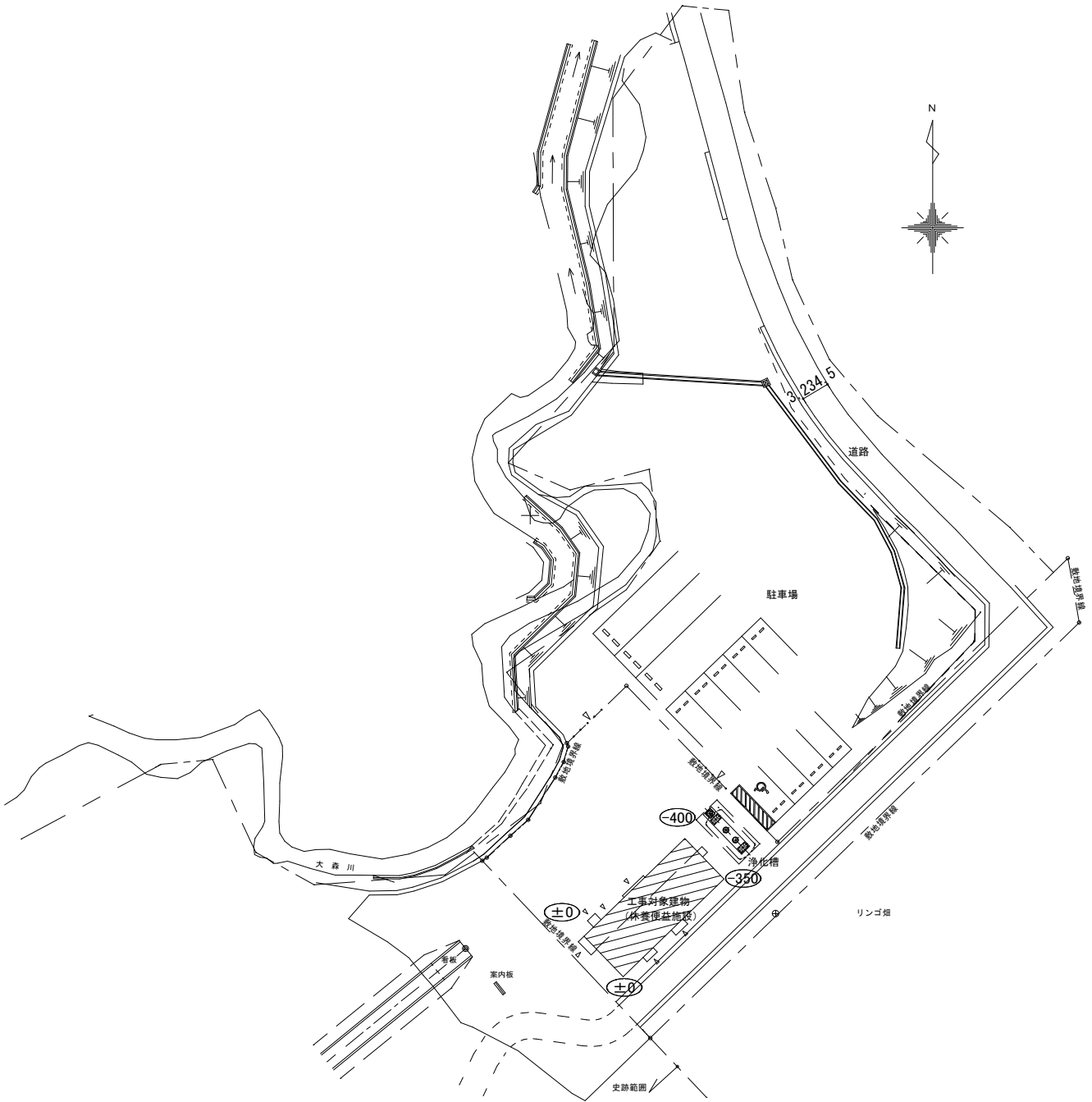
付近見取図

凡 例

記 号	名 称	仕様
—— — — —	給 水 管	屋外 PP管(水抜栓まで)以降埋設 VD管・隠蔽 VB管
—————	汚水・排水管	屋外 VU管(柵間)・屋内 VP 管
- - - - -	通 気 管	VP 管
—— A ——	エ ア - 管	屋外埋設管 HIVP 管・屋内露出管 SGP(白)管
—— E ——	電 気 管	PF管及び浄化槽メーカー仕様による

特記事項

- 各官庁の指示及び指導に従う事
- 冬季間閉鎖に伴う水抜き対策
- 量水器BOX内の凍結対策(断熱材の充填)



配 置 図 S=1:500

※設計 G L : 125.40
○ 設計 G L からの高低差

備考



一 級 建 築 士 事 務 所 青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計 1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工 藤 金 正

承 認	担 当	製 図	年月日
Kudou	Sugimi	kimura	R 7. 3

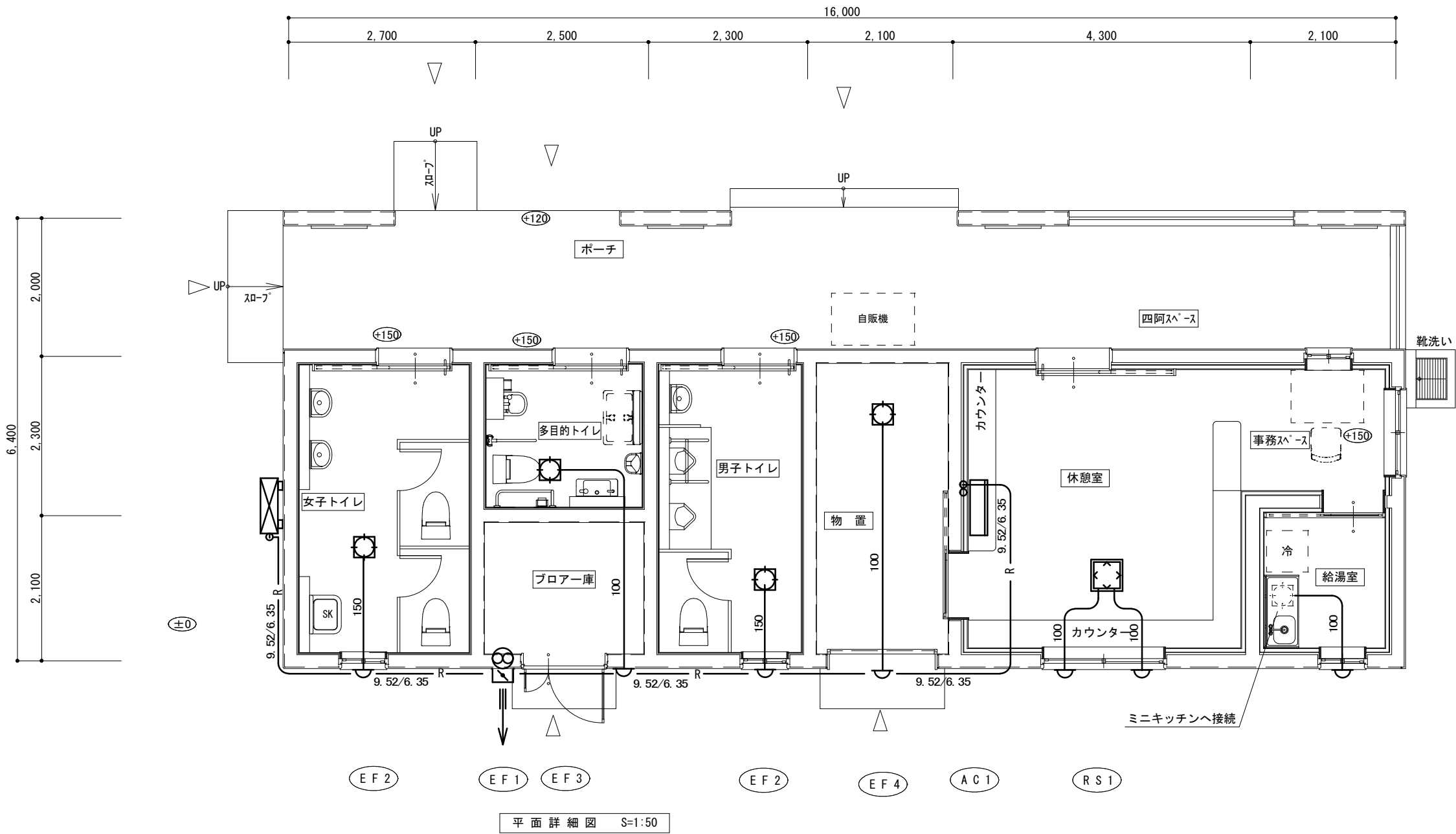
工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称	付近見取図・配置図・凡例

縮 尺	1 : 500
設計番号	—
図面番号	M — 03

衛生器具表

名 称	仕様（TOTO品番）	仕様（LIXIL品番）	女子トイレ	多目的 トイレ	男子トイレ	給湯室	屋外	数	備考
洋風大便器 (車いす対応)	CS20AB. SH30BA. TCF5841P. YH181L	BC-220SK. DT-K250N. CW-PC12NECK. KF-67T2L		1				1	1相100Vx410W
	床置. 腰掛け. 温水洗浄方式(蓋無し). 音姫付. ステンレス製2連紙巻器	床置. 腰掛け. 温水洗浄方式(蓋無し). 音姫付. ステンレス製2連紙巻器							
同上手すり	T112CL10. T112HK7R 樹脂製はね上げ式. 樹脂製L型. 他付属金具共	KF-920AE70D12J. KF-471EH70JU 樹脂製はね上げ式. 樹脂製L型. 他付属金具共		1				1	
洋風大便器	CS597BCS. SH596BAYR. TCF6553AK. YH181L	BC-P20SUM. DT-PA250UNCHTK. CW-KA32QC. KF-67T2L	2		1			3	1相100Vx410W
	掃除口付. 床置. 腰掛け. 温水洗浄方式. 音姫付. ステンレス製2連紙巻器	掃除口付. 床置. 腰掛け. 温水洗浄方式. 音姫付. ステンレス製2連紙巻器							
小便器	UFH500. TEA62ADS 低リップ式. 壁掛型. 自動感知式. 他付属部品共	U-406RU. OKU-AT131SD 低リップ式. 壁掛型. 自動感知式. 他付属部品共			2			2	自己発電式
同上手すり	T112CU22	KF-701AEJ			1			1	
手洗器	L210C. TLE28SS1A	L-132AG. AM-300CV1	2		1			3	1相100Vx10W
	小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. トラップカバー付. 他付属金具共	小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. トラップカバー付. 他付属金具共							
手洗器	LSE870APFRMS 小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. 他付属金具共	L-A74TA2B. A-5303W 小型壁掛形. 自動水栓. Sトラップ. 床給水. 他付属金具共		1				1	1相100Vx10W
オストメイト バック	UAS81RPB2NW. LTR141x2. 電気温水器付 . コンパクトタイプ.. 側板. 他付属金具共	PT0M-B210W. PT0M-ESCR. 電気温水器付 . コンパクトタイプ.. 側板. 他付属金具共		1				1	1相100Vx600W
掃除流し	SK22A. T23AEQ20	S-202A. LF-7KEZ-19U	1					1	
化粧鏡	YM6090F 600 x 900 X 5mm. 他付属金具共	KF-6090A 600 x 900 X 5mm. 他付属金具共		1				1	
化粧鏡	YM4560F 450 x 600 X 5mm. 他付属金具共	KF-4560A 450 x 600 X 5mm. 他付属金具共	2		1			3	
万能ホーム水栓	T200SUN-13C 寒冷地用	LF-7R-13U 寒冷地用					1	1	
建築工事一覧表									
ミニキッチン	水栓. 天井扇付属品					(1)		(1)	建築工事
ベビーシート				(1)				(1)	建築工事
ベビーチェアー				(1)				(1)	建築工事

記 号	名 称	仕様	電気消費量	数	備 考
A C 1	空調機(壁掛型)	冷房能力 C : 3.6 KW(～4.3 KW) 暖房能力 H : 4.2 KW(～6.9 KW) . ドレンアップメカ.コードレスRSW. 室内外渡り配線. 配管. 室外機ブラケット式.	1相200Vx 1,130 W	1	休憩室
R S 1	全熱交換器(ロスナイ)	100 mm x 100 m3/h x 30 Pa. 天井埋込形. 温度交換率 62 %. 電気式シャッター. SUS製フード (網付). 他付属品共	1相100Vx 50.5 W	1	休憩室
E F 1	換 気 扇	25 cm x 450 m3/h x 10 SP. 格子形. 連動式シャッター. 引きひも付. SUS製フード (網付). 他付属品共	1相100Vx 26 W	1	フロア-室
E F 2	天 井 扇	150 mm x 300 m3/h x 60 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフフード(網付). 他付属部品共	1相100Vx 48 W	2	男女トイレ
E F 3	天 井 扇	100 mm x 100 m3/h x 30 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフフード(網付). 他付属部品共	1相100Vx 16.5 W	1	多目的トイレ
E F 4	天 井 扇	100 mm x 100 m3/h x 30 Pa. プラスチックボディ. 深形SUS製セルフフード(網付). 他付属部品共	1相100Vx 13 W	1	物置
W C 1	合併式浄化槽	FRP製 100 人槽. 20 PPM. 流入-自然. 放流-ポンプアップ方式. ブロア-ポンプ. 法定付属部品共 詳細は別紙図面参照 *電源は1相100V用とする	ブロア- 400W x 2台 排水ポンプ 150W x 2台	1	屋外



平面詳細図 S=1:50

備考

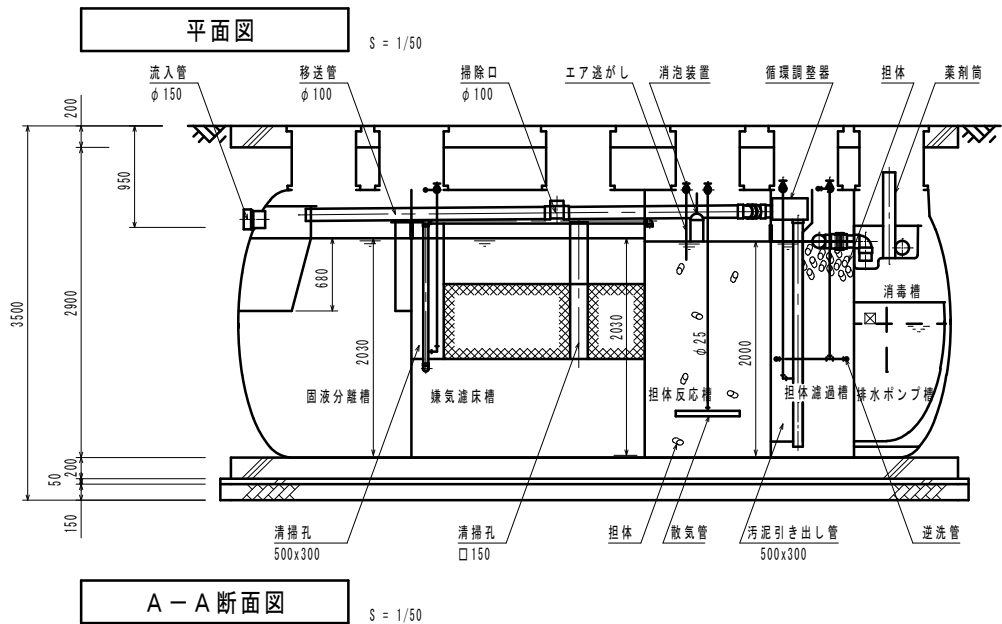
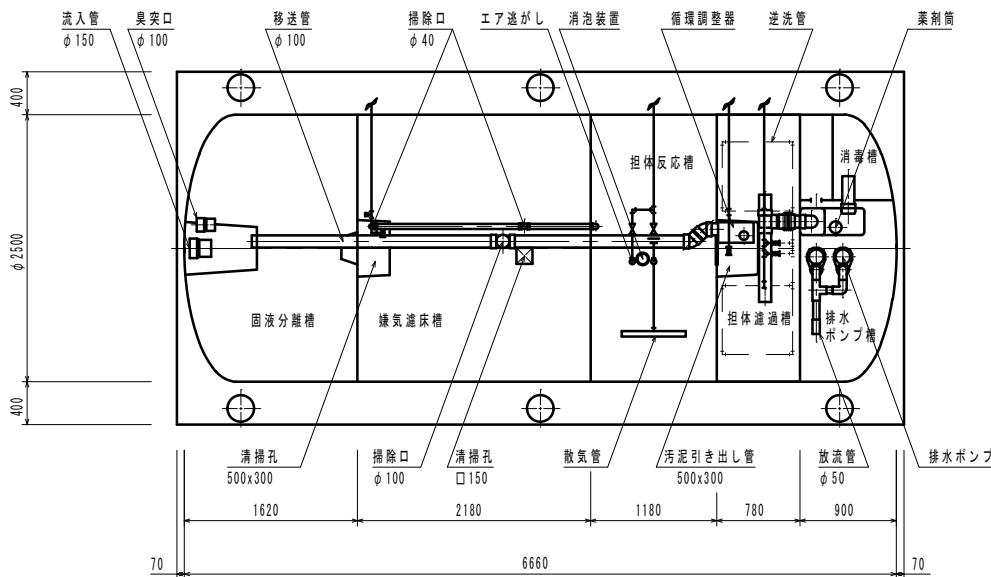
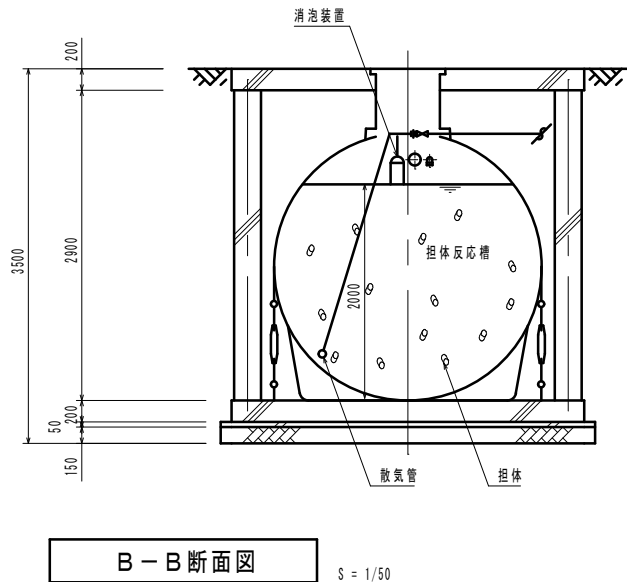
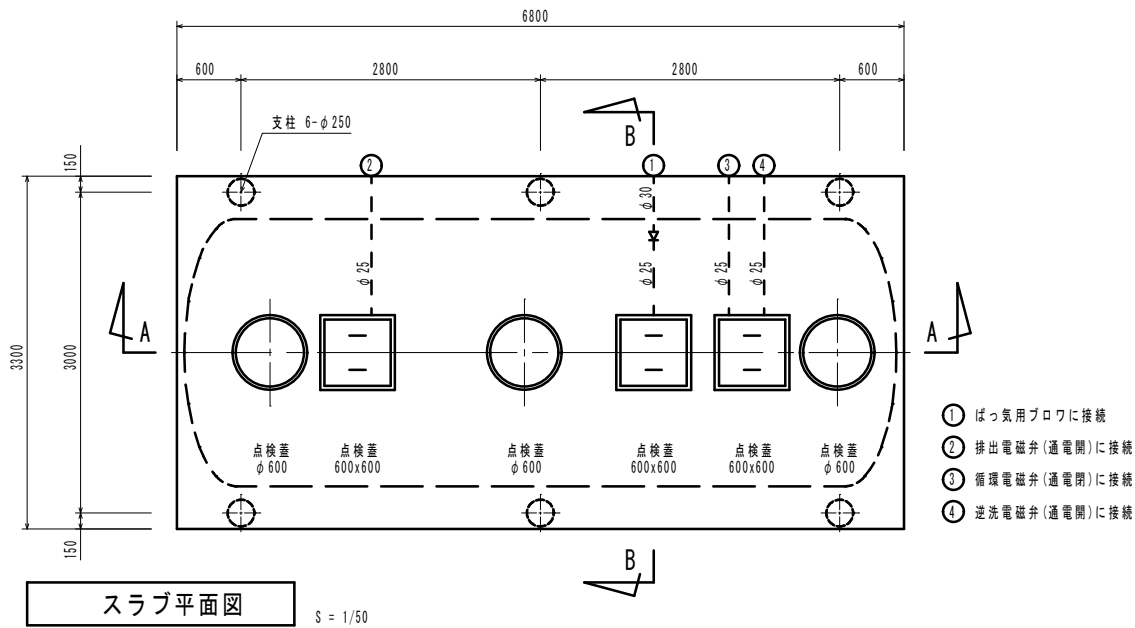


一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
青森県A1第495号
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

承認	担当	製図	年月日
Kudou	Sugini	kinura	R7.3

工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称	空調設備 平面詳細図 機器表

縮尺	設計番号
1:50	図面番号 M-07



設計仕様

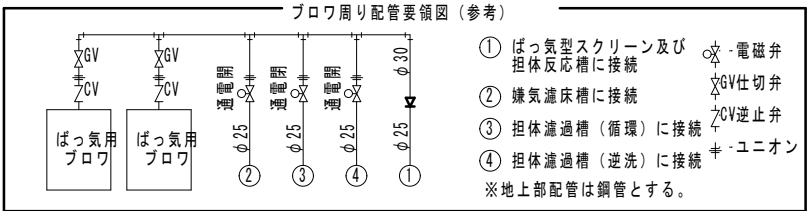
型 式	
認定番号	
適合認定番号	
処理対象人員	100 人
日平均汚水量	15 m3/日
流入水水质	BOD 260 mg/L
流出水水质	BOD 20 mg/L

槽 名	有効容量 (m3)
固液分離槽	6.19
嫌気濾床槽	9.22
担体反応槽	4.92
担体濾過槽	2.82
消毒槽	0.45
排水ポンプ槽	1.48

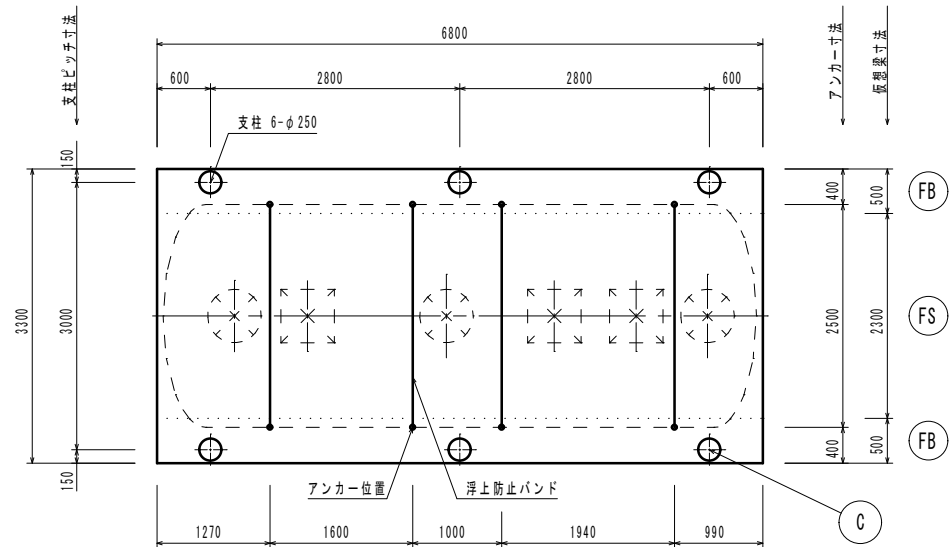
	点検蓋 (角型)	点検蓋 (丸型)
種 類	1500K (安全荷重 15kN)	
蓋	FRP製	
枠	SS鋼板製 (溶融亜鉛メッキ)	PP製
備 考	SUS製ボルトロック付	

品 名	台数	仕 様
ばっ気用ブロワ	2	20 A × 300 L /分 × 0.02 MPa × 400 W HC-251S
排水ポンプ	2	40 A × 110 L /分 × 4.0 m × 150 W 32PN2.15S

- 〔注 記〕 開口の表示は内径寸法とする。
- ベースと架台の間に隙間があるときはスベーサを入れるかモルタルを充填すること。
- 全高は外寸とする。
- ブロワの設置距離により各空気配管口径は大きくなる場合がある。
- 左右2ヶ所ある送気口 (逆洗用配管) のうち、使用しない方は必ずキャップをのり付けすること。
- ブロワメイン管はφ30とし、ブロワ設置場所によってはさらに大きくなる場合がある。

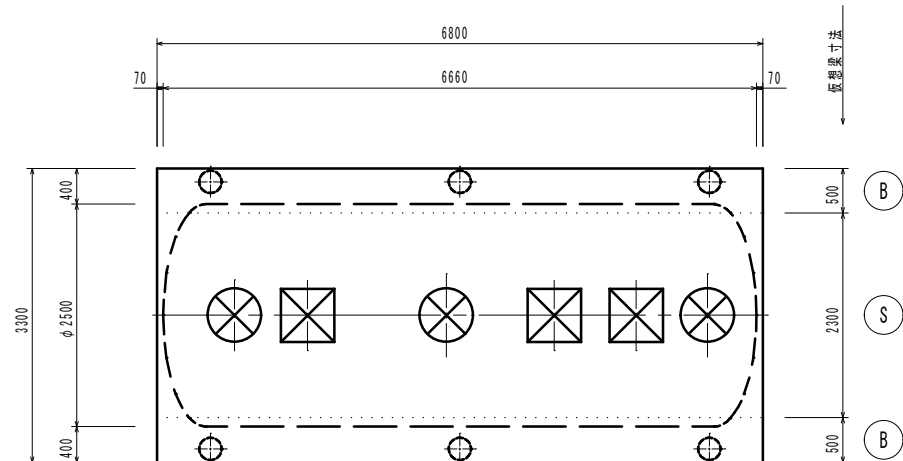


* 基礎及び土工事全般は建築工事 * 参考図面



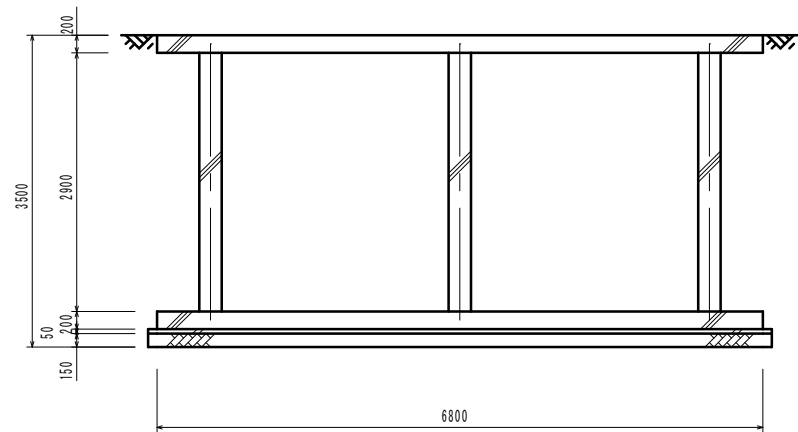
基礎伏図

S = 1/60



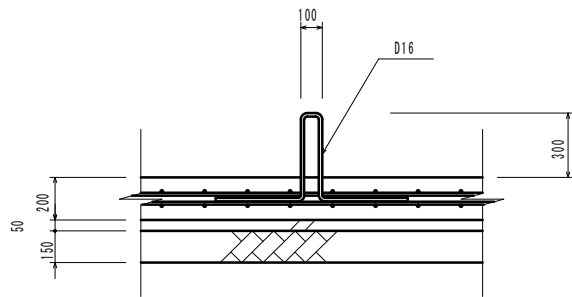
床伏図

S = 1/60



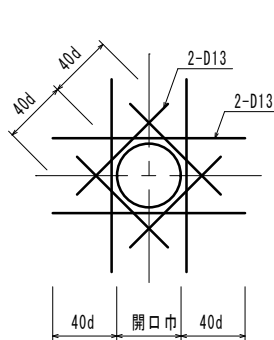
断面図

S = 1/60

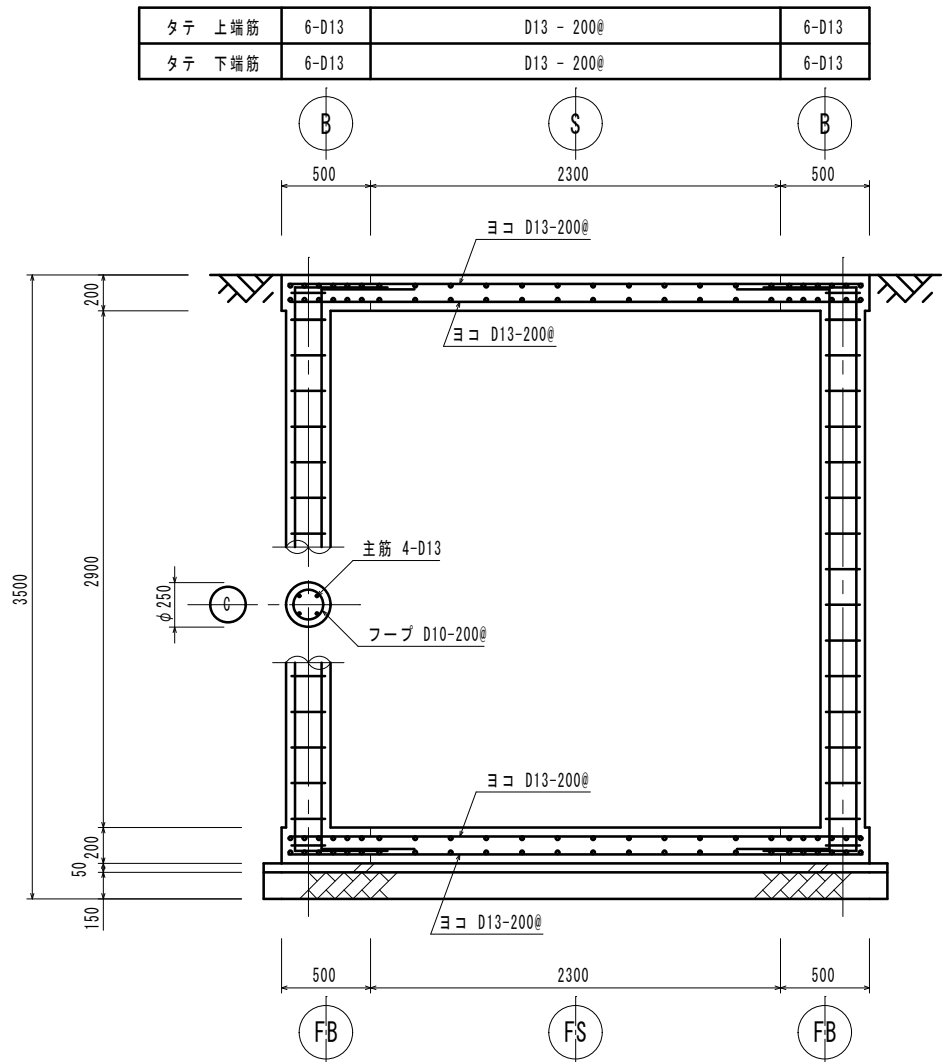
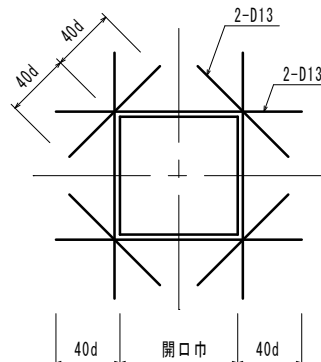


アンカー取付図

S = 1/NTS



開口補強筋図



配筋断面図 (短辺)

S = 1/30

共通事項

名 称	仕 様
有筋コンクリート	FC 21 N/mm ²
捨コンクリート	FC 18 N/mm ²
鉄 筋	SD 295A
地 業	砂 利 地 業

* 基礎及び土工事全般は建築工事

* 参考図面

備考

一 級 建 築 士 事 務 所
青森県A1第495号
株式会社 工藤金正建築設計
1級建築士第153872号
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

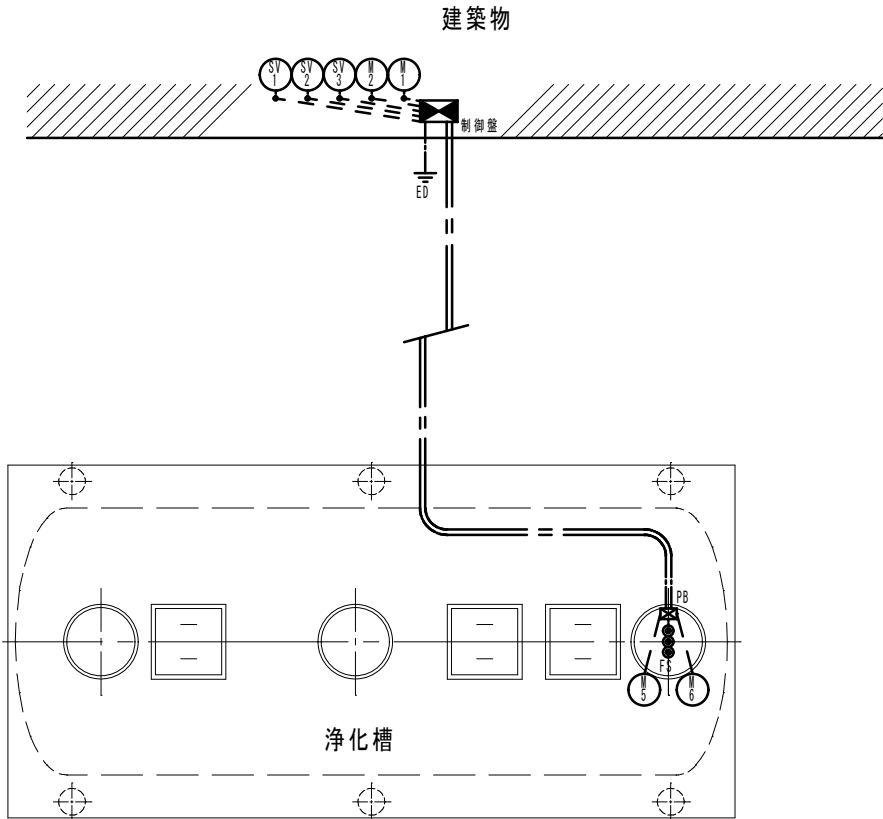
承認 担 当 製 図 年月日
Kudou Sugimi kimura R 7. 3

工事名称 令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称 合併浄化槽設備 平面図、断面図、躯体図

縮 尺 設計番号
S : 1/60 図面番号
M 09

動力配線図

S = 1/50



記 号	機 器 名 称	容 量	電 線・ケ ー ブ ル	電 線 管	PB (VE)
M 1	No. 1 ばっ気用ブロウ	400 W	CV 2□-3C	22	150×150×100
M 2	No. 2 ばっ気用ブロウ	400 W	CV 2□-3C	22	
M 5	No. 1 排水ポンプ	150 W	CV 2□-3C	28	
M 6	No. 2 排水ポンプ	150 W	CV 2□-3C	28	
FS	排水ポンプ槽フロートスイッチ	× 3	CVV 2□-3C	22	
SV 1	排 出 電 磁 弁	—	CVV 2□-3C	22	
SV 2	循 環 電 磁 弁	—	CVV 2□-3C	22	
SV 3	逆 洗 電 磁 弁	—	CVV 2□-3C	22	
ED	D種接地極	—	IV 2.0	16	

〔注 記〕

全ての電線管はHIVE又は、PF管とする。

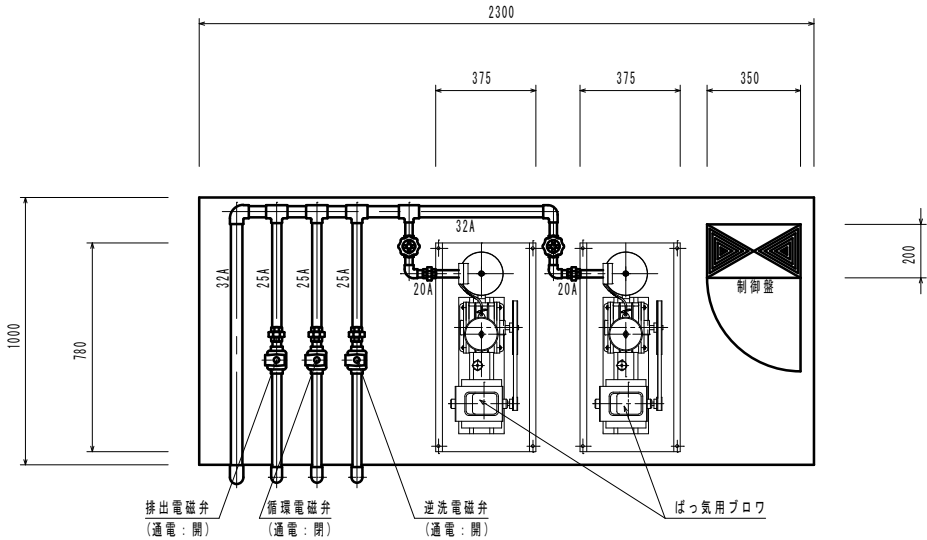
ケーブル及び電線管は制御盤までの距離により変更することがある。

D種接地極は一次側にて接地する場合は不要とする。

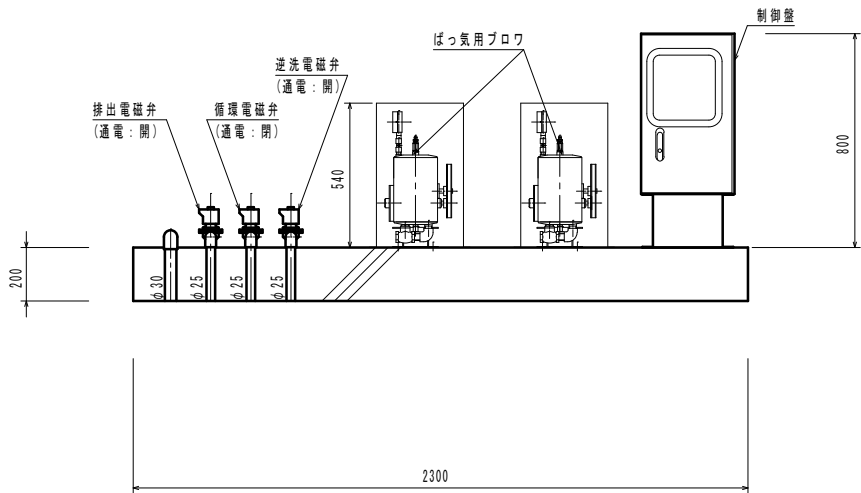
ブロウまわり配管参考図

S = 1/20

※地上配管は鋼管とする。



平 面 図



正 面 図

* 基礎は建築工事

* 参考図面

備考



一 級 建 築 士 事 務 所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

青森県A1第495号

1級建築士第153872号

承認

担当

製図

年月日

Kudou

Sugini

kimura

R 7. 3

工事名称

令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便施設整備工事

図面名称

合併浄化槽設備 電気配管図及びブローア-ポンプ系統図

縮 尺

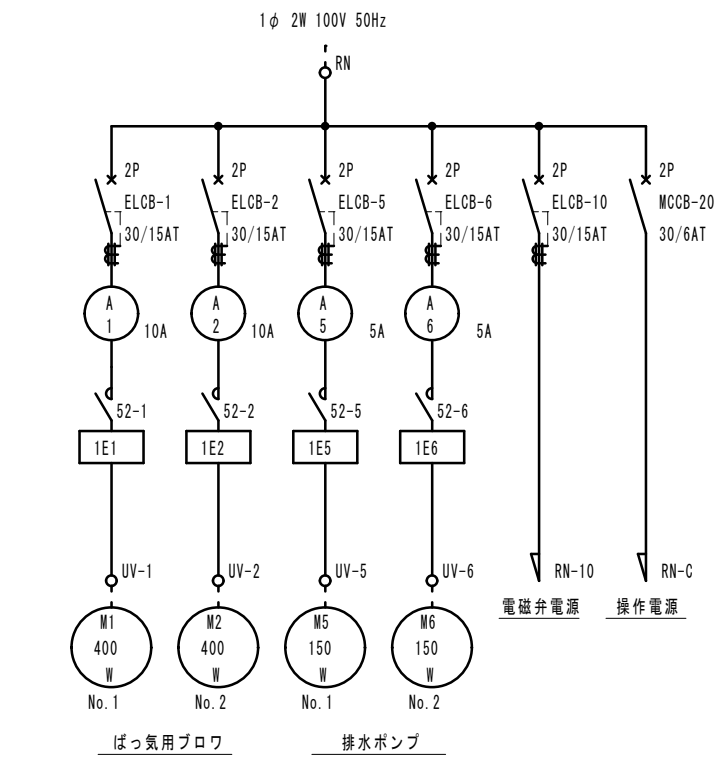
NON

設計番号

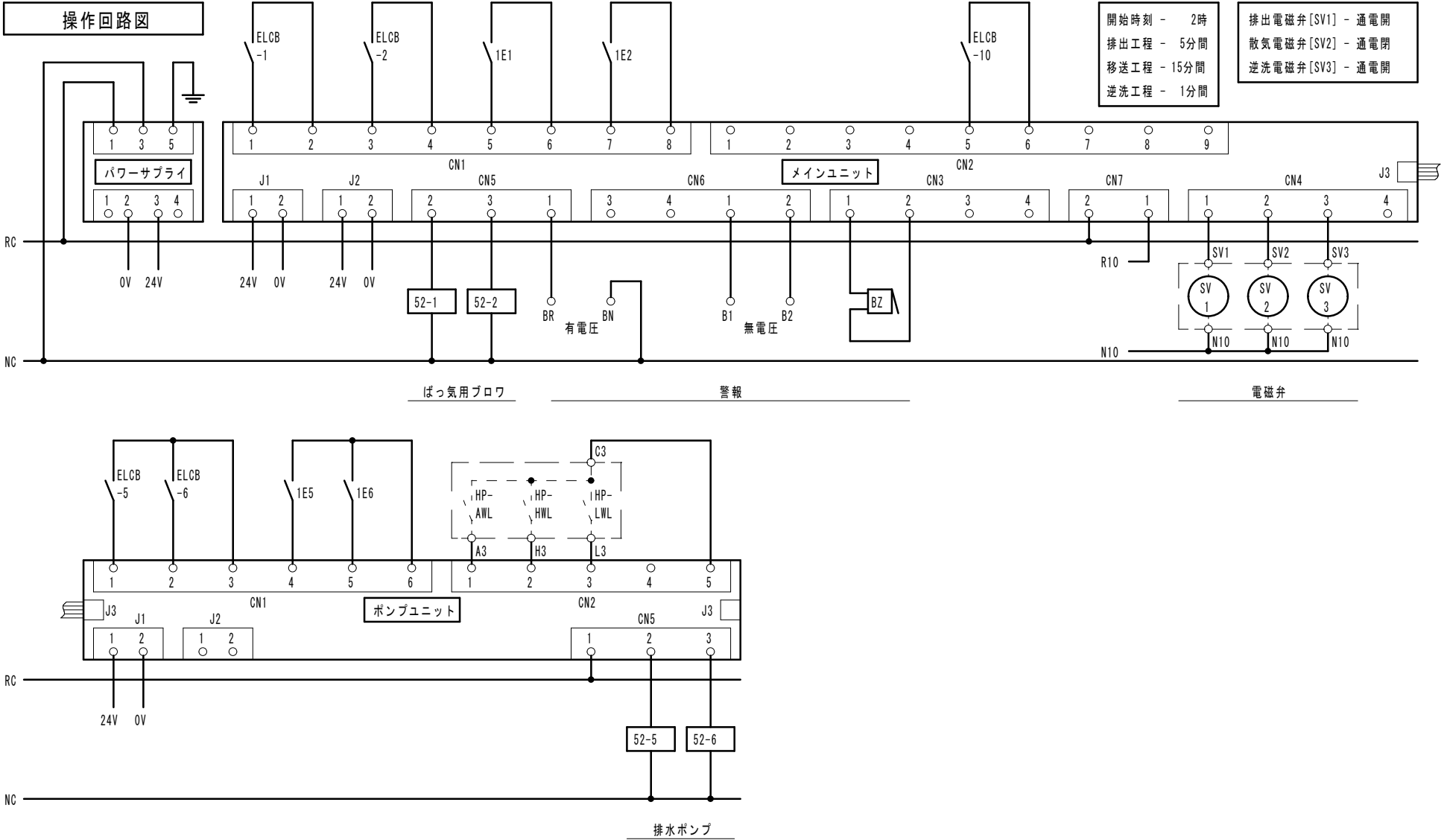
図面番号

M 10

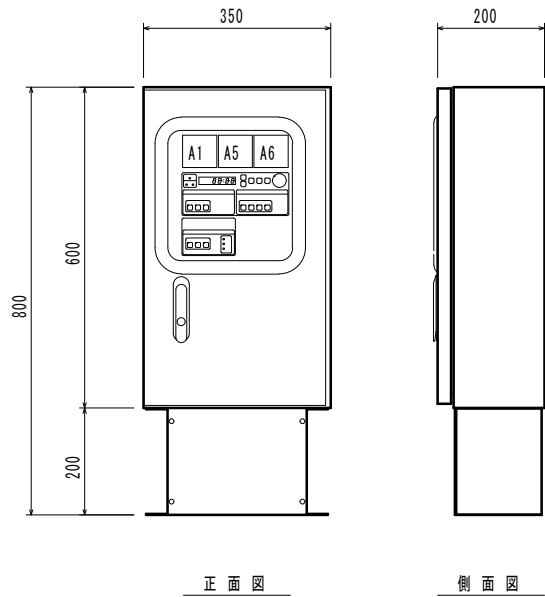
単線系統図



操作回路図



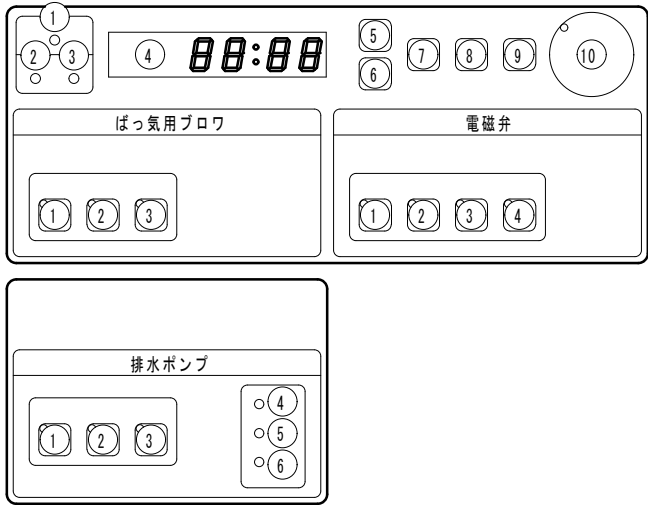
函体寸法図



函体仕様	
本体	1.6mm SPC
扉	1.6mm SPC
取付板	1.6mm SPC
架台	2.3mm SPC
塗装色	5Y7/1(ページ系)

[注記]ばっ気用ブロウは2台同時運転とする。

操作パネル図



メイン	
①	[電源]ランプ
②	[漏電]ランプ
③	[過負荷]ランプ
④	時刻・パラメータ表示部
⑤	[UP]ボタン
⑥	[DOWN]ボタン
⑦	[確定]ボタン
⑧	[戻る]ボタン
⑨	[設定確認]ボタン
⑩	[プザー停止]ランプ・ボタン

ばっ気用ブロウ	
①	[自動/手動]ランプ・ボタン
②	[入/切]ランプ・ボタン (No.1)
③	[入/切]ランプ・ボタン (No.2)

電磁弁	
①	[自動/手動]ランプ・ボタン
②	[手動]ボタン 排出工程ランプ
③	[手動]ボタン 移送工程ランプ
④	[手動]ボタン 逆洗工程ランプ

排水ポンプ	
①	[自動/手動]ランプ・ボタン
②	[入/切]ランプ・ボタン (No.1)
③	[入/切]ランプ・ボタン (No.2)
④	[満水 (AWL)]ランプ
⑤	[高水位 (HWL)]ランプ
⑥	[低水位 (LWL)]ランプ

* 参考図面

備考	

一級建築士事務所
株式会社 工藤金正建築設計
弘前市大字城東北2丁目2の6 TEL0172(27)1559 工藤金正

青森県A1第495号
1級建築士第153872号

承認	担当	製図	年月日
Kudou	Sugini	kimura	R7.3

工事名称	令和7年度史跡大森勝山遺跡休息便益施設整備工事
図面名称	合併浄化槽設備 電気設備 系統図

縮尺	設計番号
NON	M 11